

中3

新美咲町分庁舎改修工事

竣工図

平成17年3月

設計・監理 (株)木村建築設計事務所

施工 浮田建設株式会社

大1分庁舎

新美咲町分庁舎改修工事

[illegible]

MEMO		CONSTRUCTION 新美咲町分庁舎改修工事 設計図 DRAWN SCALE 設計図書一覧表	DATE 2005/2/8 A-0	NO. 〃 〃
------	---	---	-------------------------	-------------------

JOB CORD
17-01-01

〒700-0971 岡山県岡山市中区3丁目1番地20号 (086) 244-2611
 1階建築士事務所第1486号 管理建築士1級第66709号 木村 雄

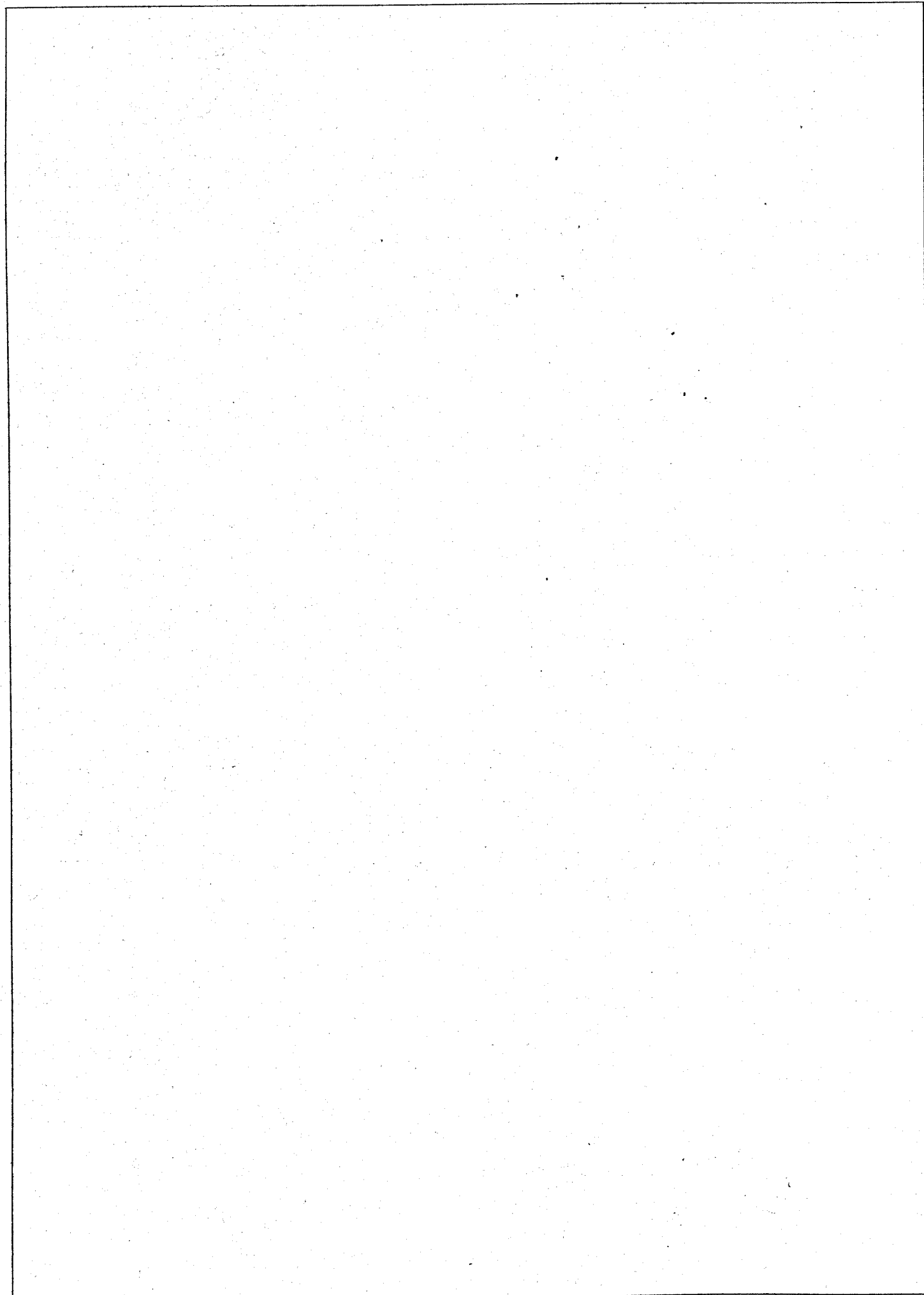
	建築工事特記仕様書	
I. 工 事 概 要	(17年度)	
工 事 名 称	新美咲町庁舎改修工事	
工 事 場 所	岡山県久米郡中央町原田	
登 地 面 積		
床 面 積 (m ²)	支 所	棟
	鉄 骨 造	造
1 階	198.37	m ²
2 階	100.00	m ²
小計	296.37	m ²
合計		296.37 m ²
消防法施行令別表第一の区分	(15)項	
延べ率(指定率)	% (指定なし %)	容積率(指定率)
用 途 地 域	指定なし	防 火 地 域
		% (指定なし %)
工 事 範 囲	附 設 工 事	
共通仮設工事	既存建物解体工事	
産業主体工事		
電気設備工事		
機械設備工事		
II 建築工事仕様		
1. 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官署庁内情報部監修「建築工事共通仕様書（平成16年版）」（以下「共仕」という）による。		
2. 特記仕様		
(1) 項目は番号に○印のついたものを適用する		
(2) 特記事項は◎印のついたものを適用する		
○印をつかない場合は、※印のついたものを適用する		
○印と ◎印 のついた場合は共に適用する		
(3) 項目に記載の () 内表示番号は、建築工事共通仕様書の施箇項目を示す		
(4) 材料及び製造等の取扱は取手欄である		
※県内産建設資材の優先使用 鋼骨等は工事に要する資材の種類にあたり、県内産建設資材の開入及び県内取扱業者からの開入に対すること。 ※発生土の処理：引渡しを決定された以外のものは全て構外に搬出し、再生資源の利用促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、施設副産物適正処理推進計画に従い適切に処理し、監督職員に報告する。		
序	項 目	特 記 事 項
一 般 公 通 事 項	① 通用品等	※建築工事概要詳細図 国土交通省大臣官署庁内情報部監修（平成13年度版） （以下「標準詳細図」という） ・建築後設計基準及び解説図（平成10年度版） ・引き渡しを要するもの（ ） ・環境において再利用を図るもの（ ） ◎再生資源化を図るもの ○コンクリート塊 ○スファルトコンクリート塊 ◎発生生木材
	② 発生土の処理等 (1. 1. 12)	
	③ 電気保安技術書 (1. 3. 3)	適用する
	④ 建築材料等	本工事で使用する材料等は、設計図書に規定するものと又はこれらと同等のものとする。 なお、「評価名称による」の特記されたものについては、国土交通省大臣官署庁内情報部監修「建築物材料・設備材料品質性能評価事業建築物材料等評価集第Ⅷ巻（平成13年分）」により示す。これは、これらと同等のものとする。 ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承認を受ける。 また、同上評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認をもって品質・性能の確認があったものとして認めることができる。 図示した室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 測定法 ※検知管法 ・ 検知紙法 ・ 定電位電解法 ・ 分光光度法 木工専用接着剤 接着剤に含まれている可塑剤は、難燃性のものとする 木材保存剤 炭素樹脂系とする 塗料材料 ホルマリン不抽出のもので、水性形のものとする 内装土工用接着剤 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する 接着剤はホルマリン不抽出のもので、水性形のものとすると同時に、難燃性のものとする
	⑤ 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策	
	⑥ 特殊な材料の工法	共仕に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の認定工法による。
	技 術 士 (1. 5. 2)	工 事 種 別 適用箇所 工事例 適用箇所 筋 骨 ・ 鉄筋施工 ・ 建群杭（内外両断金付梁） コンクリート ・ 普通コンクリート配筋工 ・ スレート施工 ・ かからざる 鉄 骨 ・ とび 金属 ・ 内装仕上げ工程（カーペット直接敷き） フロア・ALCパネル ・ ブロック構築 左置 ・ サッシ施工 ・ ガラス施工 ・ エーエルシーパネル施工 器具 ・ 塗装（建築塗装作業） 防水 ・ 防水施工 ・ 内装仕上げ工程（フローリング） （フッソフルコート膜・ウレタンゴム膜 ・ フラストチック底層・天吊りボード） ・ 塩化ビニールシート貼着 ・ ケラック（耐水）の施工等必要 ・ おもむく上げ工事等必要 ・ 養生
石 ・ 石材施工 舗装 ・ 運搬	タイル ・ タイル張り カウンター ・ カーテンウォール施工	木 ・ 建築大工

1	一般共通事項	9	完成写真裏	下記のものを監督職員に提出する。
		分類・規格 カラー ※ サービス版・キャピ本 (倍率) 1/8倍 (425×525mm) 1枚 4箇所 撮影箇所 2箇所 原版の大きさ(mm) 100×125以上 24×36以上		
2	仮設工事	10	施工図及び施工計画書	提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に関する使用権は、発注者に帰属するものとする。
		11	設備工事との取り合い	設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。
		12	設備範囲	図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強 図示した壁、天井仕上げ材、下地材の切り込み及び下地材の補強 自動閉鎖装置取り付け箇所等の切り込み及び補強
		13	総括安全衛生責任者の指名	労働安全衛生法第15条に基づく指名をおこなう。
		14	総括安全衛生管理職務者の指名	労働安全衛生法第30条第2項に基づく指名
		15	設計GL	○図示・()
		16	監督職員事務所 (2.8.1)	※ 設ける ○ 設けない ・ 1号・2号・3号・4号・5号・㎡程度 備品等は監督職員の指示を受けて設置すること
		17	工事用水	構内既存の施設 ○ 利用できる (※ 有償・無償) ※ 利用できない
		18	工事用電力	構内既存の施設 ○ 利用できる (※ 有償・無償) ※ 利用できない
		3	土工事	19
20	施設発生土の処理 (3.2.5)			※ 構外搬出適切な処理 ・ 構外指示の場所に処分 ・ 構内指示の場所に敷き均し ・ 構内指示の場所に増戻
4	地業工事	21	試験 (4.2.2)	位置・本数は、基礎状況による。また、仕様は、本杭と同じとする
		22	既設コンクリート杭地業 (4.3.1-5)	工法 ※ 基準法に基づく埋込み杭工法 または、認定埋込み杭工法 ・ 小口径鋼管埋込圧入工法 (一般工法)
		23	杭の種類	表4.3.1
		24	杭の寸法 (Dmm×Lmm)	※ PHC杭 品質 ※ A種・B種・C種 ※ STK400 寸法 (Dmm×Lmm) 300・400・450φ×9,000, 114.3φ×6,000 継手の場所数 箇所 先端部の形状 ※ 開放形 継手の工法 ※ アーク溶接 (半自動溶接) ・ 無溶接継手 杭頭の処理 ※ 行わない ・ 行う
		25	場所打ちコンクリート杭地業 (4.5.1-4)	工法 ・ アースドリル工法 ・ リバース工法 ・ オールケーシング工法 掘削法 断面寸法 コンクリート設計基準強度 ※ 21N/㎡ コンクリートの種類 ・ A種 ※ B種 表4.5.1 経管測定
		26	床下防護周 (4.6.6)	施工箇所 ※ 建物内土間スラブ (土間コンクリートを含む) 下 (ピット下を除く)
		27	鉄筋 (5.2.1)	表5.2.1
		28	溶接金網 (5.2.2)	寸法 ※ 6.0φ×100×100 ・ 8.0φ-150×150 施工箇所 (露出コンクリート)
		29	継手 (5.3.4)	柱・梁の主筋の継手 ※ ガス圧接継手 ○ 重ね継手
		30	鉄筋のかぶり厚さ (5.3.5)	障害対策により鉄筋の最小かぶり厚さに加える厚さ 表5.3.5 ・ 20 ・ 30 ・ 40
5	コンクリート工事	31	コンクリートの種類と強度 (6.1.3-4)	※ 普通コンクリート 設計基準強度 (Fc) (N/㎡) ※ 21 躯体一般 ※ 普通コンクリートの強度割増による割増強度=Fc+ΔF (3N/㎡×2) 0.30kg/㎡以下
		32	コンクリート中の塩化物質 (6.5.4)	
		33	型枠のせき板 (6.9.2)	※ 合板 (厚さ12mm) ・ 合板 (厚さ15mm) ・ 床型用鋼製デッキプレート (建設技術評価または評価名簿による) ・ メッシュ型枠 (構造関係共通事項による) ・ 鋼製材質用型枠 25mm以下かつ断熱性能1m/h℃/K=1以上 ・ MCR工法用シート (気泡発泡ポリエチレンシート)

コ ン ク リ ー ト 工 事	6	4	マスコンクリート (6.13.3)	セメントの種類 ※高引セメントB種 スランプ ※15cm																																			
	5	無筋コンクリート (6.14.1)	種 類	設計基準強度 (F _c) (N/mm ²)	施 工 箇 所																																		
			普通コンクリート	※18	普通コンクリート																																		
	6	高い強度のコンクリート (6.15.1)	設計基準強度 (F _c)	・27N/mm ² ・30N/mm ² ・33N/mm ² ・36N/mm ²																																			
			スランプ	・18cm ・21cm																																			
	7	温度補正 (6.4.5)	気温によるコンクリート強度 F _c N/mm ² の補正係数 T/N/mm ²																																				
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>T</th><th>打込後28日間の 予想平均気温</th><th>打 込 期 間</th><th>東 部</th><th>山 陽 部</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td><td>5℃以上16℃未満</td><td>3月2日～4月10日</td><td>3月12日～4月26日</td><td>3月15日～4月28日</td></tr> <tr> <td></td><td>10日18日～11月23日</td><td>9月2日～11月8日</td><td>9月26日～11月5日</td><td>9月15日～10月26日</td></tr> <tr> <td>6</td><td>3℃以上5℃未満</td><td>11月24日～3月1日</td><td>2月2日～3月11日</td><td>2月10日～3月14日</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td>11月9日～12月15日</td><td>11月6日～12月9日</td></tr> <tr> <td></td><td>3℃未満のとき (凍害コンクリート 適用)</td><td></td><td>12月16日～2月1日 (凍害の発生頻度により、T=6を適用 するとよい)</td><td>12月10日～2月9日</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>11月26日～3月1日</td></tr> </tbody> </table>			T	打込後28日間の 予想平均気温	打 込 期 間	東 部	山 陽 部	3	5℃以上16℃未満	3月2日～4月10日	3月12日～4月26日	3月15日～4月28日		10日18日～11月23日	9月2日～11月8日	9月26日～11月5日	9月15日～10月26日	6	3℃以上5℃未満	11月24日～3月1日	2月2日～3月11日	2月10日～3月14日				11月9日～12月15日	11月6日～12月9日		3℃未満のとき (凍害コンクリート 適用)		12月16日～2月1日 (凍害の発生頻度により、T=6を適用 するとよい)	12月10日～2月9日				
T	打込後28日間の 予想平均気温	打 込 期 間	東 部	山 陽 部																																			
3	5℃以上16℃未満	3月2日～4月10日	3月12日～4月26日	3月15日～4月28日																																			
	10日18日～11月23日	9月2日～11月8日	9月26日～11月5日	9月15日～10月26日																																			
6	3℃以上5℃未満	11月24日～3月1日	2月2日～3月11日	2月10日～3月14日																																			
			11月9日～12月15日	11月6日～12月9日																																			
	3℃未満のとき (凍害コンクリート 適用)		12月16日～2月1日 (凍害の発生頻度により、T=6を適用 するとよい)	12月10日～2月9日																																			
				11月26日～3月1日																																			
		山陽部・・・・・・通原町、美甘村、新庄村、川上村、八木村、中物村、加茂町、富村、奥津町、 上蓋原村、阿波村、東葉倉村、西葉倉村 東北部・・・・・・津山市、新美市、北別府、大庄、神郷町、曾多町、賀西町、勝山町、落合町、 久世町、熊野町、勝田町、勝次町、赤穂町、勝之助、大瀬町、作楽町、中矢町、 船町、久米町 東中部・・・・・・高梁市、勝津町、東郷町、加茂川町、赤坂町、吉井町、吉永町、佐伯町、和氣町、 美見町、芳井町、有漢町、賀陽町、成羽町、川上町、備中町、美作町、英田町 久米南町、備前町 島南部・・・・・・岡山市、倉敷市、玉野市、笠岡市、井原市、総社市、備前市、瀬戸市、山陽町 鹿山町、日生町、牛窓町、邑久町、長船町、瀬崎町、早島町、山手村、清瀬村 船橋町、金光町、岡方町、寄島町、庄原町、矢野町、真庭町																																					
7	鉄骨製作工場 (7.1.3~4)	加工能力	※構造関係共通事項による	○監督員の承認する工場 ・適用しない																																			
8	鋼材 (7.2.1)	種類の記号 (構造特記 (標準図) による)	表7.2.1																																				
9	高力ボルト (7.2.2)	※ トルシア形	・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト																																				
10	アンカーボルトの材質 及び設置 (7.2.4) (7.10.3)	材質 構造用アンカーボルト ※SNR400 鋼方用アンカーボルト ※SS400 構造用アンカーボルト及びアンカープレームの形状、寸法 ※図示による 鋼方用保特及び埋込み方法 表7.10.1 ・ A種 ※ B種 ・ C種																																					
11	柱座均しモルタルの材料 及び工法 (7.2.9) (7.10.4)	材料 ・モルタル ※無収縮モルタル 製造所 評価名簿による 工法 ※A種 ・ B種	表7.2.6 表7.10.2																																				
12	接 接 部 の 試 験 (7.6.11)	※ 超音波探傷試験																																					
13	鋼 止 め 塗 料 (7.8.1~4)	鉄面 ※ 表18.3.1のA種 亜鉛めっき面 ※ 表18.3.2のB種																																					
14	耐火保護材の種類、性能	種別 ・ラス張りモルタル塗り ・耐火材付付 ・耐火材張り 性能 1時間耐火																																					
15	溶融亜鉛めっき (7.12.3)	性能 ※表14.2.2のA種 (経年腐蝕は、板厚によりB種・C種とする)																																					
16	溶融亜鉛めっき高力ボルト 適合 (7.12.4)	庫内面の処理 ※リシン酸塩処理 ・ プラスト処理																																					
コ ン ク リ ー ト 工 事	8	1 コンクリートブロック (8.2.2) (8.3.2) (8.3.7)			表8.3.1																																		
			適用箇所	断面形状及び圧縮強度による区分																																			
			間仕切壁、地下2重壁、外壁、塙	※空溝ブロック16・空溝ブロックW-16																																			
			衛生配管用裏積みブロック	・空溝ブロック08 ・空溝ブロック16																																			
			厚さ ※図示による																																				
	2	A L C パ ネ ル (8.4.2~5)	表8.4.2~3																																				
			種 類	厚さ (mm)	耐火性能	工 法 種 別																																	
			・外 壁 用	※100	・1177 ・1951	・B種 ・D種																																	
			・間仕切用	・100	・437	・D種 ・F種																																	
			・庫 内 用	※100	・951	・30分																																	
			・床 用	・100 ・150	・2354 ・3530	・B 4.6による																																	
			外壁用、屋根用の建築基準法に基づき定められた風速 (V ₀) 及び建築基準法に基づき定められた地表面傾度区分 ※図示による ・適用しない																																				
	3	界出成形セメント板 (8.5.2~4)	表8.5.1~2																																				
			表 面 形 状	厚 さ (mm)	耐火性能	取付工法の種別																																	
			・外壁	※750×1800	・50 ・60	・1時間 ・A種 ・B種																																	
			・タイルパネル	・50 ・60																																			
			・間仕切壁	※750×1800	・50 ・60	・1時間 ・B種 ・C種																																	
			・“Z”インパネ (薄型)	・50 ・60																																			
			外壁用の建築基準法に基づき定められた風速 (V ₀) 及び建築基準法に基づき定められた地表面傾度区分 ※図示による ・適用しない アスベストを使用していない製品とする (原料による区分 タイプⅡ (無石棉)) 製造所 評価名簿による																																				

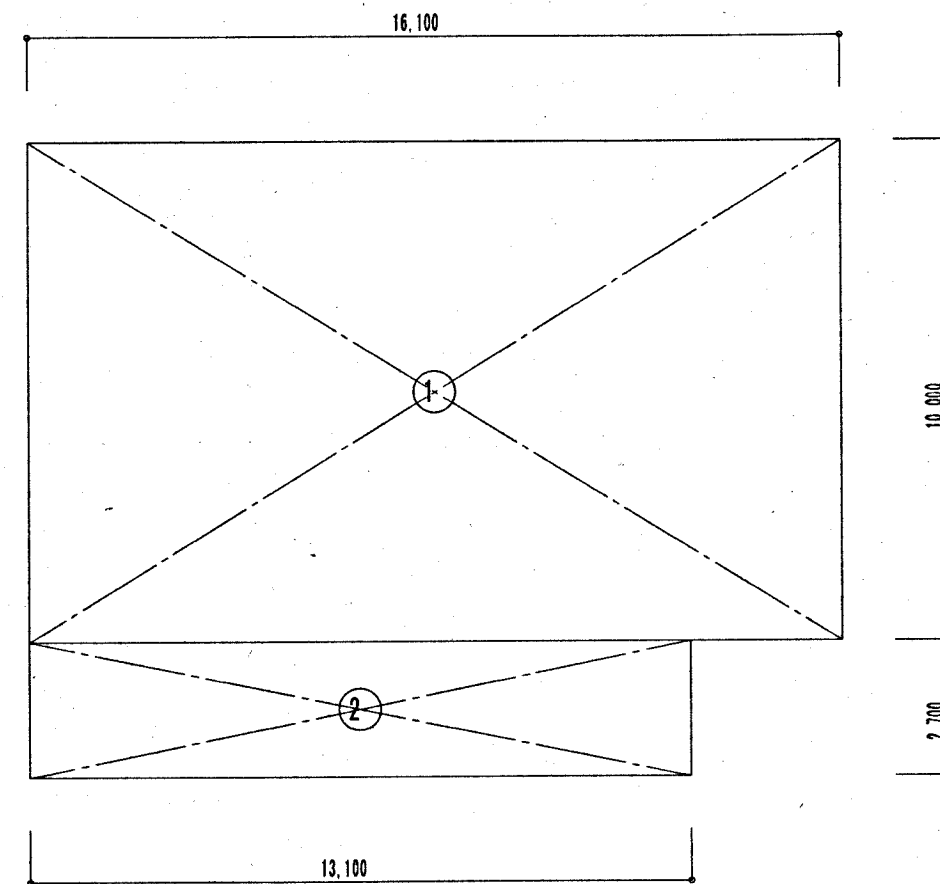
9 防水工事	1	アスファルト防水 (9.2.2~5)	表9.2.1~8			
			種別	施工箇所	種別	施工箇所
			屋根保護防水断熱工法の断熱材 材質 ※ 押出法ポリスチレンフォーム3種bスキン層付 (JIS A9511) 厚さ ※ 25mm 成形・断熱目地材 製造所 評価名簿による 防水立上がり部の保護 ※ れんが ※ 乾式保護材 製造所 評価名簿による 屋根露出防水断熱工法の断熱設置 ・ 敷けない ※ 敷ける 種別 ・ 平場部脱気型 ・ 立上がり部脱気型			
	2	改質アスファルトシート防水 (9.3.1~3)	種別	施工箇所	種別	施工箇所
	3	合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2~4)	表9.4.1			
			種別	施工箇所	種別	施工箇所
	4	塗膜防水 (9.5.2~4)	表9.5.1			
			種別	施工箇所	種別	施工箇所
			脱気設置 (種別×ー1) ※ 敷けない ・ 敷ける 種別 主要材料製造所の仕様による 設置数量 種類及び施工箇所 図示以外は (表9.6.1) による			
10 石工事	5	シーリング用材料 (9.6.2)	接着性試験 ※ 調査接着性試験 ・ 引張接着性試験			
	6	シーリングの試験 (9.6.6)				
	1	石材 (10.2.1)	種類 ※天然石 ・ 人工石 品質 ※ 1等品 (床以外) ※ 2等品 (床) 形状及び寸法 ※図示 石材の種類及び表面仕上げ 表10.2.1~2			
			施工箇所	種類・産地・名称	表面仕上げの種類	
			建築基準法に基づき定められた風速 (V ₀) 及び建築基準法に基づき定められた地表面電圧区分 ※図示による ・ 適用しない テラソブロック及びテラゾタイル 表面仕上げ ※本番色 製造所 ※監理員の承認する製造所			
	2	取付け金物 (10.2.2)	乾式工法金物式 ・ スライド方式 ・ ロッキング方式 表10.2.4			
	3	その他の材料 (10.2.3)	・ 石裏面処理材 () ・ 裏打ち処理材 () ・ ドレンパイプの材質 () ・ 食物固定部材料 ()			
	11 タイル工事	1	神隠し隠蔽目地及びひび割れ隠蔽目地 (11.1.3)	外壁 ※ 図示による ○ 表11.1.1による ・ 耐震スリット部 屋内 ※ 11.1.3 (b) による		
2		材料 (11.2.1) (11.2.3)	タイルの種類 ※標準色 ・ 特注色 施工箇所 形状 (mm) きじり 留め金 他 玄関ポーチ・風除室 1000 留め金 留め金 INAX:ピアツア01同等			
			設備使用箇所 ※各部の形状は図示による 内 装 出隅 天端 外 装 出隅 窓台・マブサ (標準一体成型品以外は接着成型品とする) タイルの試験張り ※行わない ・ 行う () タイルの見本置き ※行わない ・ 行う () 製造所 評価名簿による 張付け用既製適合モルタル 製造所 評価名簿による 化粧目地用既製適合モルタル 製造所 評価名簿による			
3		陶質タイル後張り (11.3.2~3)	種別 表11.3.2 適用タイル 躯体 表面 下地モルタル張り 工 法 ・ 小口タイル ・ MCR工法 ・ きじり 留め金 ※ ポリマーセメント ※ 密着工法 ・ 二丁割タイル ・ 目地工法 (高圧水洗) モルタル張り ・ 改良接着張り MCR工法 MCR工法の仕様はシート製造所若しくは販売店の仕様による。 施工箇所の躯体の埋打ちは、図示による。 目地工法 高圧水洗による目地は、50N/mm ² の水圧で2.5分/m程度とし、 仕上がり面の硬度は監督職員の承認を受ける。 施工箇所の躯体の埋打ちは、図示による。 ポリマーセメントモルタルの割合は、15.2.3 (b) による。			
CONSTRUCTION			DATE		NO.	
新美咲町庁舎改修工事			設計図		A-1	
DRAWN			SCALE		書名	
建築工事特仕仕様書 (1)					書	
(株) 木村建築設計事務所						



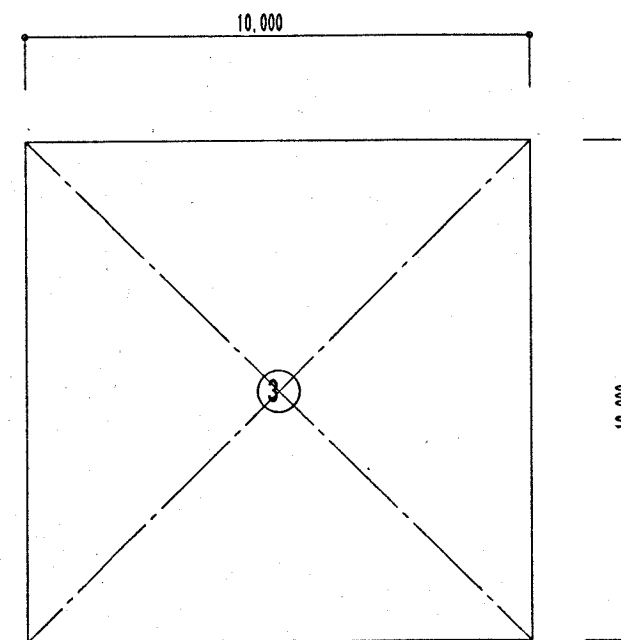


附近見取図 1/7000

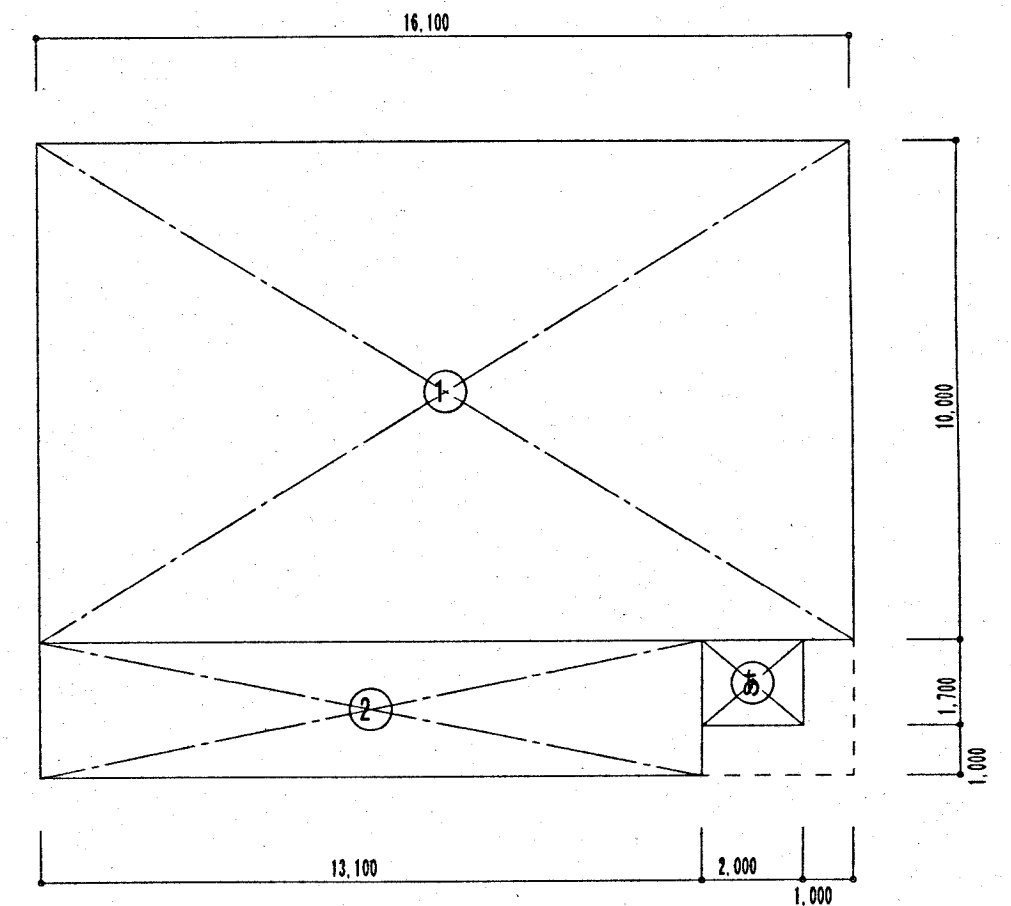
工事場所：岡山県久米郡中央町原田



1階床面積求積図 1/150



2階床面積求積図 1/150



建築面積求積図 1/150

建築面積

記号	計算式	面積 (㎡)
①	16.10 × 10.00	161.00
②	13.10 × 2.70	35.37
③	2.00 × 1.70	3.40
建築面積	① ~ ③	199.77 ㎡

容積対象床面積

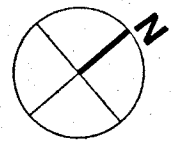
階	記号	計算式	面積 (㎡)
1	①	16.10 × 10.00	161.00
	②	13.10 × 2.70	35.37
	1階床面積合計		196.37 ㎡
2	③	10.00 × 10.00	100.00
	2階床面積合計		100.00 ㎡
延べ床面積			296.37 ㎡

MEMO

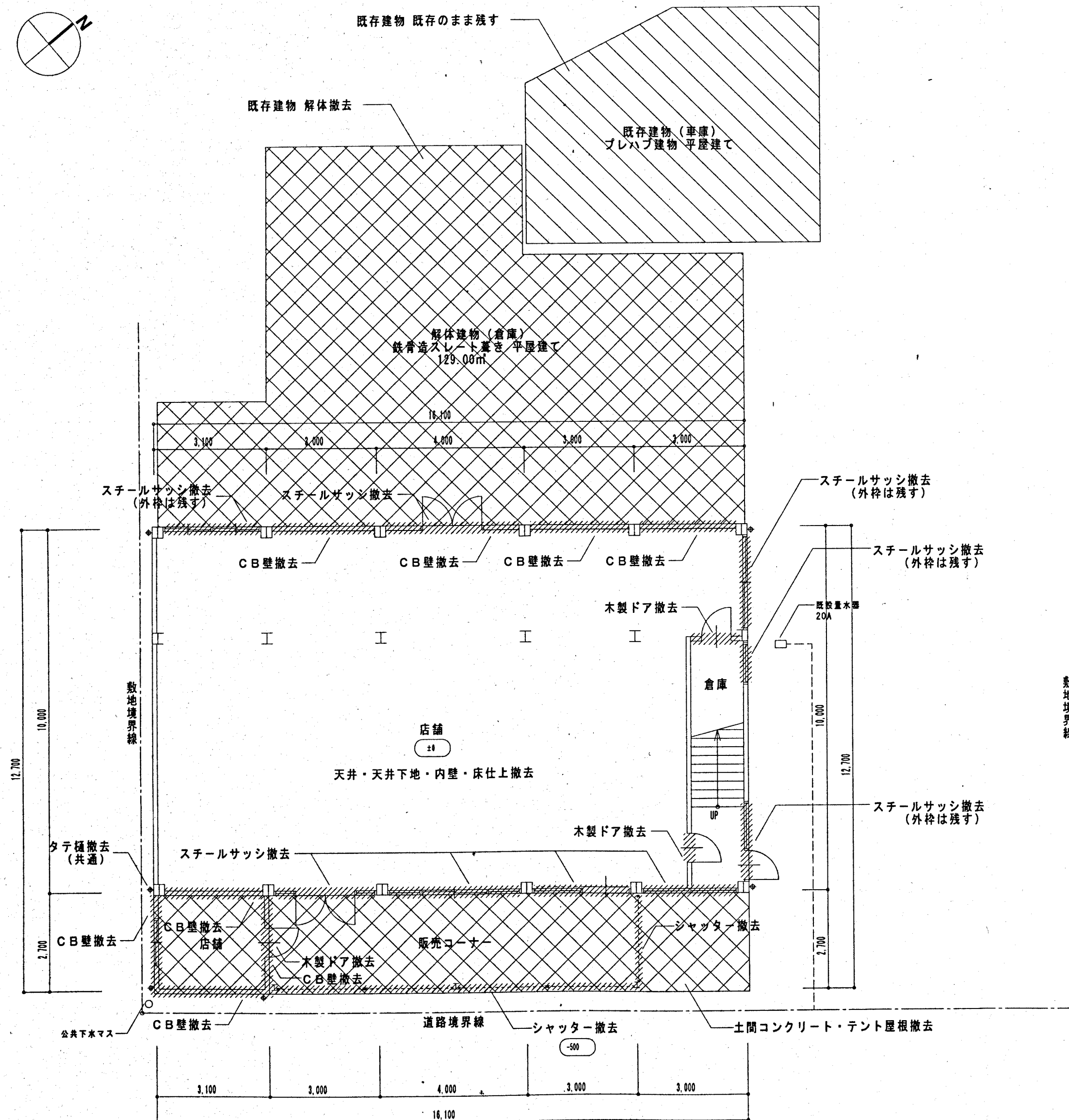
JOB CARD
17-01-01



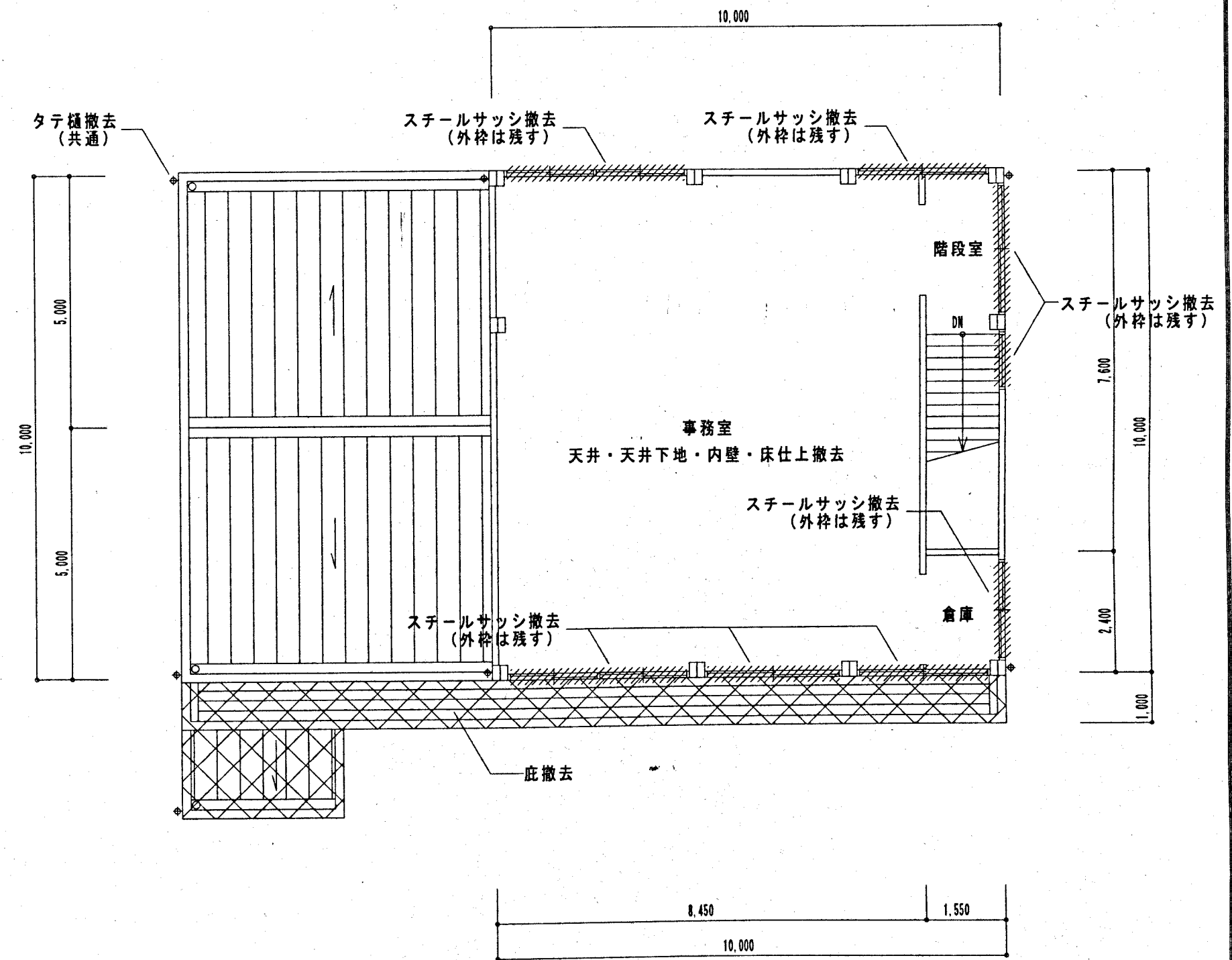
CONSTRUCTION 新美咲町分庁舎改修工事 設計図 2005/2/8
DRAWN 附近見取図・求積図・面積表 SCALE A2: 1/150 A4: 1/300
(株) 木村建築設計事務所 〒700-0071 岡山県岡山市中区1-1-1 1406号 登録建築士1406号 本村 謙



凡 例 (特記なき限り下記による)
//// 壁・建具・ガラス撤去部分を示す



改修1階平面図 1/100

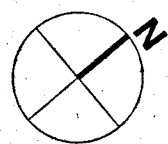


改修2階平面図 1/100

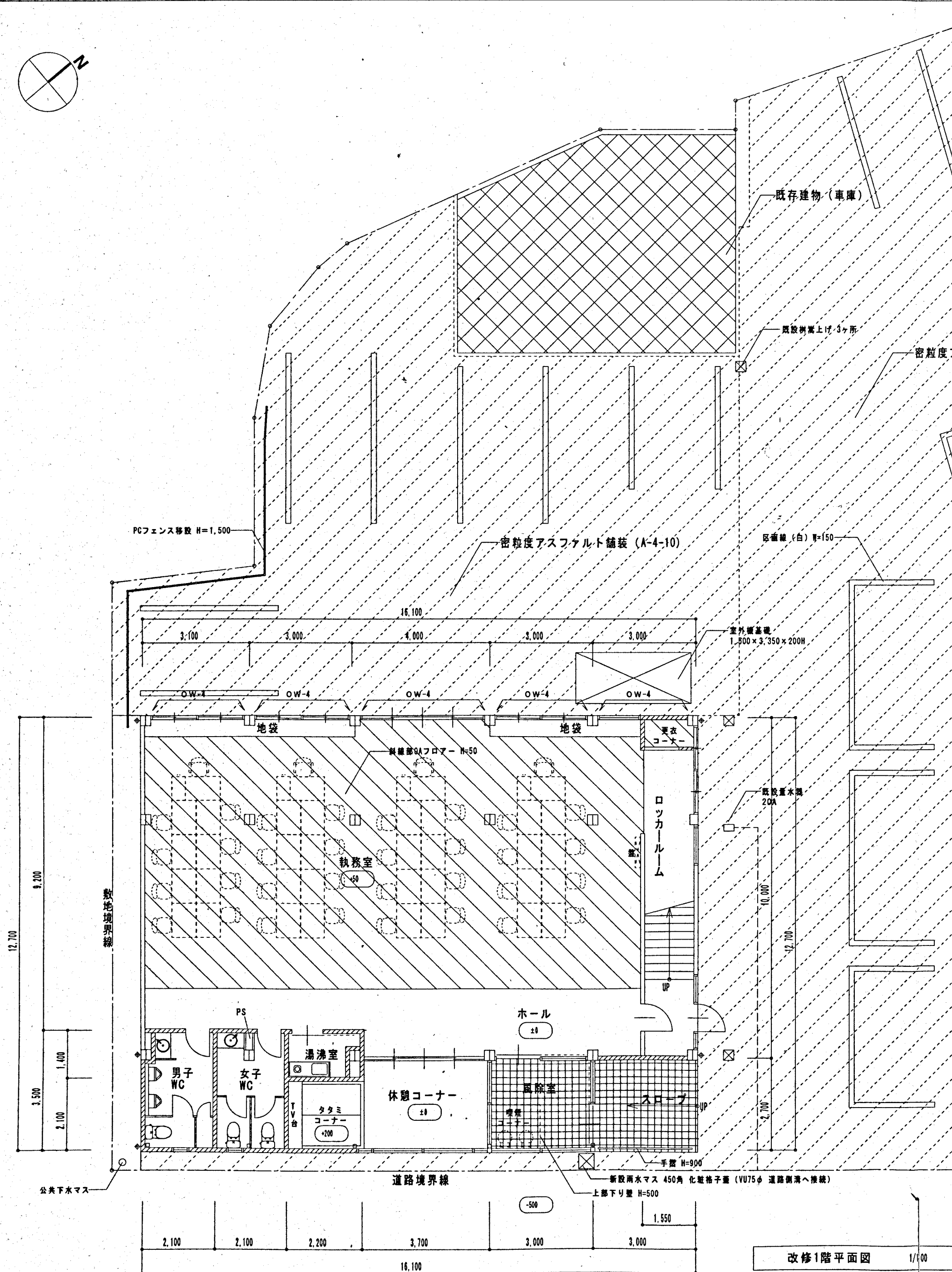
MEMO

JOB CODE 17-01-01

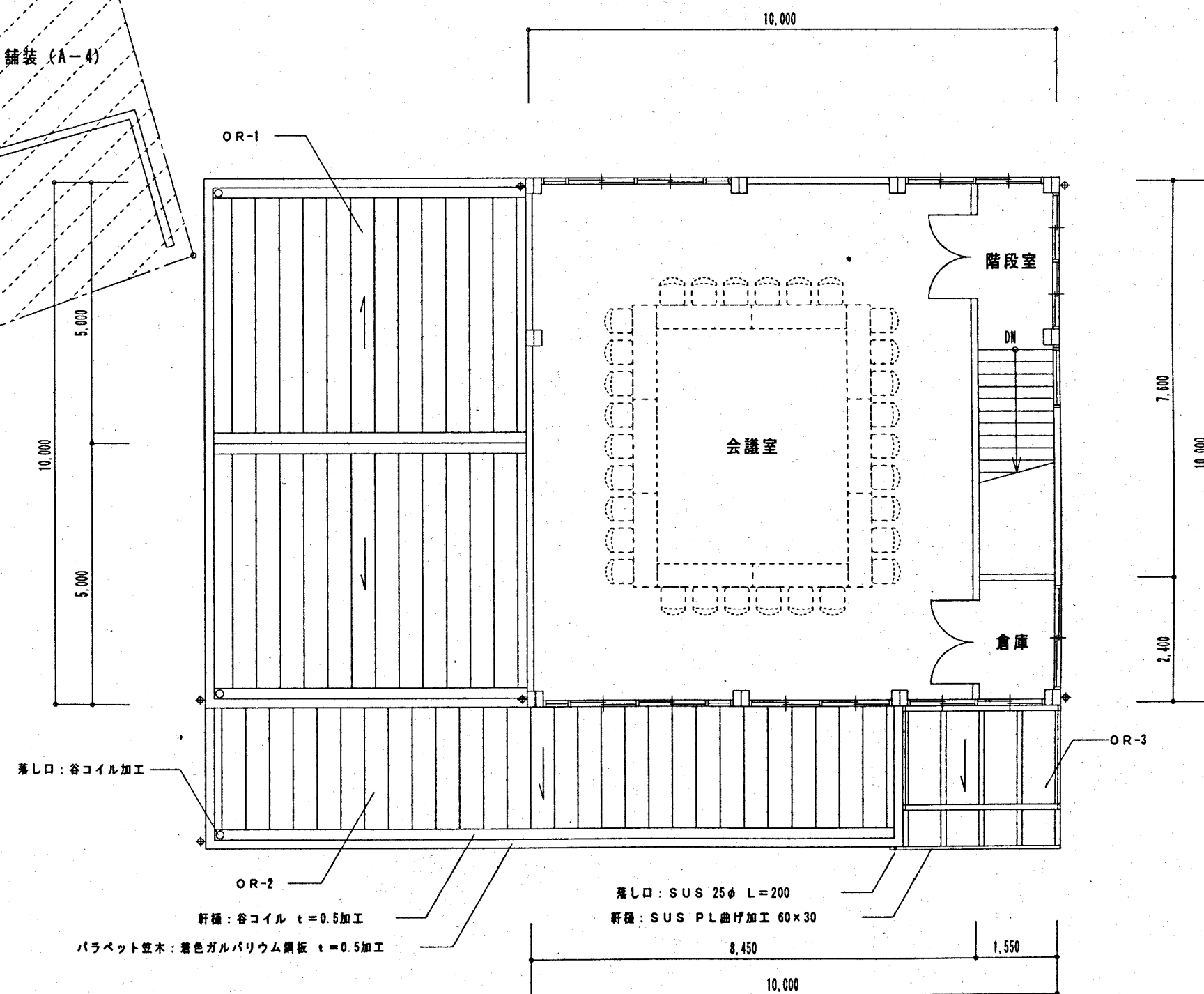
	CONSTRUCTION	新美咲町庁舎改修工事	DATE	2005/2/8	NO.	A-6
	DRAWN	既存平面図	SCALE	A2: 1/100 A4: 1/200	図面	管理
(株) 木村建築設計事務所			〒700-0871 岡山県岡山市中区3丁目18番20号 (086) 244-2811 1番館ビル1404号 管理用電話1番館66709号 本館 用			



- 凡 例 (特記なき限り下記による)
- 既存CB壁を示す。
 - 新設壁を示す。
 - 外壁 鉄骨下地 OW-3
 - 内壁 LGS下地 W-2



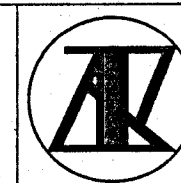
改修1階平面図 1/100



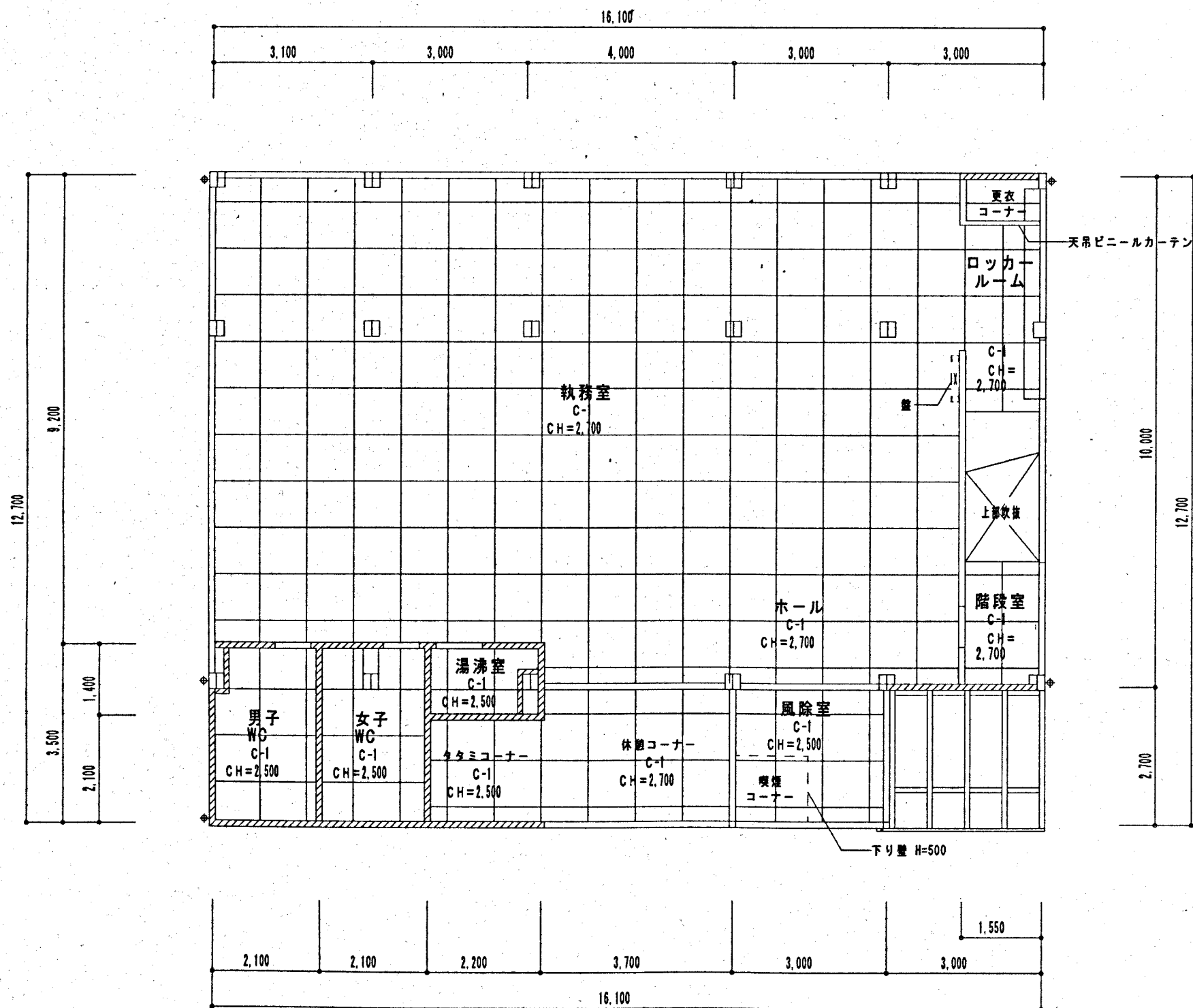
改修2階平面図 1/100

1F $16.5 \times 12.7 - 3.2 \times 2.2 = 196.32$
2F $10.0 \times 10.0 = 100$
計 296.32 m^2

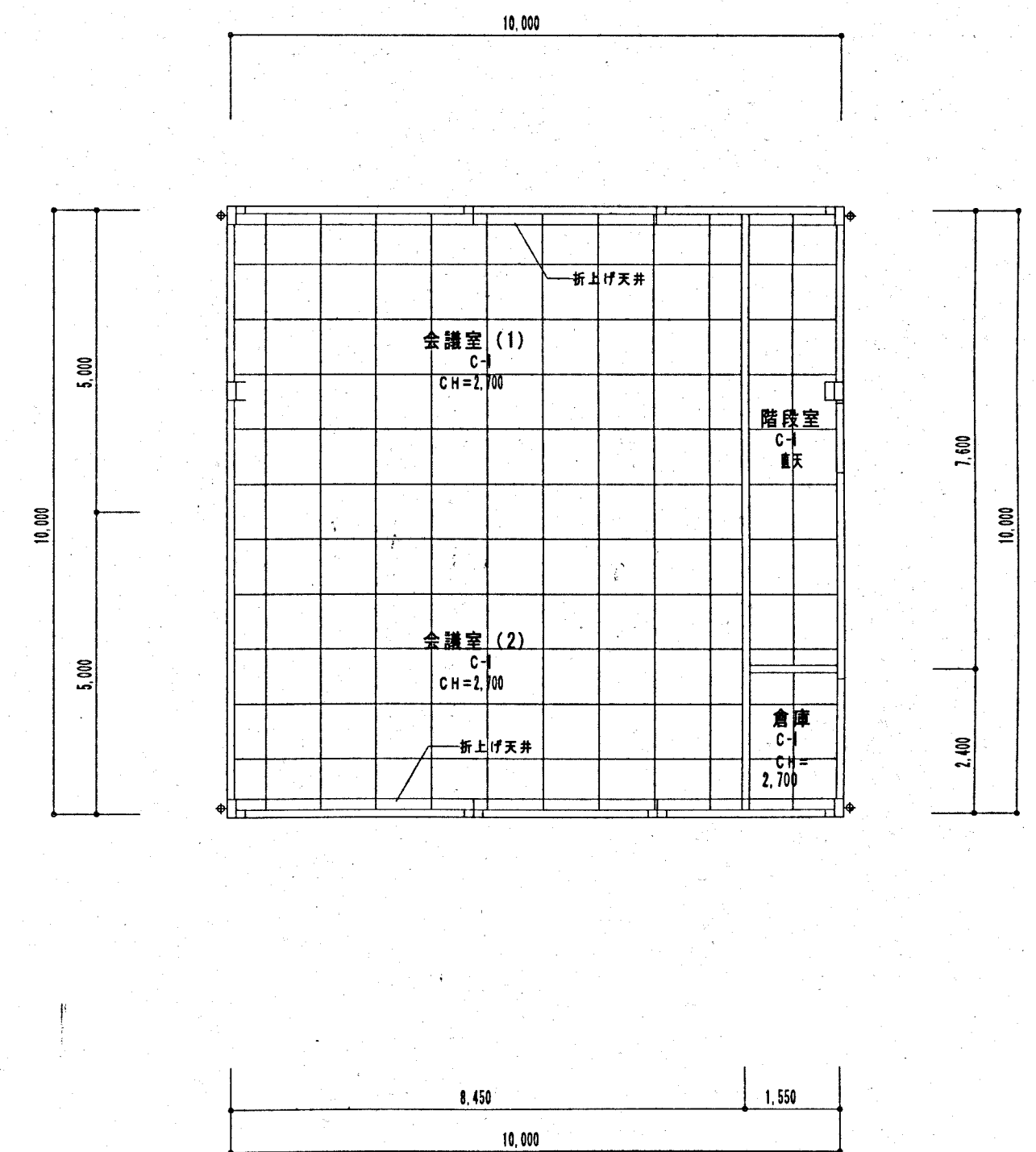
面積表 (既存)		
1階	196.37 m ²	(59.51坪)
2階	100.00 m ²	(30.30坪)
延べ面積	296.37 m ²	(89.81坪)



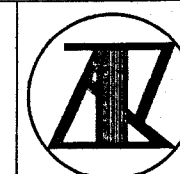
CONSTRUCTION	新美咲町庁舎改修工事	DATE	2005/2/8	NO.	A-7
DRAWN	改修平面図	SCALE	A2: 1/100 A4: 1/200	図章	管
(株) 木村建築設計事務所		〒700-0871 岡山県岡山市中区1-8-20 (086) 244-2611 1級建築士事務所 1486号 建築士 1級 建築士 1級 建築士 1級 建築士 1級			

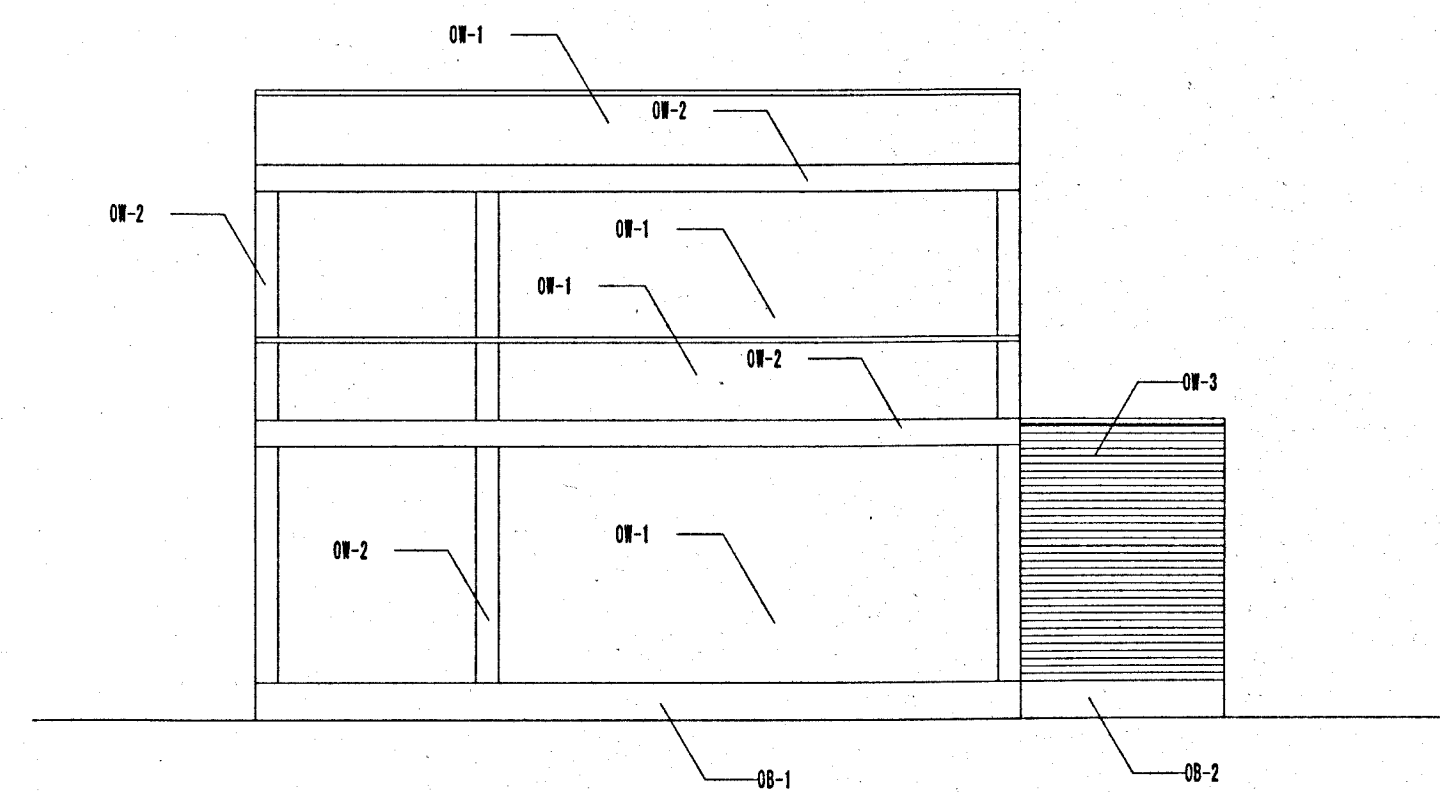
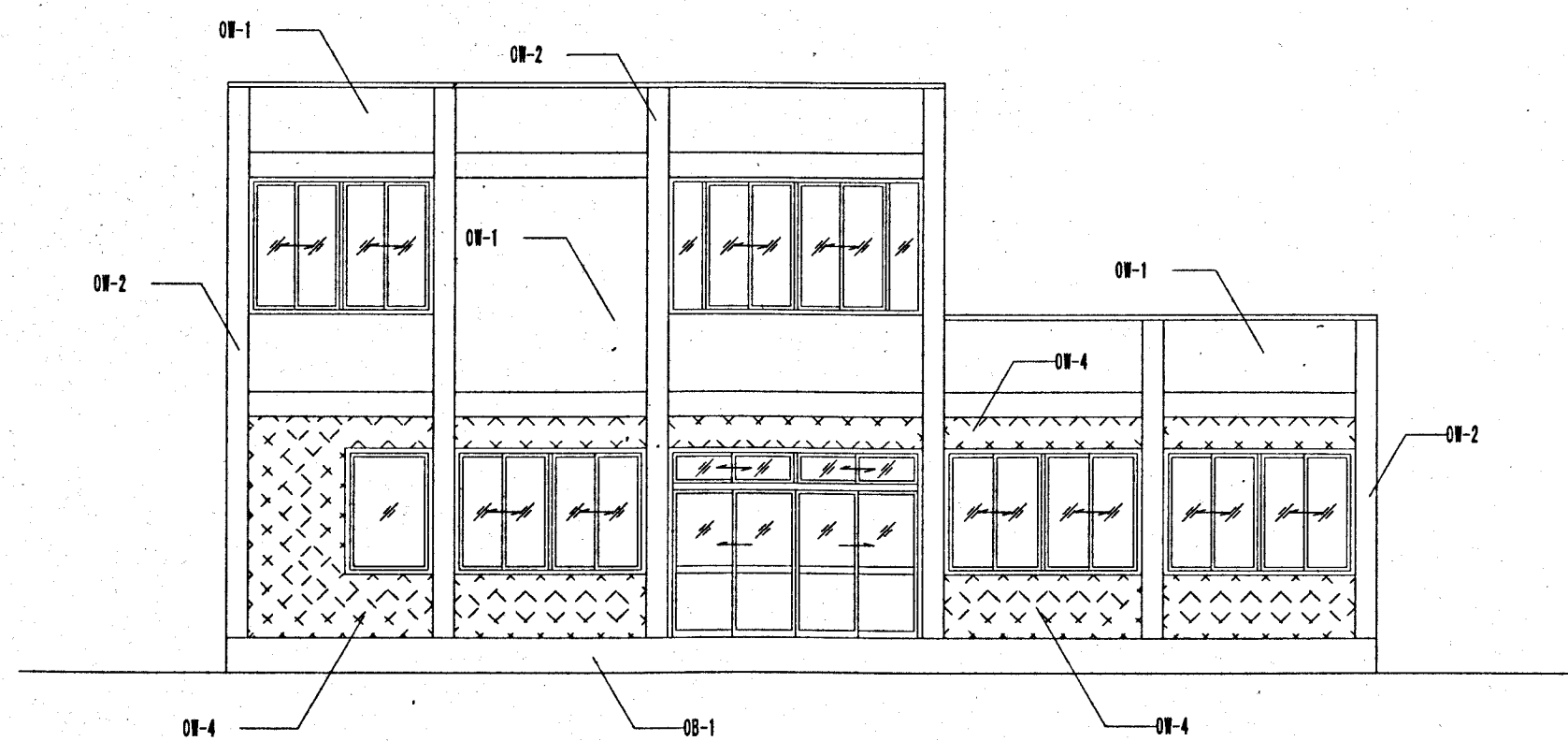
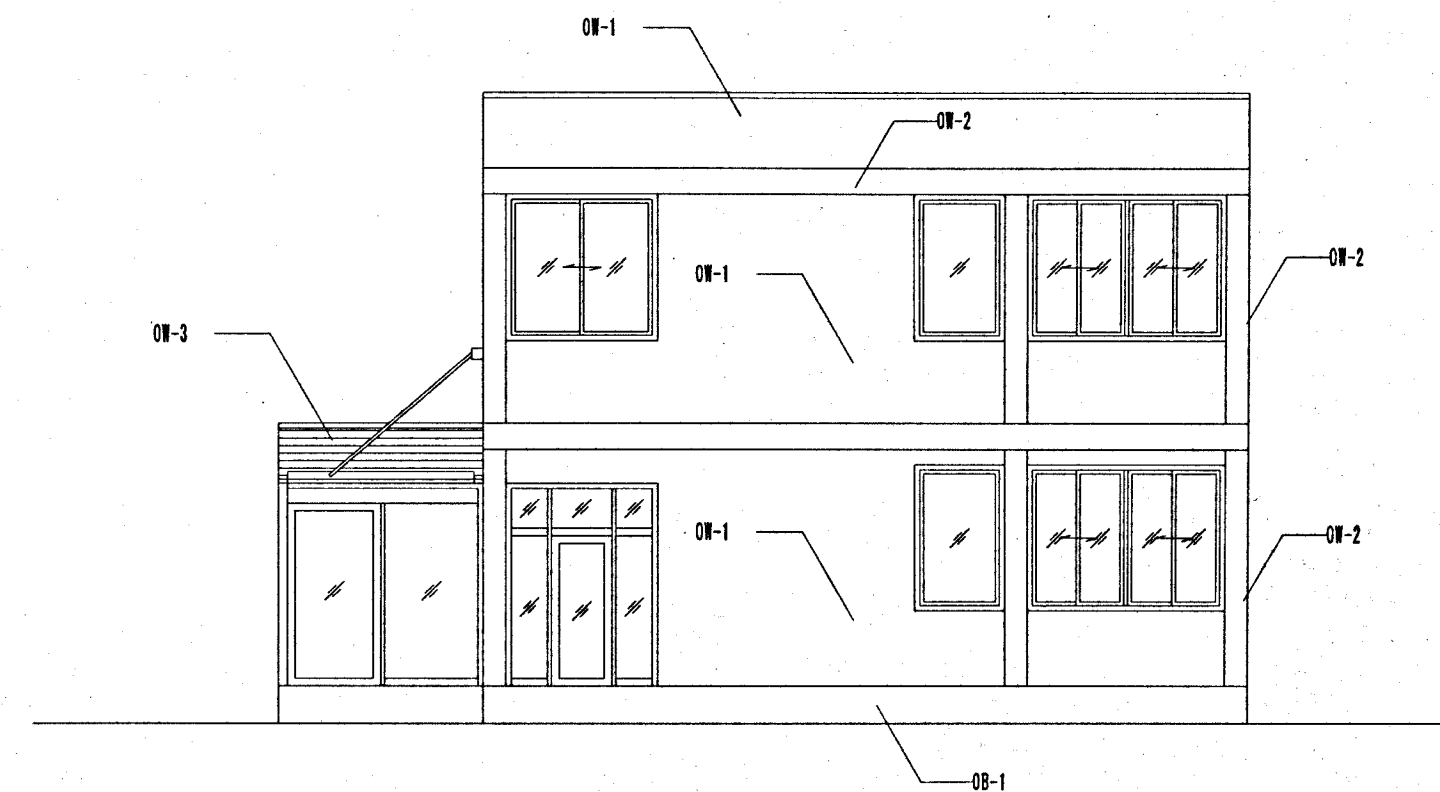
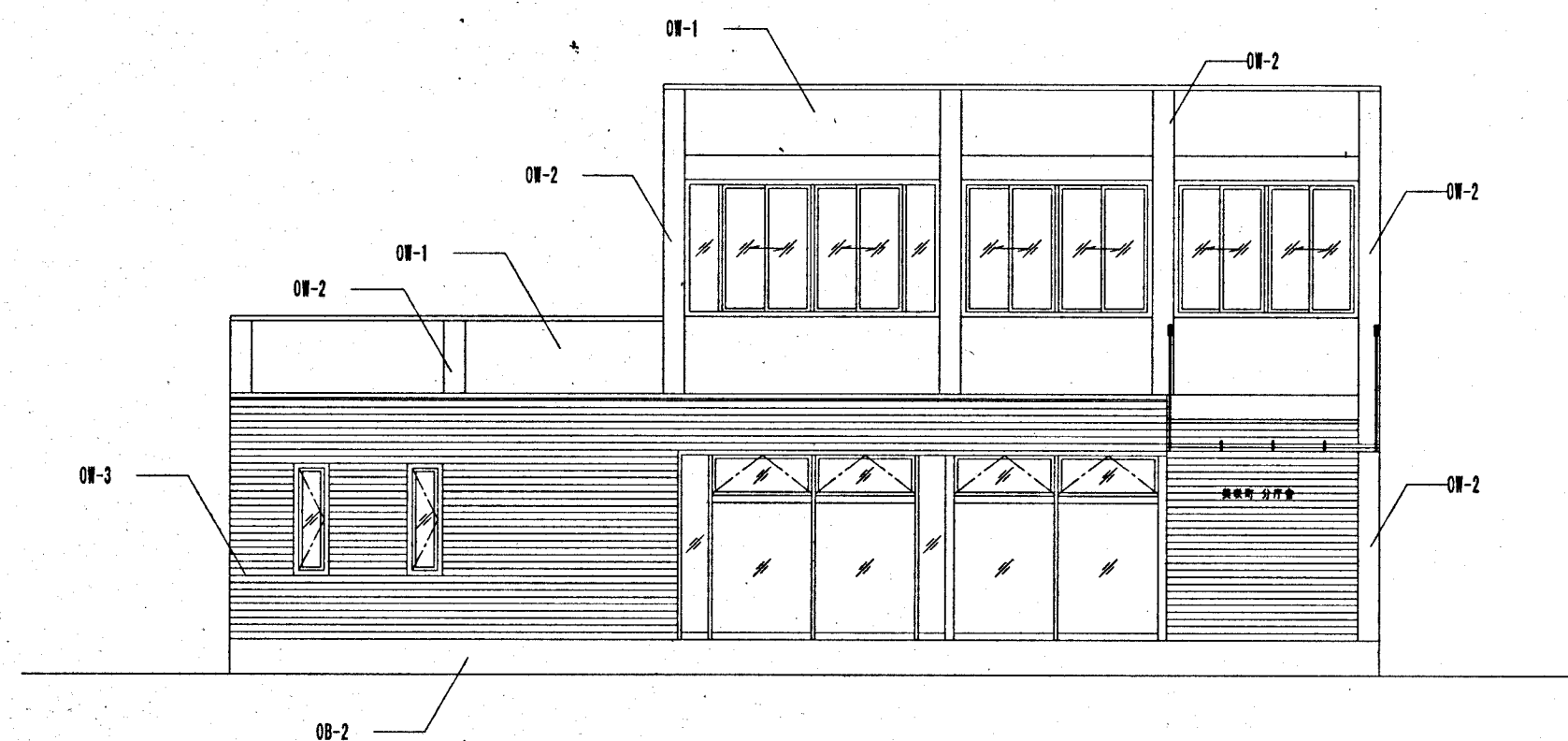


天井仕上凡例	
C-1	化粧石膏ボードφ9.5
CC-1	高圧水洗の上 複層塗材E吹付



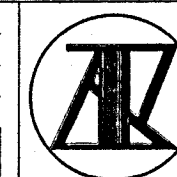
2 階天井伏図 1/100





MEMO

JOB CARD
17-01-01



	CONSTRUCTION
--	--------------

新美咲町分庁舎改修工事

設計図

DATE	2005/2/8
------	----------

NO.	A-9
-----	-----

DRAWN

立面图

SCALE
1" = 1/100'

A2: 1/100
M: 1/200

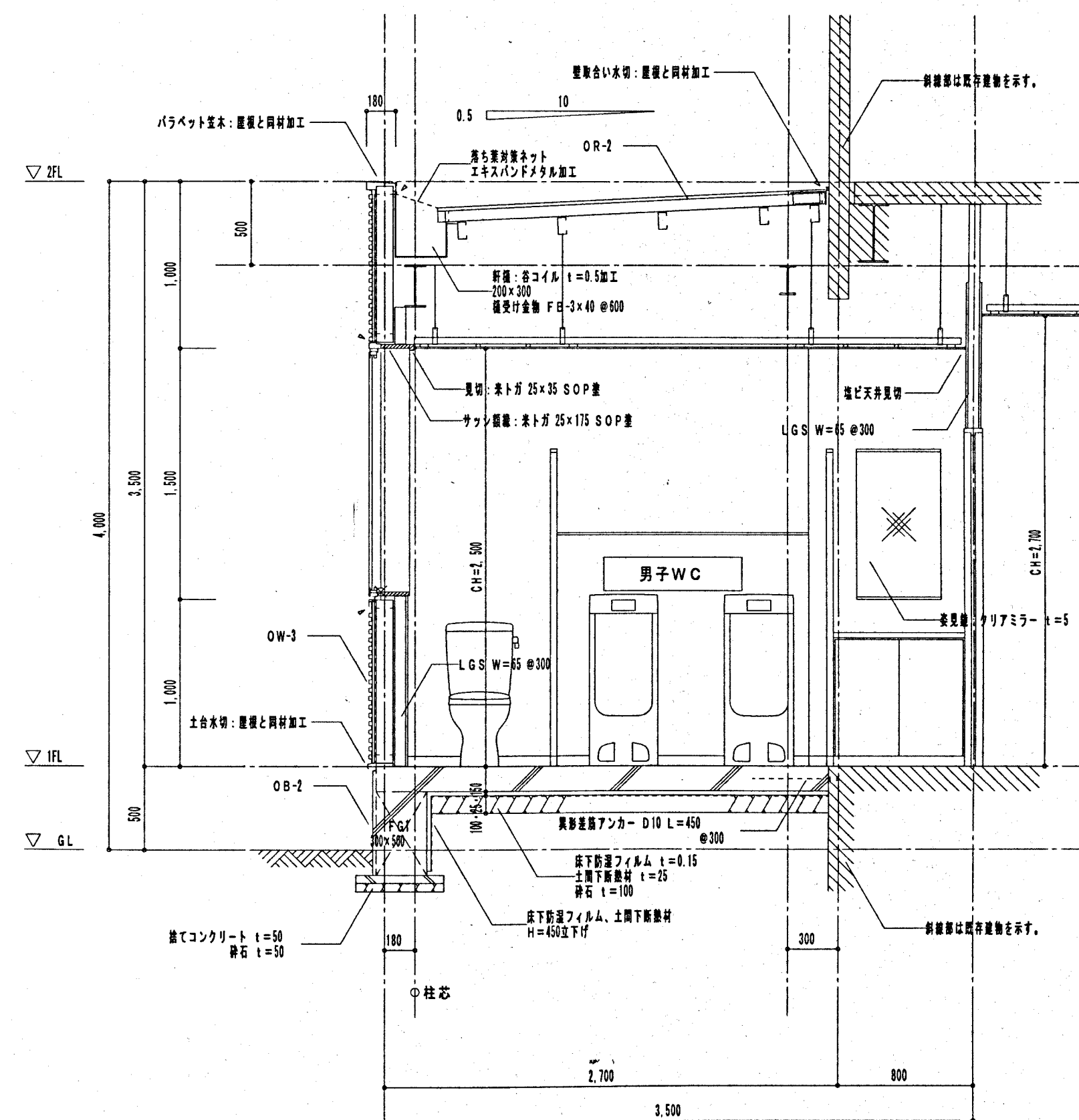
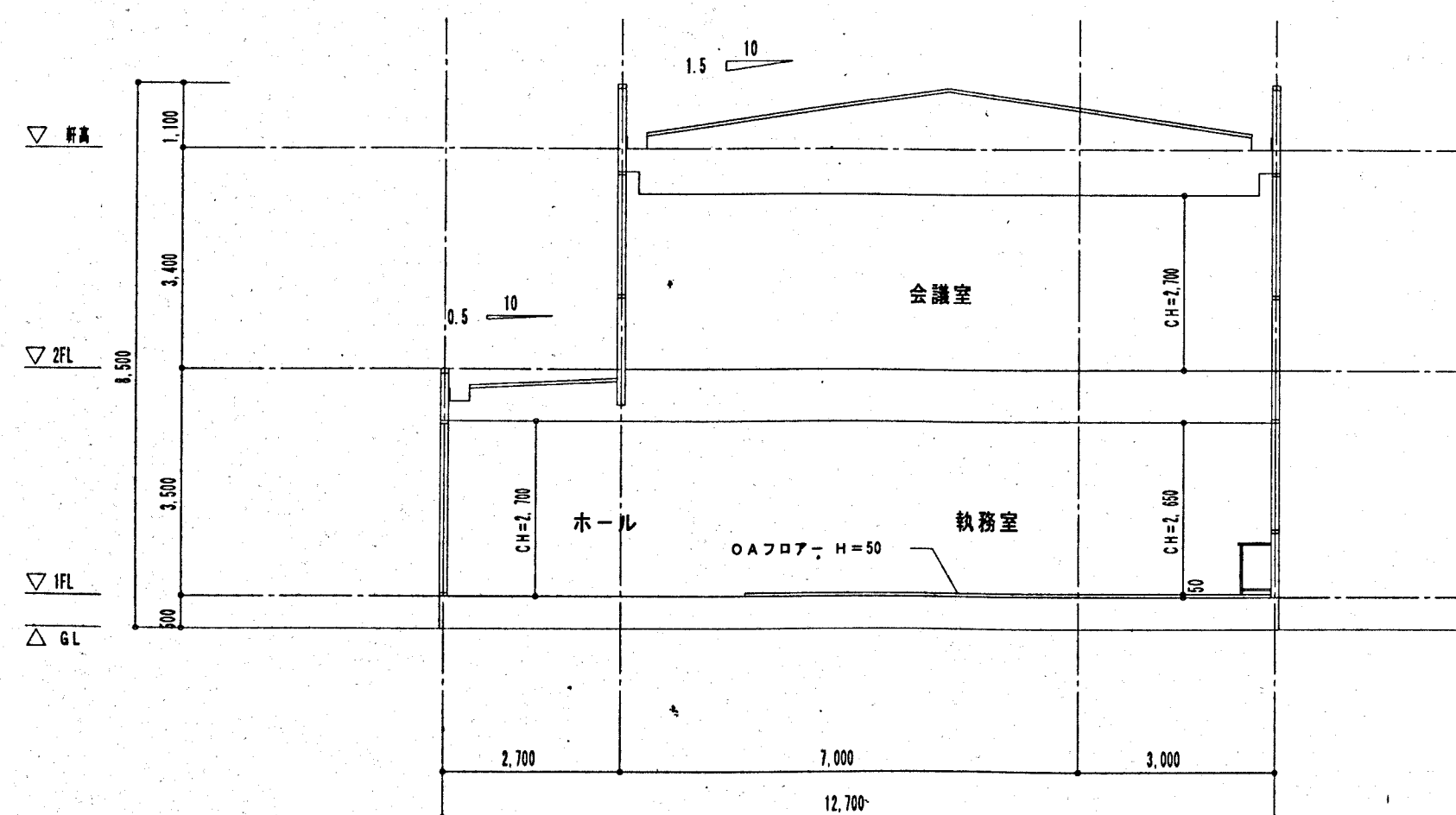
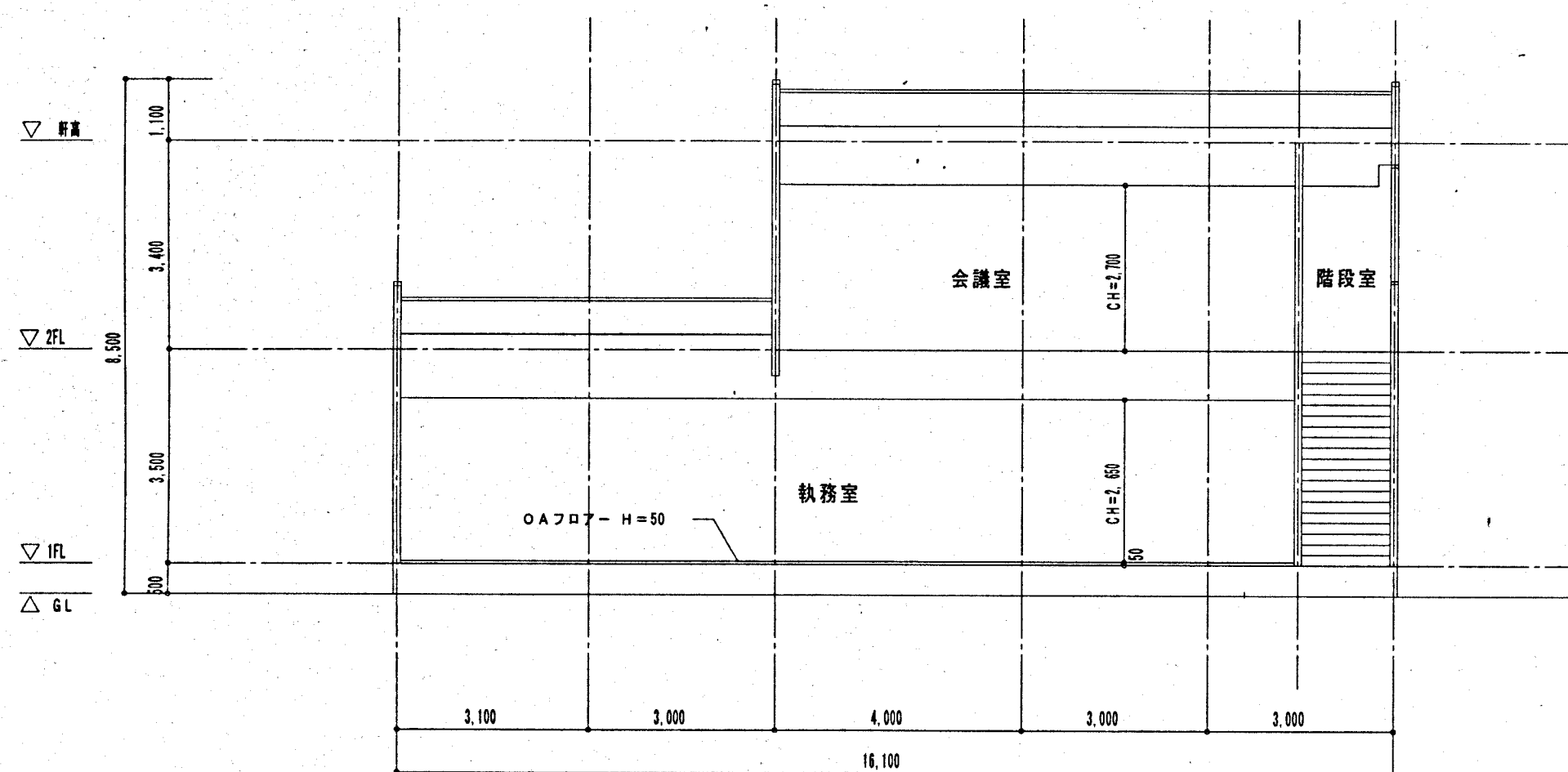
14. 1/20

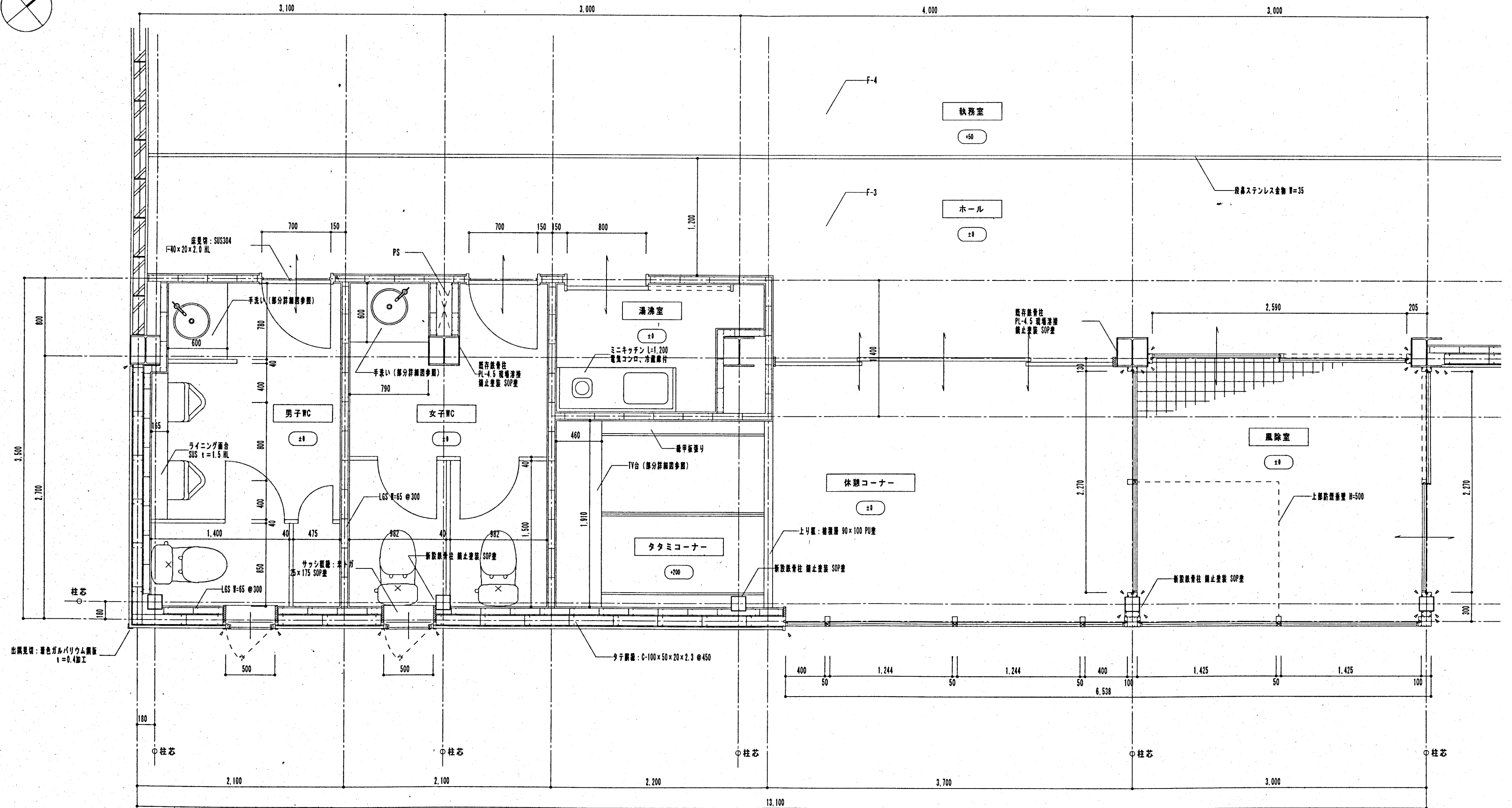
承認	
----	--

破説	作説
----	----

(株) 木村建築設計事務所

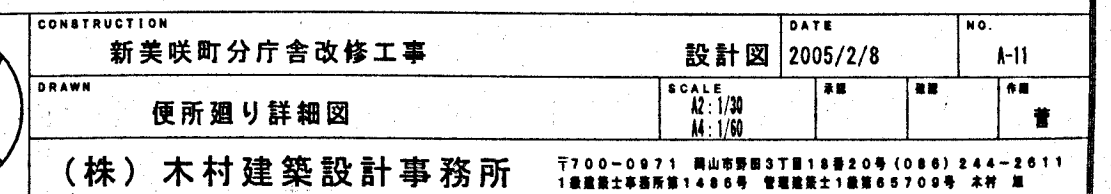
〒700-0971 岡山市野田3丁目18番20号 (086) 244-2611
1級建築士事務所 1486号 管理建築士1級第65709号 木村 知

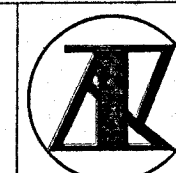
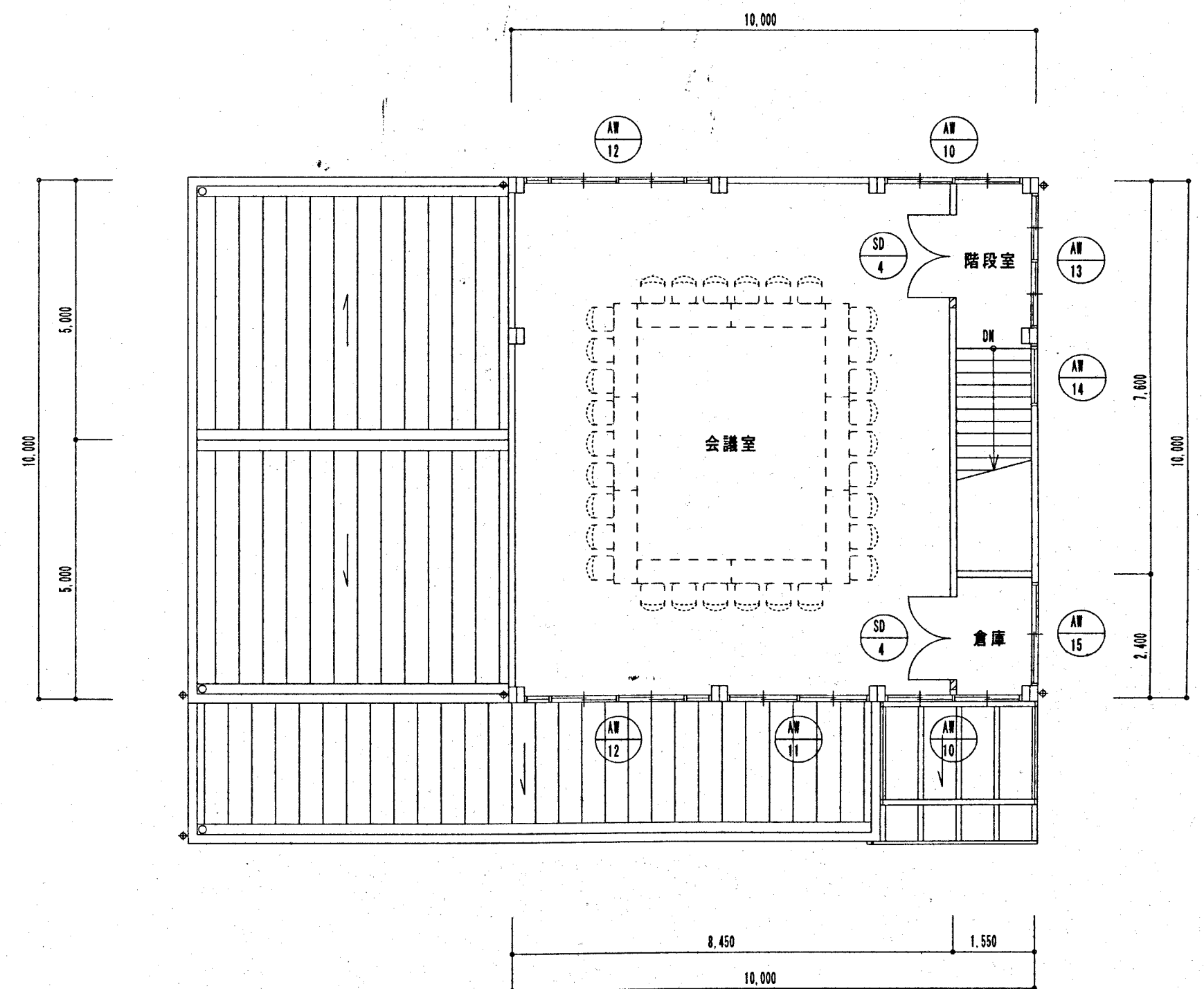
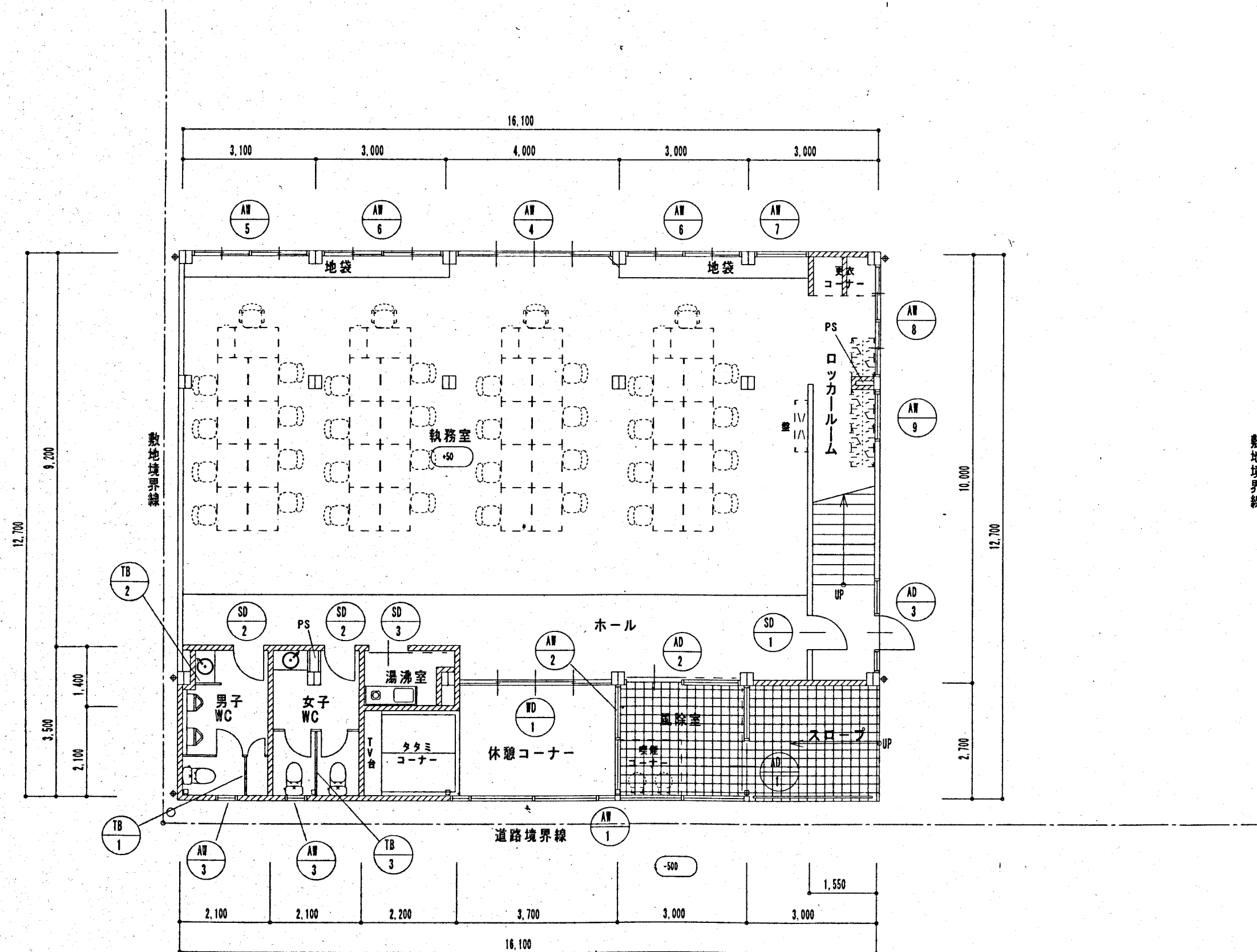




MEMO

JOB CARD
17-01-01





記号	名称	数量	AD-1	アルミ製片引込み自動ドア	1	AD-2	アルミ製片引込み自動ドア	1	AD-3	アルミ製両袖FIX窓付きドア	1
形状											
取付位置	風除室					風除室			階段室		
見込寸法	枠：100 扉：40					枠：100 扉：40			枠：100		
材質塗装	枠・扉：アルミ シルバー色					枠・扉：アルミ シルバー色			アルミ シルバー色		
硝子	扉：強化透明 t=8 袖・側面：フロート t=5					扉：強化透明 t=8 袖・側面：フロート t=5			強化透明 t=5		
金物	自動ドアエンジン装置、光電管スイッチ 衝突防止シール貼（塩ビフィルム 15×50 @50）					自動ドアエンジン装置、光電管スイッチ 衝突防止シール貼（塩ビフィルム 15×50 @50）			レバーハンドル、DC、TS、シンダー錠 衝突防止シール貼（塩ビフィルム 15×50 @50）		
記号	名称	数量	AF-1	アルミ製突出し連窓	1	AF-2	アルミ製FIX連窓	1	AF-3	アルミ製片開き窓	2
形状											
取付位置	待合コーナー					待合コーナー			男子WC・女子WC		
見込寸法	枠：100					枠：100			枠：70		
材質塗装	アルミ シルバー色					アルミ シルバー色			アルミ シルバー色		
硝子	強化透明 t=5					強化透明 t=5			型板 t=4		
金物	排煙オペレーター装置（ボールチェーン式） 衝突防止シール貼（塩ビフィルム 15×50 @50）					衝突防止シール貼（塩ビフィルム 15×50 @50）			付属金物一式		
記号	名称	数量	AF-4	アルミ製4枚引き戸	1	AF-5	アルミ製引違い窓	1	AF-6	アルミ製引違い窓	2
形状											
取付位置	執務室					執務室			執務室		
見込寸法	枠：70					枠：70			枠：70		
材質塗装	アルミ シルバー色					アルミ シルバー色			アルミ シルバー色		
硝子	強化透明 t=5					強化透明 t=5			強化透明 t=5		
金物	付属金物一式					付属金物一式			付属金物一式		
特記事項	・記入寸法は、有効内法寸法とする。 ・外部に接する戸・窓は、室内からの要図とする。 ・金属製建具・木製建具共、施工図にて打合わせの上係員の承認を受けて製作する事。 ・特記なき金物は全て SUS 304とし、金物・ガラス等は見本品を提出する事。 ・金属製建具枠は、防水モルタルを充填する事。窗簾りは、先給めとする。 ・アルミ巾広水切下は、無取組モルタル詰めとする。 ・建具外周は、ポリサルファイド（チオコール）コーキングとする。 ・ガラス押えは、ポリサルファイド（チオコール）コーキングとする。 ・ドアチェックは、居室側へ取り付け。 ・内部部のガラリは △型とし、外部部は ▽型とする。 ・外部に面するガラリは、すべて水返し付とする。 ・ガラリの開口率は、特記なき限り35%（木製のみ50%）とする。 ・アルミガラリは見込み70とし、全てステンレス製防虫網を取り付ける。 ・AD・AW・AGは特記がなくとも、附属品一式を含むものとする。 ・アルミサッシの押型材は、特記なき限り見込み70とする。 ・特記なき張り、WD・SDは全てフラッシュ戸とする。 ・レバーハンドルは、ユニオン（UL-27）程度とする。 ・フスマ紐は、工芸鳥の子紙とし、係員の承認を受けて製作する事。 ・外部に面する建具寸法はタイル割によるものとする。 ・オペレーター装置は（豊和NN1）埋込とする。 ・戸当りは、ユニオン（UT-16 クローム）程度とする。										
略語記号 ・PH：ピボットヒンジ ・FH：フロアーヒンジ ・AH：オートヒンジ ・DC：ドアチェック ・TS：戸当り ・FS：フランス落シ									CONSTRUCTION 新美咲町分庁舎改修工事 設計図 2005/2/8 DRAWN 建具表（1） SCALE 1/50 DATE 承認 確認 作図		
(株) 木村建築設計事務所 〒700-0911 岡山県岡山市野田3丁目18番20号 (086) 244-2611 1級建築士事務所第1486号 管理建築士1級第65709号 木村 雄 JOB CORD 17-01-01 No. A-13 菅											

DE-7

地袋

1/20

DE-8

玄関底

1/30

仕 様	
本体	ランバーコアメラミン化粧板貼
扉	メラミン化粧板フラッシュ
天板	ランバーコアメラミン化粧板貼
中欄	メラミン化粧板フラッシュ
金物	取手: カワシ' ユンタイプ'
	丁番: スガツネ工業タイプ (隠し丁番)
	マグネットキャッチ
	ステンレス ダボ 5φ

注意 事項 ■ 鉄骨材は亜鉛メッキ (HDZ35) エッチングプライマー処理の上FE塗りとする事。

MEMO

JOB CORD

17-01-01

CONSTRUCTION

新美咲町分庁舎改修工事

設計図

DATE

2005/2/8

NO.

A-16

DRAWN

部分詳細図 (2)

SCALE

図示

承認

確認

作図

営

(株) 木村建築設計事務所

〒706-0971 岡山県野田3丁目18番20号 (086) 244-2611
1級建築士事務所第1486号 管理建築士1級第65709号 木村 旭

鉄筋コンクリート構造配筋標準図

1-1 基本事項

1-2 その他

2-1 鉄筋の表示記号

2-2 鉄筋の折り曲げ

2-3 鉄筋の定着及び重ね継ぎの長さ

2-4 継手一般

§1 一般事項

1. 使用材料、工法等は標準仕様書による。
2. 設計図書に記載なき場合は本標準図に準ずるものとする。
3. 本標準図は鉄筋配筋と対照し、dは呼び筋径と記す。
4. 本標準図に示す鉄筋は特記なき限りすべてmmとする。

§2 共通事項

鉄筋の表示記号及び表示方法は下表による。

記号	形状	形状	形状	形状	形状	形状	形状	形状	形状
呼び筋径 d	11	13	16	19	22	25	28	32	36
表示筋径 D	11	13	16	19	22	25	28	32	36

- ・フックのない場合
- ・フックのある場合
- ・本数に差がある場合
- ・機械式継手
- ・溶接継手

折り曲げ	形状	鉄筋の長さ	折り曲げ内法長さ (D)
90°		全長 4d以上	3d
45°		全長 4d以上	3d
135°		全長 4d以上	3d

・片持スラブの上端筋の先端、壁の自由端に用いる先端及び端部の先端は全長 4d 以上とし、

折り曲げ	形状	鉄筋の長さ	鉄筋の折り曲げ内法長さ (D)
90°		全長 4d以上	3d
45°		全長 4d以上	3d
135°		全長 4d以上	3d

・コンクリートの側面の鉄筋の折り曲げは、上端筋は25d、下端筋は20dとする。

コンクリートの側面の鉄筋の折り曲げ (mm)	鉄筋の長さ	鉄筋の折り曲げ内法長さ (D)
25d	25d	25d
20d	20d	20d
15d	15d	15d
10d	10d	10d
5d	5d	5d

1. 柱、梁の鉄筋の折り曲げは原則として直交筋とし、直交筋とする場合は標準仕様書による鉄筋長さを要する。
2. 梁の鉄筋は、定着及び重ねの長さには要しない。
3. 梁の鉄筋の定着及び重ねの長さは、呼び筋径の鉄筋長さによる。
4. 梁の鉄筋の定着及び重ねの長さは、呼び筋径の鉄筋長さによる。
5. () 内は標準コンクリートの場合を示す。
6. 標準仕様書については、工事標準書の表を要する定着長さを20d、標準とする。

鉄筋の長さ	鉄筋の長さ	鉄筋の長さ	鉄筋の長さ
25d	25d	25d	25d
20d	20d	20d	20d
15d	15d	15d	15d
10d	10d	10d	10d
5d	5d	5d	5d

1. 正接継手
2. 機械式継手
3. 溶接継手
4. 25d以上の鉄筋は直交筋とし、直交筋とする場合は標準仕様書による鉄筋長さを要する。
5. 溶接継手を行う場合は原則として直交筋とし、直交筋の場合はガス圧接の場合は25d、溶接の場合は15dとする。
6. 溶接継手及び機械式継手の場合は、呼び筋径の鉄筋長さによる。
7. 中柱で水平定着 (直交) により直交筋とする。

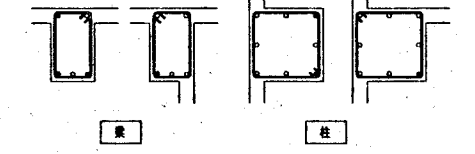
鉄筋の長さ	鉄筋の長さ	鉄筋の長さ	鉄筋の長さ
25d	25d	25d	25d
20d	20d	20d	20d
15d	15d	15d	15d
10d	10d	10d	10d
5d	5d	5d	5d

2-5 鉄筋のフック

2-6 鉄筋のあき

2-7 かぶり厚さ

1. 下記の1.~7. に示す鉄筋の先端にはフックをつける。
1. あらばり筋及び端筋
2. 定着の鉄筋
3. 柱及び梁 (高層を除く) の出筋部分の鉄筋 (下部筋)



1. 上端筋の先端にはフックをつける。
2. 定着の鉄筋
3. 柱及び梁 (高層を除く) の出筋部分の鉄筋 (下部筋)
4. 基礎の下端筋、片持スラブの上端筋の先端
5. 梁の上端筋及びこれに準ずる梁の柱間の鉄筋
6. 柱の基礎筋 (端筋及び柱2本以上の場合)
7. 鉄筋の断面の基礎筋、又は基礎のコンクリートの鉄筋の断面

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

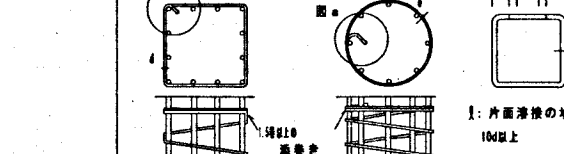
・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

1. スパイラル筋の先端及び継手は下記のとおりとする。
1. 先端は1.5倍以上の長さとし、端のフックをつける。
2. 定着の鉄筋は、呼び筋径の長さとし、端のフックをつける。



1. スパイラル筋の先端及び継手は下記のとおりとする。
1. 先端は1.5倍以上の長さとし、端のフックをつける。
2. 定着の鉄筋は、呼び筋径の長さとし、端のフックをつける。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

4-4 補助筋

4-5 小梁及び片持梁

4-6 基礎梁及び基礎小梁

4-7 梁の真通補強

4-8 梁の折り曲げ及び定着

4-9 梁の定着及び重ね

4-10 梁の定着及び重ね

4-11 梁の定着及び重ね

4-12 梁の定着及び重ね

4-13 梁の定着及び重ね

4-14 梁の定着及び重ね

4-15 梁の定着及び重ね

4-16 梁の定着及び重ね

4-17 梁の定着及び重ね

4-18 梁の定着及び重ね

4-19 梁の定着及び重ね

4-20 梁の定着及び重ね

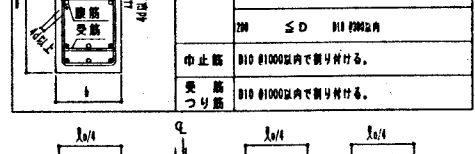
4-21 梁の定着及び重ね

4-22 梁の定着及び重ね

4-23 梁の定着及び重ね

4-24 梁の定着及び重ね

1. 定着の鉄筋は、呼び筋径の長さとし、端のフックをつける。
2. 定着の鉄筋は、呼び筋径の長さとし、端のフックをつける。



1. 定着の鉄筋は、呼び筋径の長さとし、端のフックをつける。
2. 定着の鉄筋は、呼び筋径の長さとし、端のフックをつける。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

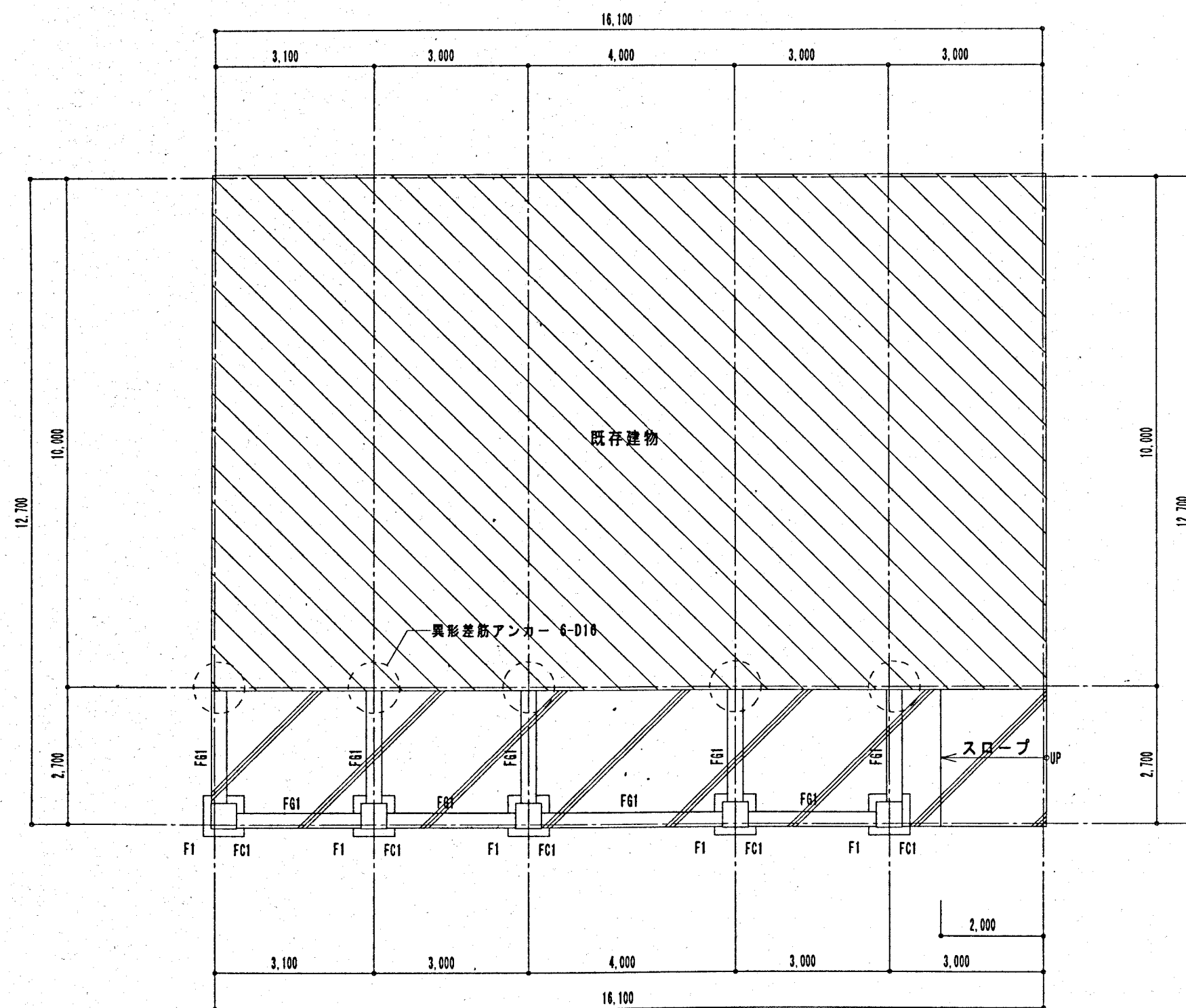
・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

・鉄筋のあき (D) は、原則として下記による。

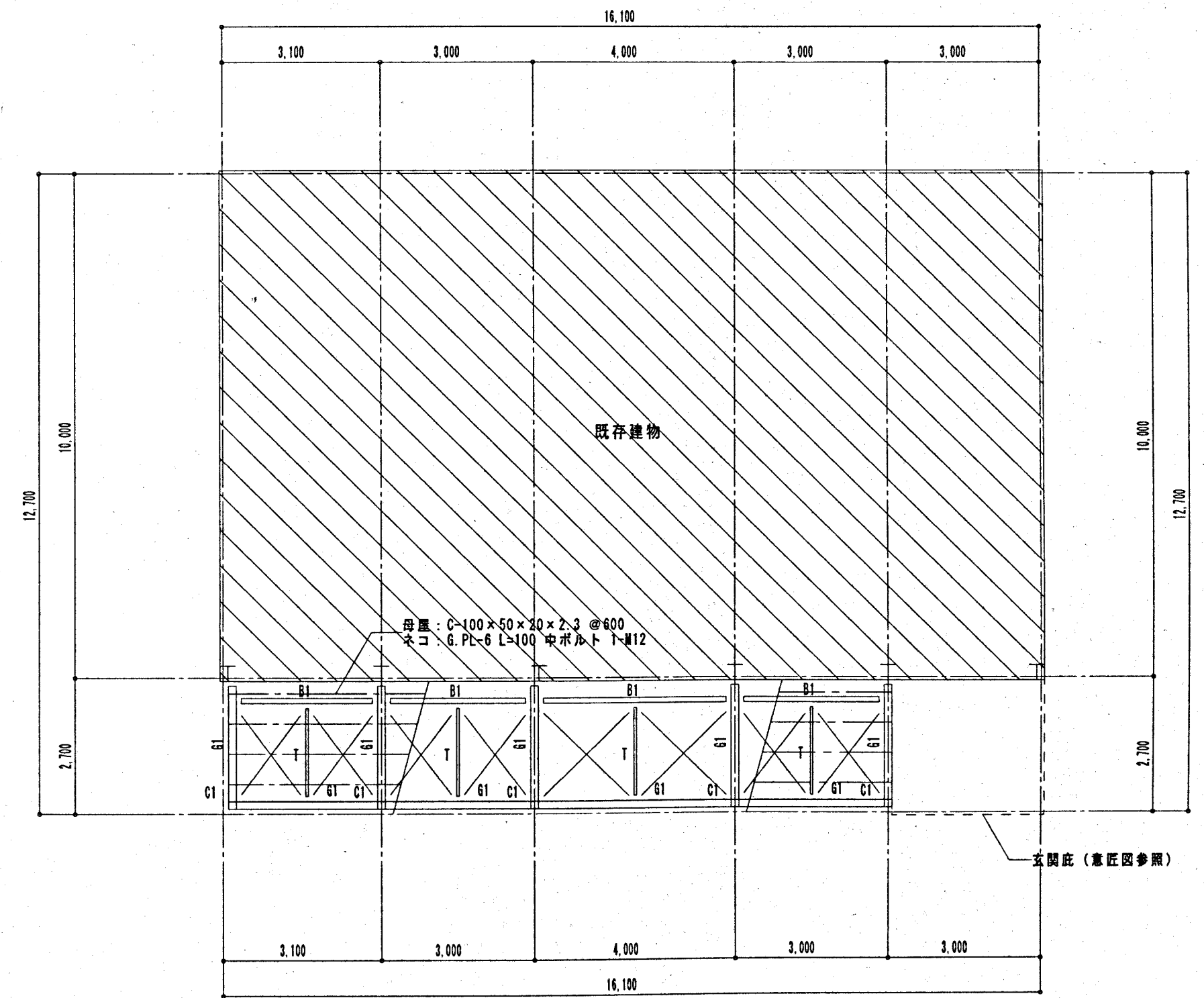
</



基礎伏図

1/100

は土間コンクリート
t=150 D10@200 タテヨコ共

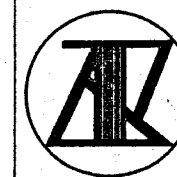


小屋伏図

1/100

MEMO

JOB CODE
17-01-01



CONSTRUCTION
新美咲町分庁舎改修工事

設計図
2005/2/8

NO.
S-4

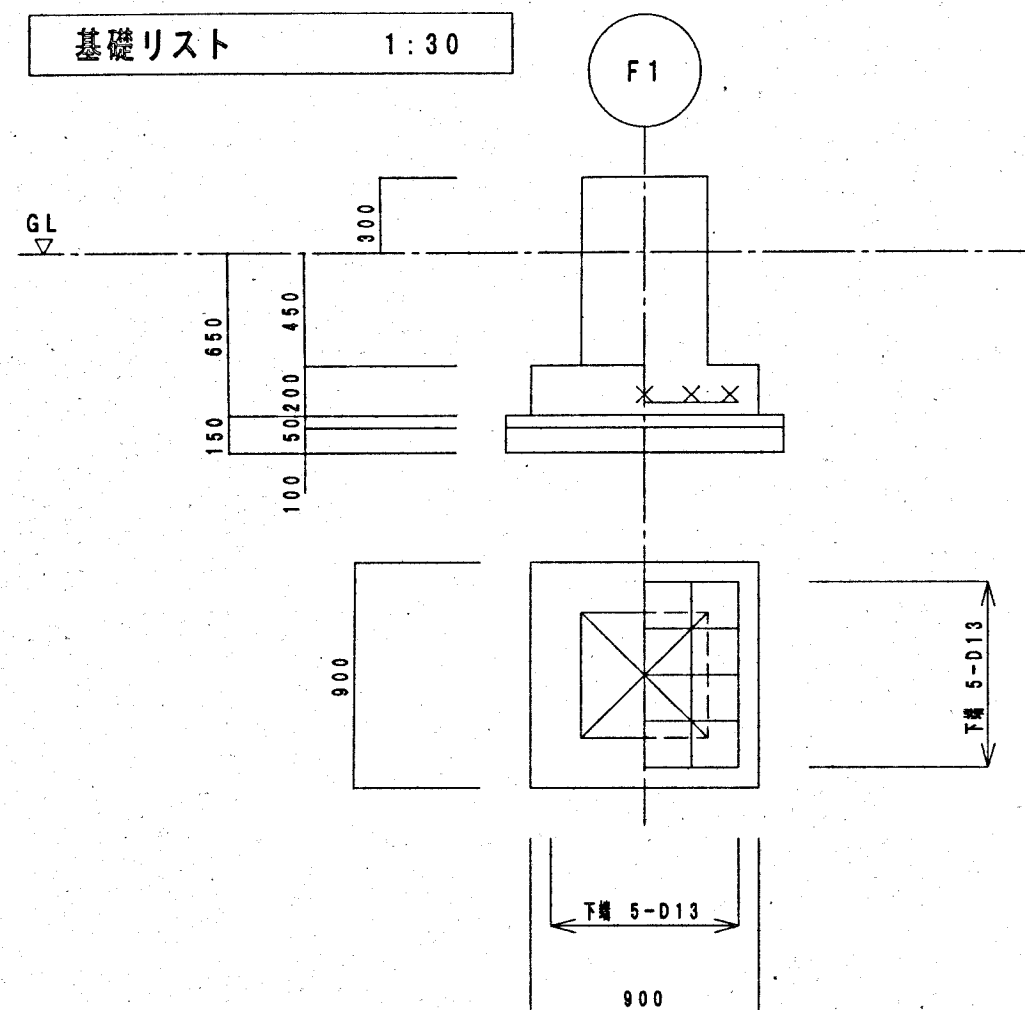
DRAWN
基礎・小屋伏図

SCALE
A2: 1/100
A1: 1/200

(株) 木村建築設計事務所

〒700-0971 岡山県岡山市中区3丁目18番20号 (086) 244-2811
1級建築士事務所第1486号 管理番号第65700号 本村 昭

基礎リスト 1:30



基礎梁リスト 1:30

巾止筋 D10@1000

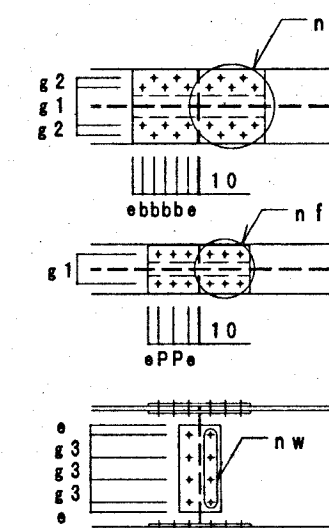
符 号	FG1
位 置	全断面
断 面	
B x D	300 x 500
上 端 筋	3-D16
下 端 筋	3-D16
スターラップ	□-D10 @200
腹 筋	

柱型リスト 1:30

符 号	FC1
断 面	
B x D	500 x 500
主 筋	8-D19
フ ー プ	□-D13 @100

ボルトピッチ

ボルト径	e	P	b
M16	40	60	45
M20	40	60	45
M22	40	60	45



柱リスト

特記なき限り下記による
・使用鋼材はSTKR400とする

符 号	部 材	備 考
C1	□-150x150x6	

大梁リスト

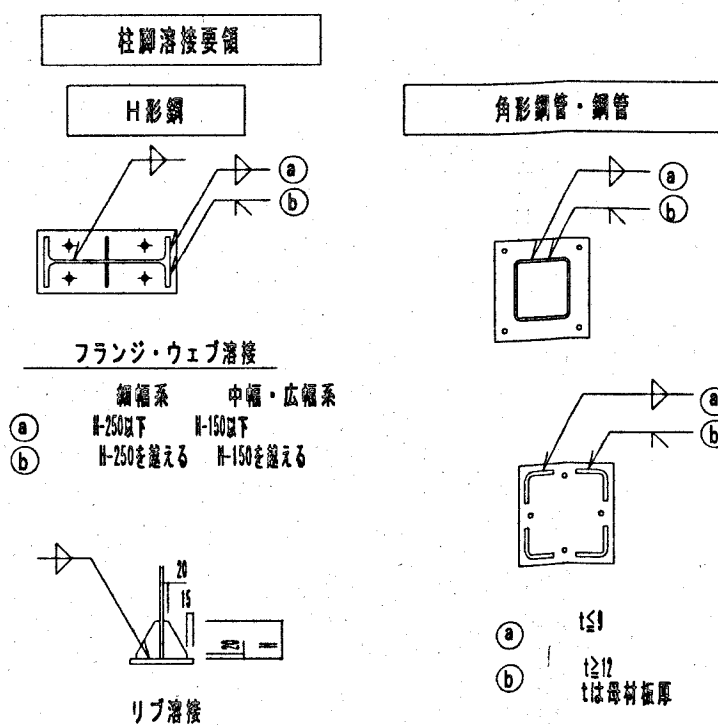
特記なき限り下記による
・使用鋼材はSS400とする
・○はSM490とする

符 号	部 材	FLANGE				WEB			備 考
		HTB	nf	g1	g2	SPL	nw	g3	
G1	H-250x125x6x9	M16	4	75	-	SPL- 9x120x290 2SPL- 9x 45x290	2	90	2SPL- 6x170x170

柱脚リスト 1:30

特記なき限り アンカーボルトは フック付二重ナット締めとする

符 号	C1		
主 材	□-150x150x6		
断 面			
ベースプレート	PL-12x310x180 (SS400)		
アンカーボルト	2-M16 (L=600)		
備 考			

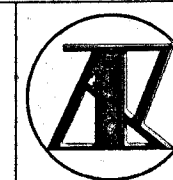


部材リスト

特記なき限り下記による
・使用鋼材はSS400とする

符 号	部 材	接合部		備 考
		HTB	GPL	
B1	H-175x90x5x8	2-M16	GPL- 6	
T	2C-100x50x20x2.3	2-M16	GPL- 6	
水平ブレース	RB-M16 (T.B付)	1-M16	GPL- 9	

MEMO

JOB CODE
17-01-01

CONSTRUCTION

新美咲町分庁舎改修工事

設計図 2005/2/8

NO.

S-5

DRAWN

部材リスト

SCALE
A2: 1/20
A4: 1/50

数量

単位

材料

管

(株) 木村建築設計事務所

〒700-0971 岡山県岡山市東区3丁目18番20号 (086) 244-2611
1級建築士事務所 1486号 登録建築士1級 65709号 木村 隆

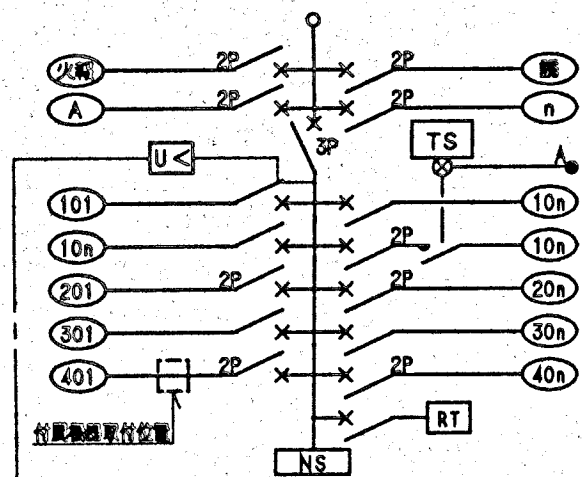
分電盤仕様

213

標準結線図

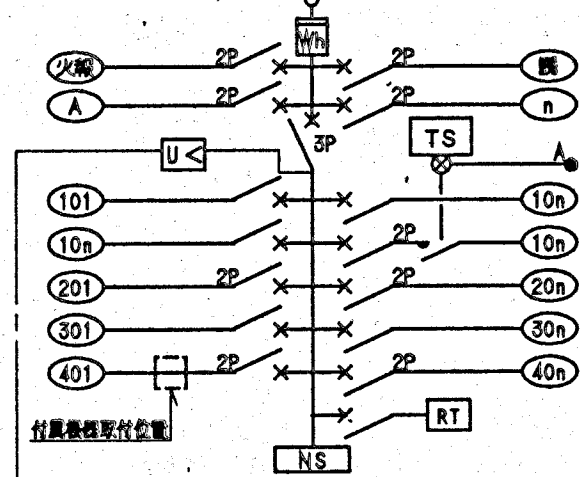
A B

注) 標準結線図中、Bは U< 取り付けとする。



C D

注) 標準結線図中、Dは U< 取り付けとする。



参考図

CHV

ダクト

ダクト

電灯盤 動力盤 端子盤

CH=2700

FLV

LMT-1

端子盤 電話主装置
HUB 10TX12ポートX5 } スペース
端子台 100P
(実装) 露出コンセント E付X1

負荷容量の算定

負 荷 名 称		負 荷 容 量 VA	備 考	負 荷 名 称		負 荷 容 量 VA	備 考
蛍 光 灯	直 管 形 ラ ン プ	低 力 率	W ₀ X2.0	H I D 灯	低 力 率	100V	W ₀ X2.5
		20W以下	W ₀ X1.5		200V	W ₀ X2.0	
		40WX1	45		高 力 率		W ₀ X1.5
		40WX1 (省電力型)	40				
		110WX1	120	白 熱 灯			W ₀ X1.0
	コ ン パ ク ト 型 (FDL/FPL)	110WX1 (省電力型)	110		15A (1口用、2口用)	100	
		6W~13W	W ₀ X1.3		20A	1000	
		18W~27W	W ₀ X1.2		換気扇用	100	
		28W	40				
		36W	45	コ ン セ ン ト			
環 形 ラ ン プ	低 力 率	55W	85				
		32W及び30W	W ₀ X1.2				
		40W	50				

注 記

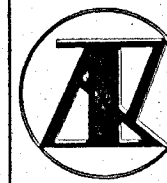
1. 結線図中、特記なき機器仕様は下記による。		3. 回路番号種別は下記による。	
3P - MCB 3P	▲ - リモコン リレー 1P20A (○)	火線 - A C 100V 自火報受警機回路	線 - A C 100V 線 等 灯 回 路
2P - MCB 2P50AF/20AT	- リモコン リレー 2P20A (○)	放 - A C 100V 防炎アンプ回路	
- MCB 1P50AF/20AT	RT - リモコントランス AC100V/24V		
E - ELB 2P50AF/20AT	- MGSW 2P30A	10n - A C 100V 電 灯 回 路	20n - A C 200V 電 灯 回 路
	TS - 24H停電検出付	30n - A C 100V コンセント回路	40n - A C 200V コンセント回路
U< - 不足電圧検出器	Wn - 積算電力計 検定付	50n - D C 100V 非 常 灯 回 路	60n - GAC 100V 電 灯 回 路
NS - ニュートラル端子	Wnp - 積算電力計 検定付 (ノルス脱離型)	70n - GAC 200V 電 灯 回 路	80n - GAC 100V コンセント回路
		90n - GAC 200V コンセント回路	
		100n E. T. A - E=ELB回路 . T=タイマー回路 . A=自火報受警機回路	
		R. M. - R=リモコン回路 . M=MGSW回路	
2. 負荷容量欄において(W ₀)はランプワット数を示す。		4.	

分電盤リスト (NO. 1)

盤名称 仕様番号 盤形状	電主 結合	方閉 記号	式 記号	回路 番号	種 別	電圧 (V)	分岐 開閉器	負 荷 名 称	負 荷 容 量 (VA)	附 属 機 器	備 考
LMT-1 屋内自立型 上部ダクト付 CH=2700	ELB 3P 125AF /75AT			101	100	○	2 50/20	○ 軌道照明	1120		
				102	"	○	2 "	○ 軌道照明	980		
				103	"	○	2 "	○ 符合・便所照明	600		
				104	"	○	2 "	○ 自動ドア	150		
				105	"	○	2 "	○ ロッカー他照明	308		
				106	"	○	2 "	○ 2階照明	1000		
				107	"	○	2 "	○ 2階照明	1000		
				108	"	○	2 "	○ 予 備			
				301	100	○	2 50/20	○ 軌道室コンセント	500		
				302	"	○	2 "	○ 軌道室コンセント	400		
				303	"	○	2 "	○ 軌道室コンセント	500		
				304	"	○	2 "	○ 軌道室コンセント	400		
				305	"	○	2 "	○ 軌道室コンセント	500		
				306	"	○	2 "	○ 軌道室コンセント	400		
				307	"	○	2 "	○ 軌道室コンセント	500		
				308	"	○	2 "	○ 軌道室コンセント	400		
				309	"	○	2 "	○ ロッカー他コンセント	500		
				310	"	○	2 "	○ 軌道室コンセント	400		
				311	"	○	2 "	○ 符合他コンセント	500		
				312	"	○	2 "	○ 電気温水器用	1100		
				313	"	○	2 "	○ 湯沸室コンセント	800		
				314	"	○	2 "	○ 湯沸室コンセント	800		
				315	"	○	2 "	○ 女子化粧台コンセント	1200		
				316	"	○	2 "	○ 女子化粧台コンセント	1200		
				317	"	○	2 "	○ 男子化粧台コンセント	1200		
				318	"	○	2 "	○ 洗面コンセント	400		
				319	"	○	2 "	○ 2階コンセント	500		
				320	"	○	2 "	○ 2階コンセント	500		
				321	"	○	2 "	○ 予 備			
				322	"	○	2 "	○ 予 備			
				323	"	○	2 "	○ 予 備			
								計	17838		

MEMO

JOB CORD
17-01-01



CONSTRUCTION
新美咲町分庁舎改修工事

DRAWN
分電盤リスト

(株) 木村建築設計事務所

DATE
2005/3/10

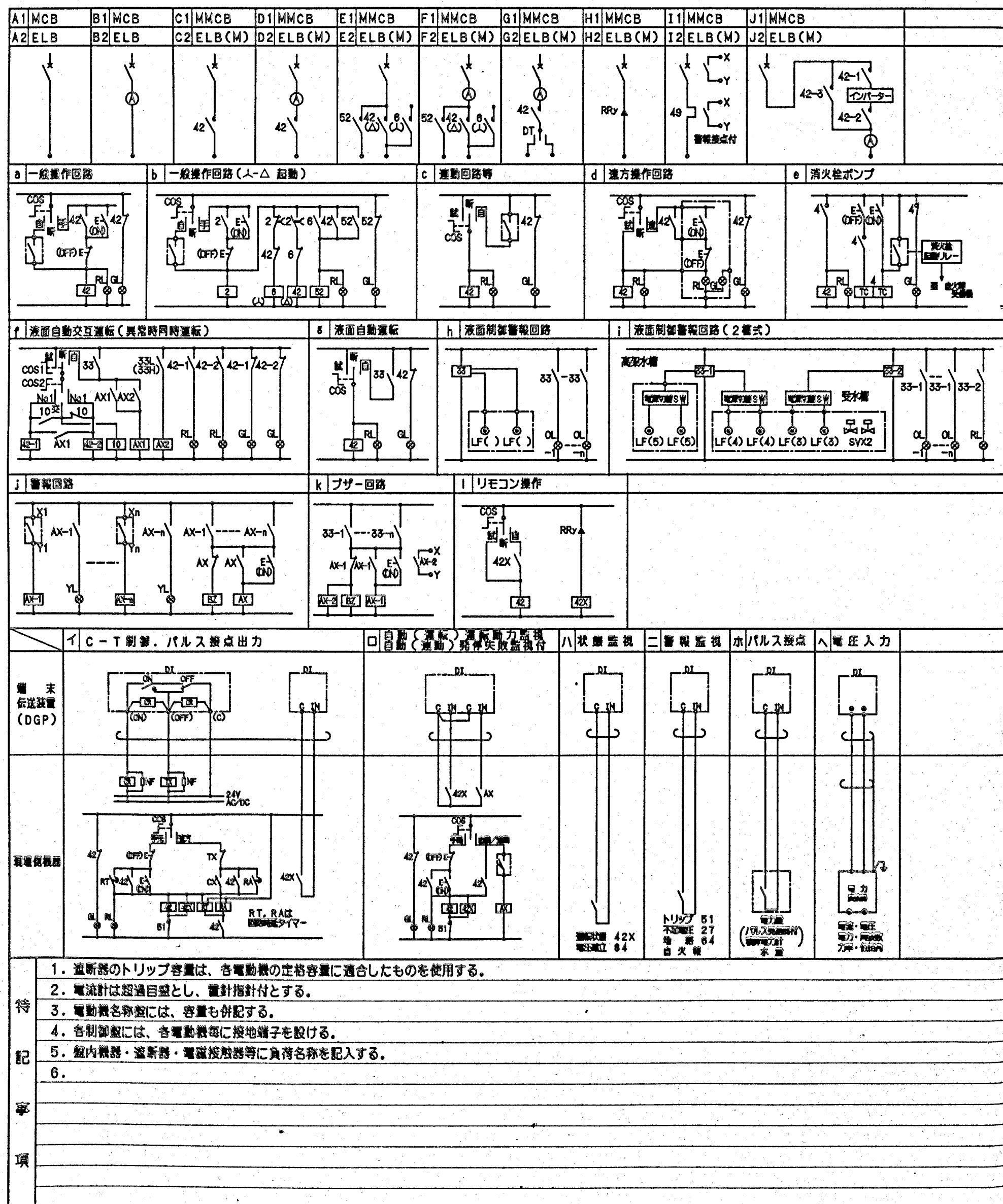
SCALE
A2:1/100
A3:1/200

NO.
E-02

〒700-0971 岡山県岡山市東区3丁目18番20号(086)244-2811
1階:設計士事務所 1486号 2階:施工士事務所 65709号 木村 組

標準結線図

212

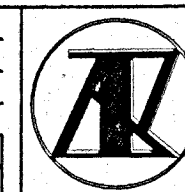


動力盤リスト (NO. 1)

盤名称 形状	幹線番号 合計容量	動力 番号	機器名称	容量 (kW)	台 数	電圧 (V)	起動方式 LS/A-A	分岐 番号	分岐 容量 P AF/AT	2次側 配線 サイズ	備 考
LMT-1 屋内自立型 上部ダクト付 CH=2500	MCB 3P 125AF /125AT										
		ACU-1	AC-1	6.27	1	200	1	A2	3P100AF/60AT 100mA0.1S	CET22 ⁰ E8 ⁰	
		ACU-2	AC-2	6.24	1	200	1	A2	3P100AF/60AT 100mA0.1S	CET22 ⁰ E8 ⁰	
		ACU-3	AC-3	6.24	1	200	1	A2	3P100AF/60AT 100mA0.1S	CET22 ⁰ E8 ⁰	
		小計		16.63							力率は90%以上であれば遮断器不要

MEMO

JOB CORD
17-01-01



CONSTRUCTION
新美咲町分庁舎改修工事
DRAWN
動力盤リスト

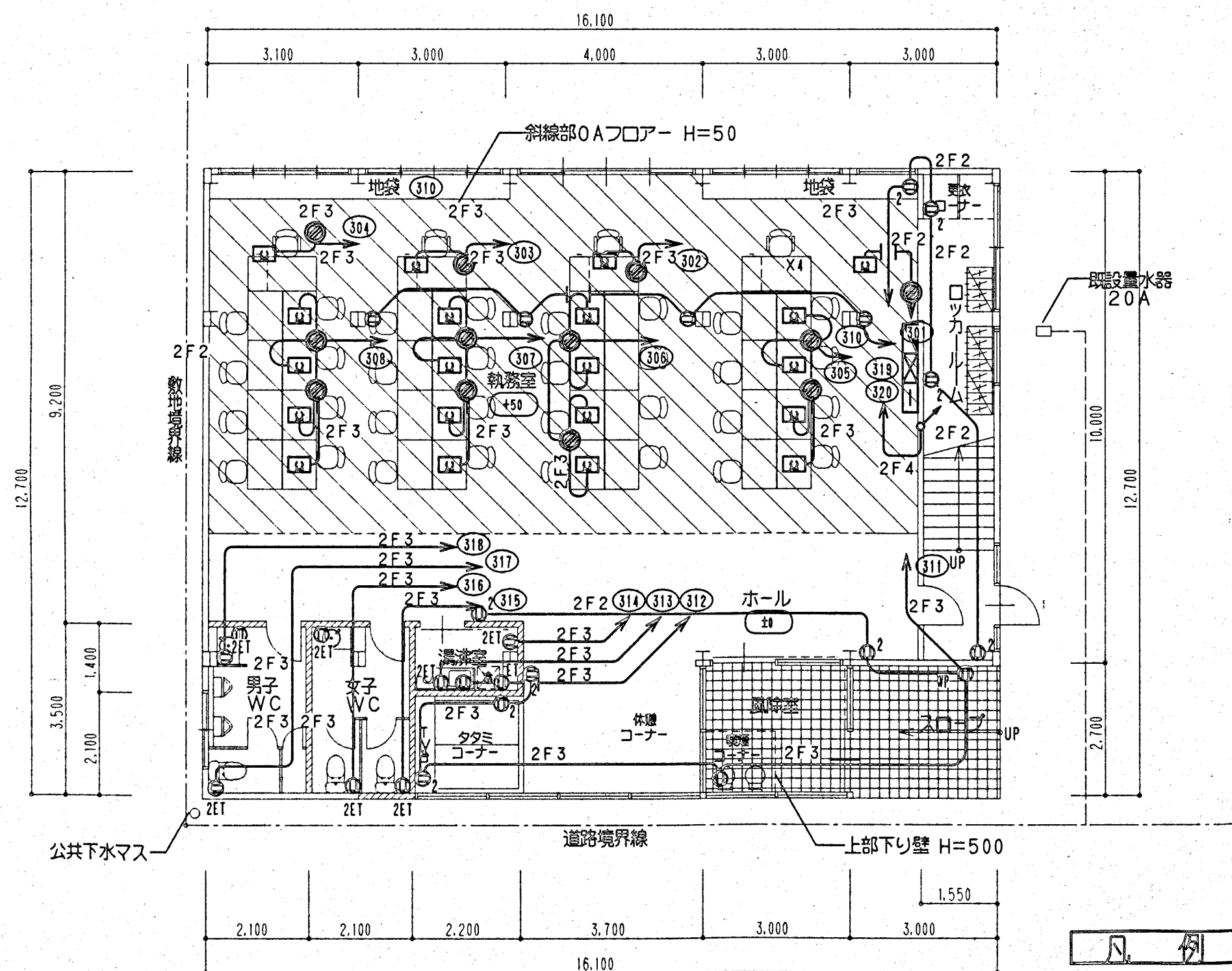
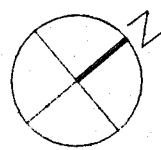
DATE
2005/3/10
設計図

SCALE
A2:1/100
A4:1/200

NO.
E-03

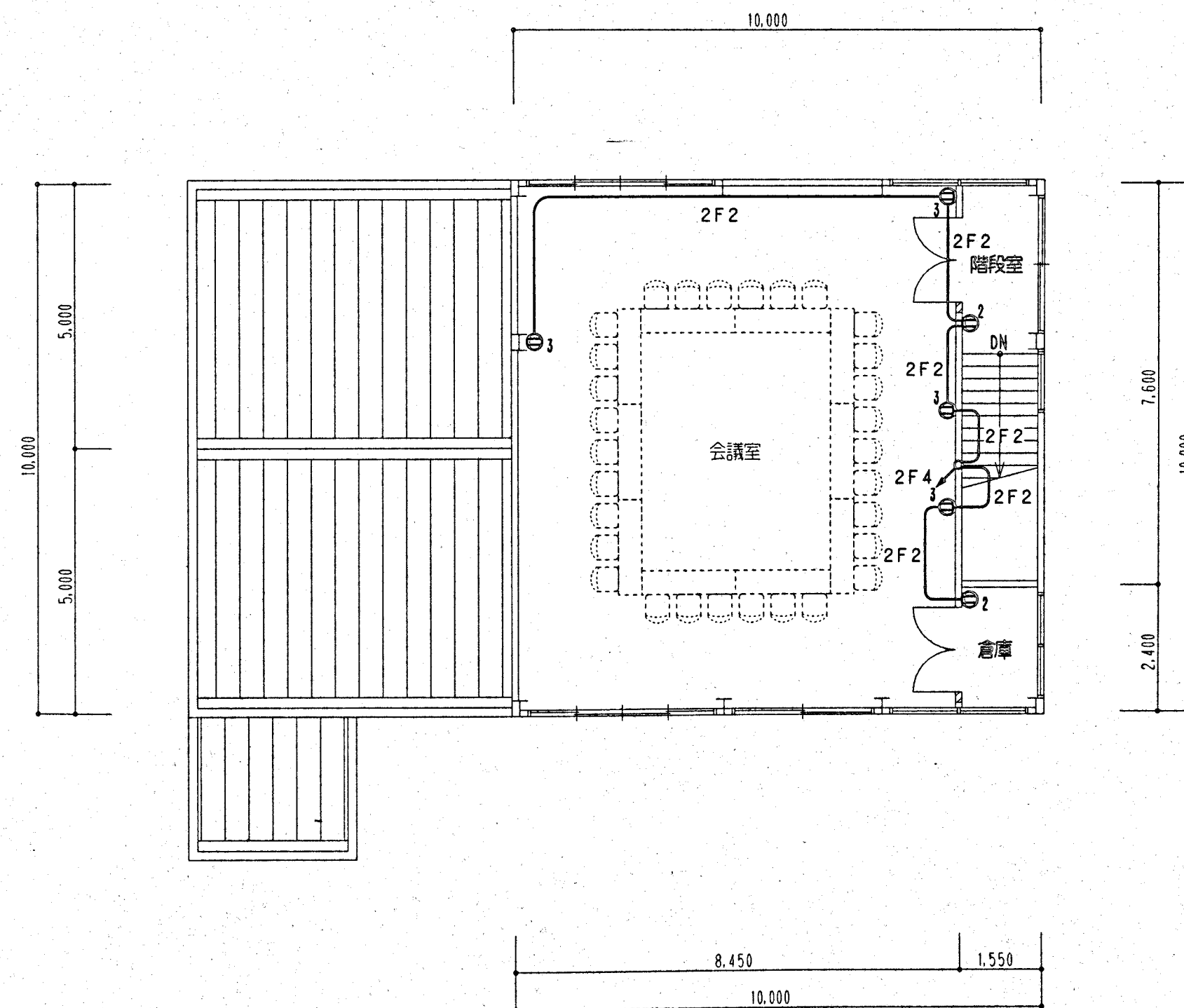
(株) 木村建築設計事務所

〒700-0871 岡山県岡山市中区3丁目18番20号(086)244-2611
1階 設計部 1486号 2階 営業部 1487号 3階 事務部 1488号



改修1階平面図 1/100

記号	名称	備考
□	4ヶ口 接地15A抜け止め形	3mコード付 エコマイアル電線 マグネット付
●	ハーネストジョインボックス	
⊙	壁付コンセント 2P15A X 2	
⊙ET	壁付コンセント 2P15A X 2 (接地極付)	接地端子付



改修2階平面図 1/100

面積表 (既存)		
1階	196.37 m ²	(59.51坪)
2階	100.00 m ²	(30.30坪)
延べ面積	296.37 m ²	(89.81坪)

MEMO

JOB CORD
17-01-01



CONSTRUCTION
新美咲町分庁舎改修工事

DESIGN
コンセント設備図

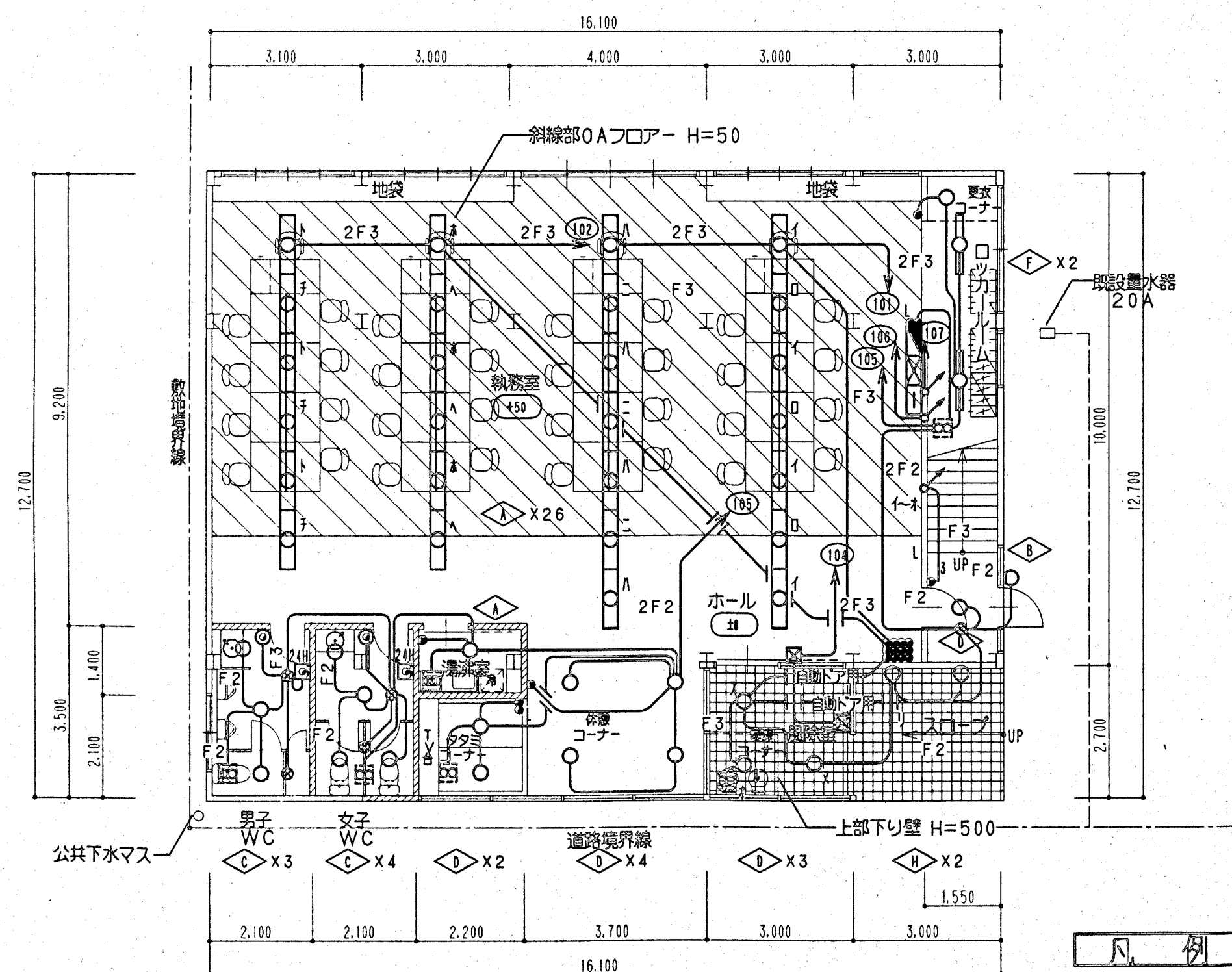
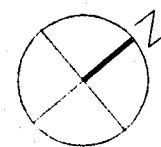
DATE
2005/3/10

NO.
E-04

SCALE
A2: 1/100
A4: 1/200

(株) 木村建築設計事務所

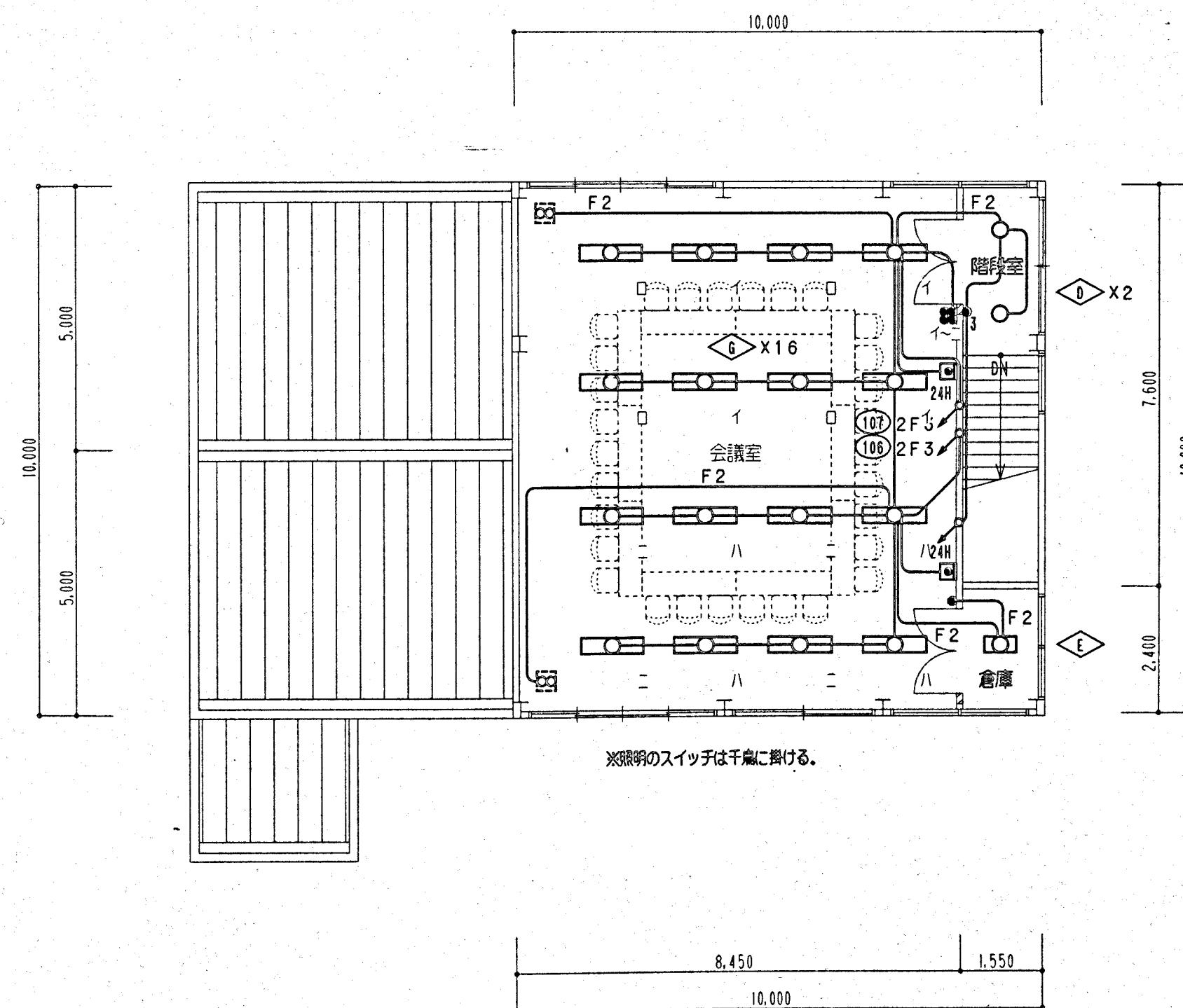
〒700-0971 岡山県岡山市東区3丁目18番20号(088)244-2811
1番地(旧事務所)1486号 電話085709号 木村 浩



改修1階平面図 1/100



記号	名称	備考
⊙	熱線センサー付 自動スイッチ	
⊙	操作ユニット (参考WTC5820)	
	スイッチはネームスイッチとする	
⊙24H	換気扇用24Hスイッチ (設備より支給)	



改修2階平面図 1/100

面積表 (既存)		
1階	196.37 m ²	(59.51坪)
2階	100.00 m ²	(30.30坪)
延べ面積	296.37 m ²	(89.81坪)

MEMO

JOB CORD
17-01-01

CONSTRUCTION
新美咲町分庁舎改修工事

DESIGN
電灯設備図

DATE
2005/3/10

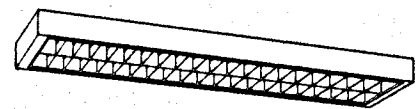
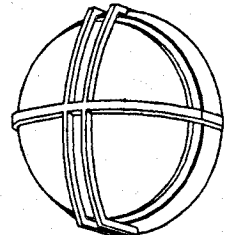
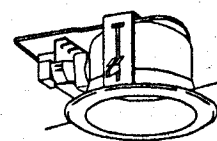
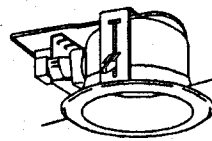
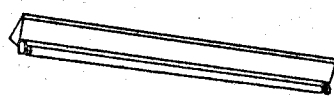
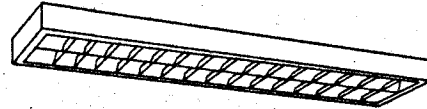
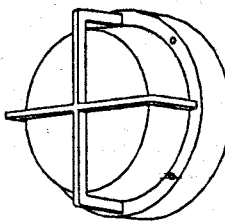
NO.
E-05

SCALE
A2: 1/100
A4: 1/200

(株) 木村建築設計事務所

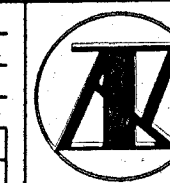
〒700-0871 岡山県岡山市中区3丁目16番20号 (086) 244-2811
1 新築建築士事務所 1466号 建築士 05708号 本村 誠

照明器具姿図

 FSL2V2-322 FHF 32wX2 直付下面ルーバ	 WL3607 IL 60wX1 人感センサー	 FRS13-D131 EL FDL13wX1 ダウンライト	 FRS13-D271 EL FDL27wX1 ダウンライト
 FSS4-202 GM FL 20wX2	 FSS4-401 UH FHF 32wX1 (環境配慮型)	 FSL1-322 PH9 FHF 32wX2 直付下面ルーバ (環境配慮型)	 HLW5118 EL FL 9wX1 防水型

MEMO

JOB CORD
17-01-01



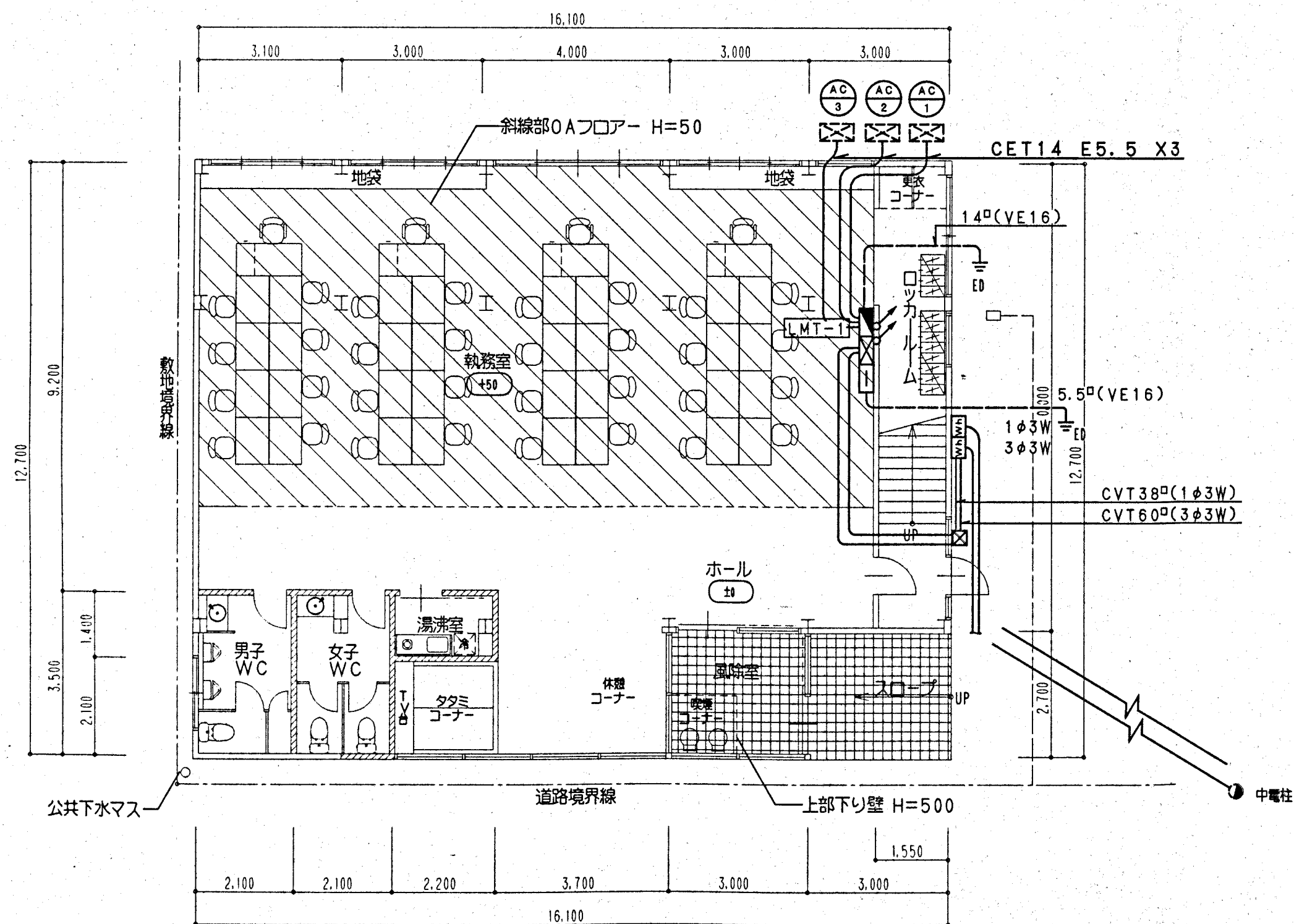
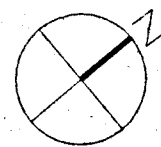
CONSTRUCTION
新美咲町分庁舎改修工事
DRAWN
照明器具姿図

DATE
2005/3/10
NO.
E-06

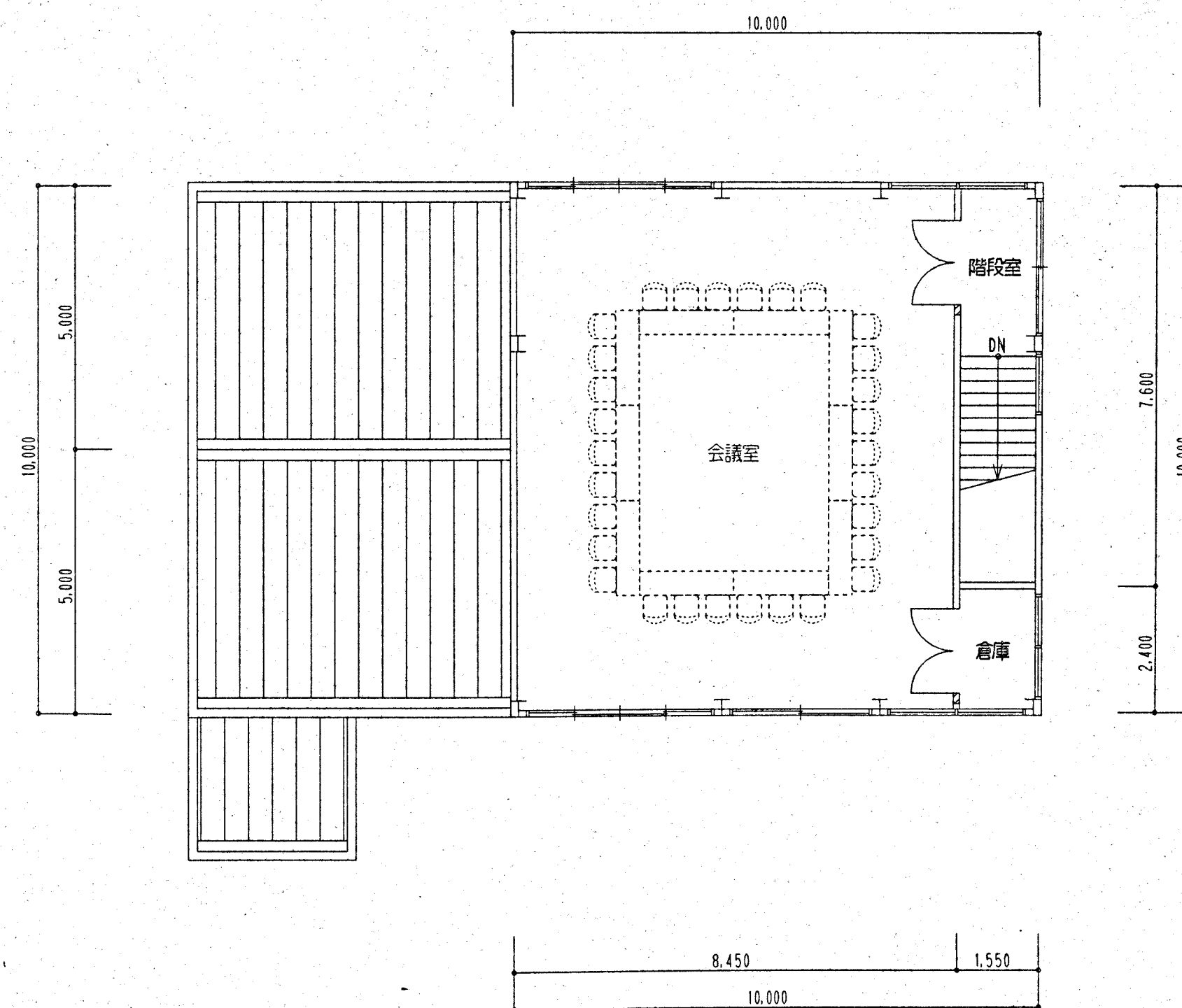
SCALE
A2:1/100
A4:1/200

(株)木村建築設計事務所

〒700-0971 岡山県岡山市中区3丁目16番20号(086)244-2011
1 建設業士事務所第1486号 建設業士1第085709号 本付 図



改修1階平面図 1/100

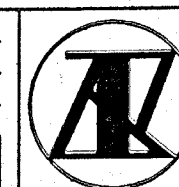


改修2階平面図 1/100

面積表 (既存)			
1階	196.37 m ²	(59.51坪)	
2階	100.00 m ²	(30.30坪)	
延べ面積	296.37 m ²	(89.81坪)	

MEMO

JOB CORD
17-01-01



CONSTRUCTION
新美咲町分庁舎改修工事

DRAWN
幹線動力設備図

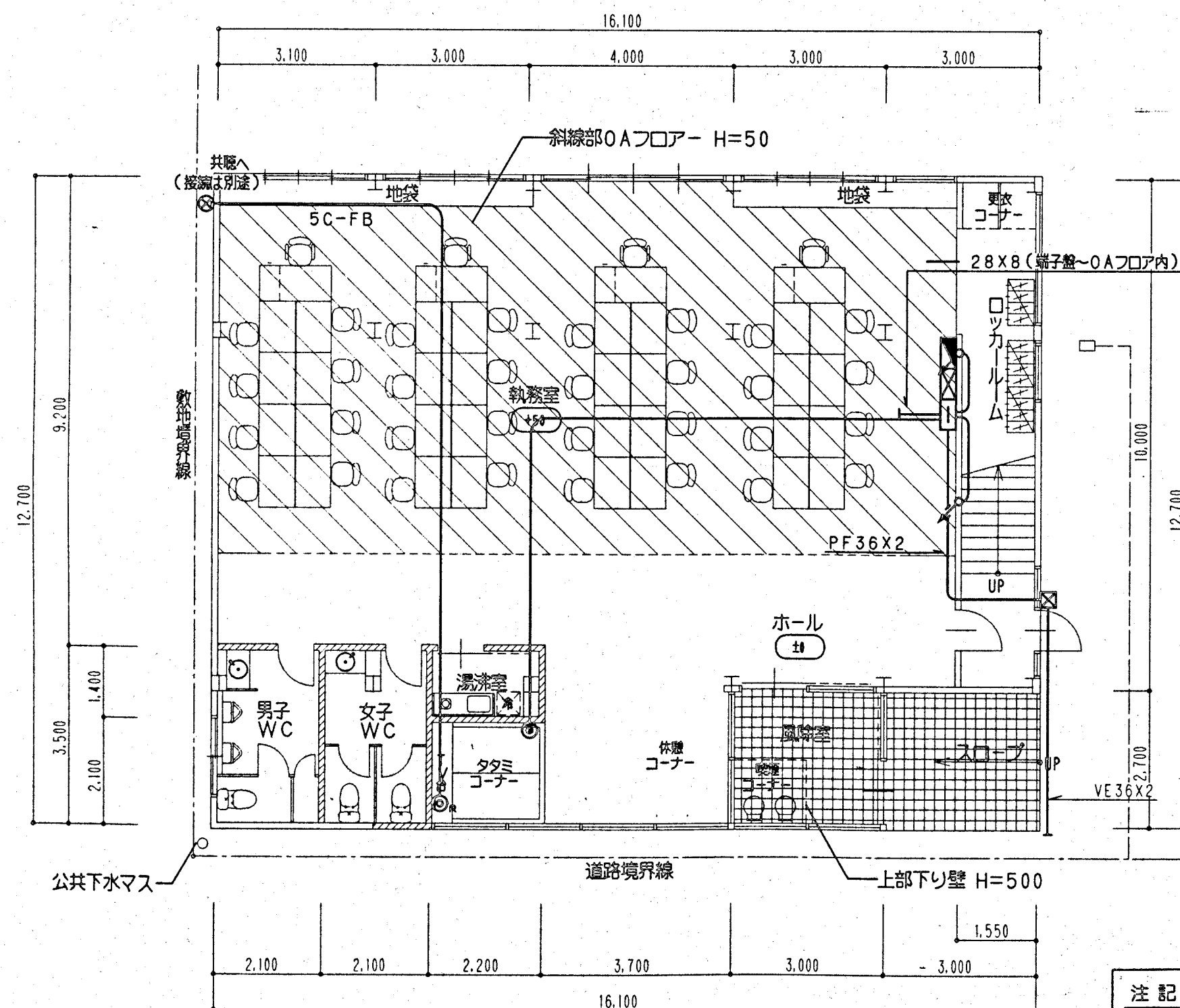
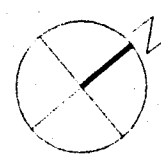
(株) 木村建築設計事務所

DATE
2005/3/10

設計図
E-07

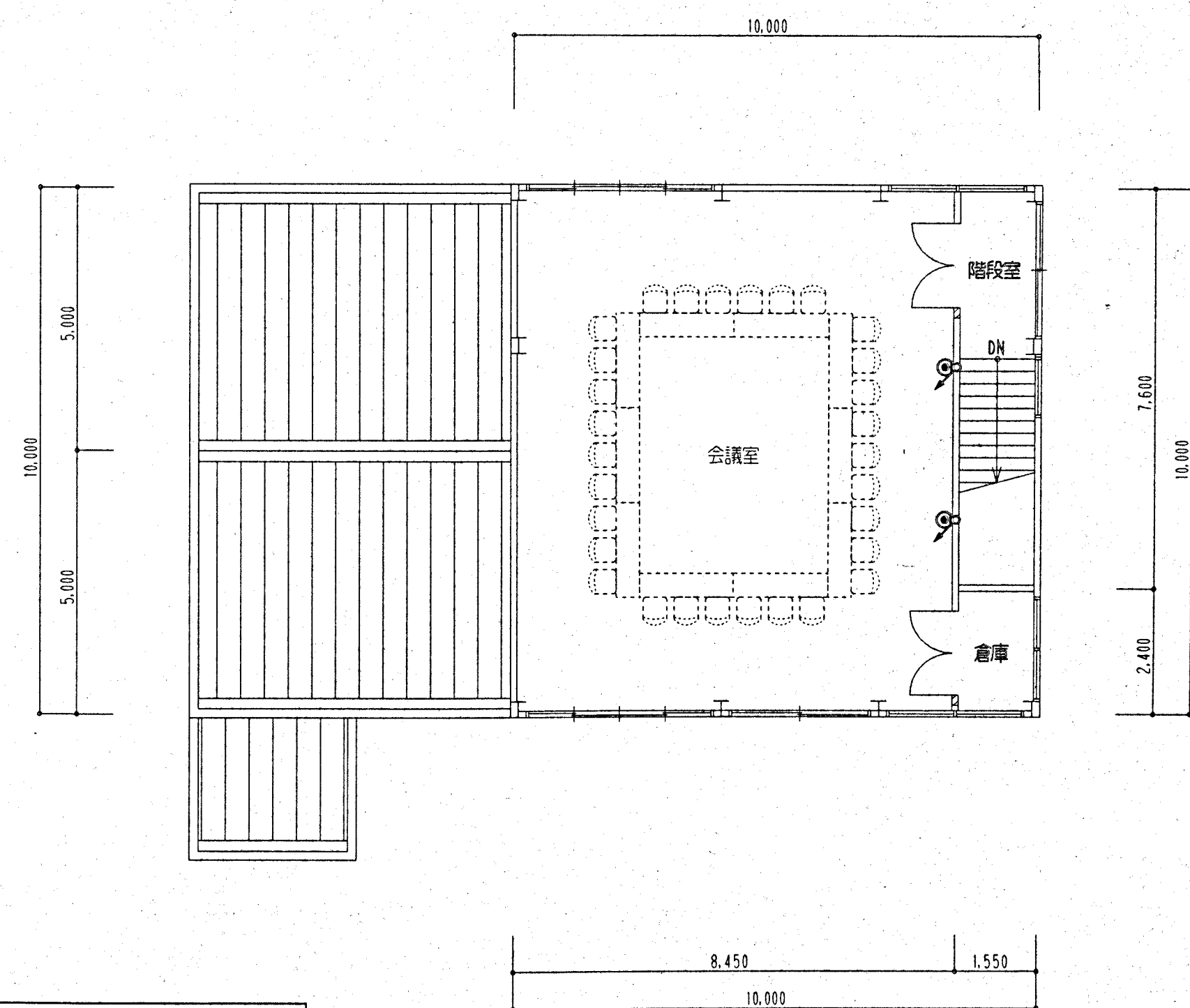
SCALE
A2: 1/100
A4: 1/200

〒700-0971 岡山県岡山市中区3丁目18番20号(086)244-2011
1号館 岡山県土木会館1406号 岡山県土木会館1406号 木村 昌



改修1階平面図 1/100

注記
1. 特記なき配線は、下記の通りとする。
—— PF16X2 (—φ—)
⊙ 電話用アウトレット



改修2階平面図 1/100

面積表 (既存)			
1階	196.37	m ²	(59.51坪)
2階	100.00	m ²	(30.30坪)
延べ面積	296.37	m ²	(89.81坪)

MEMO		CONSTRUCTION 中央町支所改修工事 DESIGNER 設計図	DATE NO. M-1/6
		DRAWN	SCALE
		特記仕様書	
		(株)木村建築設計事務所 〒700-0971 岡山県岡山市東区3丁目1番20号(086)244-2611 1階建設士事務所用1486号 管理室土1階第65709号 木村 組	

(特記補足仕様書)

本工事は設計図書、橋梁補修工事共通仕様書、同解説、岡山県建設技術仕様書等によって施工されるものであるが、本
は特に施工上留意すべき事項を「共通仕様書」より抜粋して記し工事が確実、且つ円滑に進められることを目的とする。
(国土交通大臣官庁官庁監修橋梁補修工事共通仕様書 平成13年版)

3	工事現場管理	
3-1	施工管理	(a) 設計図書に適合する工事目的を達成するために、施工管理体制を確立し、品質、工期、安全等の施工管理を行う。 (b) 工事の施工に涉る下請負人に工事統制の適否及び監督職員の指示を受けた内容を周知徹底する。
3-2	施工中の安全確保及び環境保全	(a) 建築基準法、建設工事に係る資材の再活用に関する法律、労働安全衛生法、環境基本法、建築関係法、建築関係法、大気汚染防止法、その他関係法令等によるほか、建設工事公衆安全対策対策要綱及び建設現場周辺正しく環境保全要綱に従い、工事の施工に伴う災害防止及び環境保全の確保を図る。また、工事に伴い発生する汚染物質は適宜処理を行いリサイクル等再資源化を図る。 (b) 工事現場の安全衛生に関する管理は、現場責任者が責任者となり、建築関係法、労働安全衛生法、その他関係法令等によって行われる。 (c) 工事の施工にあたっては、工事現場並びにその周辺にある地上及び地下の施設・設備、施設・設備等に対して、支障を及ぼさないよう注意して施工方法等を選択する。ただし、これにより (d) 火災の発生や汚染物質の発生等を行う場合は、火災の取扱いに十分注意するとともに、適切な場合は、監督職員と協議する。 消火設備、防炎シート等を使用する等、火災の防止措置を行う。 (e) 工事施工の各段階において、騒音、振動、大気汚染、水質汚染等の影響が生じないよう周辺の保全を図る。 (f) 工事の施工にあっては近隣等との折衝は、次による。また、その経過について日報し、速報など監督職員に報告する。 (g) 地域住民等と工事の施工に必要な折衝を行うものとし、あらかじめその概要を監督職員に報告する。 (h) 工事に関して、第三者から訴状の要求又は苦情が寄せられた場合は、直ちに誠意を持って対応する。
3-3	災害時の安全確保	災害及び事故が発生した場合は、人の安全確保を優先するとともに、二次災害の防止に努め、その発生及び後援に関する資料等を作成し、自らも保存し、監督職員に提出する。
3-4	施工の立会い等	(a) 次の場合は、監督職員の立会いを受ける。ただし、これによることが困難な場合は、別に指示を受ける。 (1) 設計図書に定められている場合 (2) 主要材料を設置する場合 (3) 施工工程の変更が可能な箇所を施工する場合 (4) 検査実施を行う場合 (5) 監督職員が特に指示を受ける場合 (b) 監督職員の立会いが定められている場合は、適切な時期に監督職員に対して立会いの要求を行うものとし、立会いの日時について監督職員の指示を受ける。 (c) 監督職員の立会いに必要な資機材及び労務等を提供する。
4	完成図書	
4-1	完成図の提出図書	(a) 工事が完了（指定部分に係る工事完成後等）。したとき、監督職員の指示により、完成図及び後援に関する資料等を作成し、自らも保存し、監督職員に提出する。 (b) 完成図書、工事完成図における図面の表紙を明瞭かつ正確に表紙したものとし、特記がなければ次のとおり。 (1) 図面の種類 (i) 屋外配管図（雨水排水を含む。） (ii) 各種平面図及び断面図等 (iii) 主要機器平面図及び断面図 (iv) 各種管渠断面図 (v) 各種系統図 (vi) 主要機器一覧表（品名、製造社名、形状、容量又は出力、数量等） (vii) ボイラー、冷凍機、昇降機等の主要機器図（監督職員の承認を受けた製作図をもって確認図としてよい。） (2) 様式 (i) 完成図の作成方法は、特記による。特記がなければ原図は、書き出し（トレーシング）ペーパーに転写すること、寸法、補足、文字、図記号等は設計図書に準じること。 (c) 保守に関する資料は、次による。また、提出図に監督職員に内容の表明を行う。 (1) 保守に関する指導書内容（機器取扱い、取替等を含む。） 取扱図の図面に十分説明しうるよう主要機器を含めた簡潔な取扱い説明及び保守についての事項を記載したものとする。 (2) 機器の性能、作動原理等を記載したものとする。 (3) 密閉風出機 (i) 排気方法による簡潔（危険物表示板、機械等）の出入口の立入禁止表示、火災危険の標識等）を記載する。 (b) 簡潔図は、名称及び記号を記入する。 (c) 配管及びダクトには、開閉方向、用途及び方向の方向を記入する。 当該工事のうちポンプ、送風機、吐出口、排気の保守点検に必要な工具一式を監督職員に提出する。
4-2	簡易その他	
4-3	保守工事	
1	スリープ	(a) スリープの構造は、原則として管の外周（保護されるもの）にあっては保護層を含む。）より40mm程度大きなものとする。 (b) スリープは、表によるものとし、特記がなければ次のとおり。 (1) 外壁の地中部分等水密を要する部分のスリープは、つば付を備え、地中部分水密を要しない部分のスリープは、巻付（V P）とする。 (2) 柱及び梁以外の箇所では、開口部は必要であり、かつ、スリープ径が200mm以下の部分は、保護層としてよい。 保護層を用いる場合は、管外防止の措置を講じ、かつ、配管施工時に保護層を必ず取り除く。
2	一般事項	(a) 配管の施工に先立ち、他の設備管渠及び構造物との関係事項を詳細に検討し、配を考慮して、その位置を正確に決定する。配管が変更される場合は、工事の進捗に伴って変更及び変更内容の取扱い及びスリープの径及び寸法を適宜行う。 (b) 配管の取付等を行う場合は、配管施工時に必ず保護を取り外し、配管施工後につき簡易なモルタル、コンクリート等で覆う。 (c) 開閉、調整及び修理に際しては、配管の構造を、開閉する。 (d) 配管完了後、漏水試験等を行うときは、管内の圧力を十分行う。 なお、配管が漏水の場合は、配管において漏れ箇所を2mm以内、1mm以上以上は出されるまで清掃を行う。

	(7) 冷凍機及び冷水ポンプの取組は、スレブローを設ける。また、冷水水の吐出側の出口側には、防振対策を取り付け、出入口側には、圧力計、温度計及び流量計を取り付ける。ただし、低気圧な状態、直に接続する水系統及び小口径な低気圧水系統ユニットにおいては防振対策を除く。 (8) 冷凍機廻りの配管は、その重量が直接本体にかからぬよう十分に支持するものとし、冷水水の出入口及び機械水管の入口側には「非透仕留め」P44 2.2.8（フレキシブルジョイント）による合成ゴム製のフレキシブルジョイントを設け、冷水水の出口側にはストレーナーを取り付ける。 (9) 冷水水の循環の冷水水出入口側配管（ファンコイルユニット及び天井内設備のコイルを除く）口は、壁・天井及び床面に取り付ける。 (10) 冷水水ヘッダ等の各ヘッダー及び分岐管には、温度計を取り付ける。 屋外パイプタンク及びオイルサービスタンクの絶熱層、遮断管及び配管には、フレキシブルジョイントを取り付ける。 なお、オイルサービスタンク建りの配管要領は、鋼管配（施工57）による。 (11) 水配管では、冷暖及び消火給排水が共通で流通し、同一配管でないよう施工する。 なお、水配管のうち付け及び用途別配管は、厳格に防止措置として配管内に不活性ガスをもわずに流しながら行う。 (12) 水配管の手番は、保命点までできる位置に設置する。 (13) 配管完了後、必要により真・空気抜き、冷暖の空冷作業を行う。 (14) 配管工事は、気密性を確保した上で行う。また、高圧配管と低圧配管は共巻きしてはならない。ただし、新素材被覆前後の場合は除く。 (15) 屋内外ユニットの遠隔配管は、電気巻線に対して十分適合するものを用いる。冷暖配管と共有する場合は、冷暖配管の保護距離に準拠することとする。また、ユニット間の導電抵抗率は、製造者の標準仕様としてよい。
給 水 配 管	(16) 給水配管の主配管には、適宜箇所よりフランジ手番を採用し、取外しを容易にする。 なお、呼び径25以上の見張り配管には、ユニオンを使用してもよい。 (17) 水栓類は、ねじにアースナール材を使用した構造を有してかつ道正トルクでねじ込む。 (18) 配管中の空気を取り出しエア放弁を、蛇口まわりの排水用管を設ける。排水用の大きさは、管と同径とし、管の呼び径が25を超えるものは呼び径25とする。 (19) 納水バルブ配管は、鋼管（施工67、68）による。 (20) タンク廻りの配管は、その重量が直接タンクにかかるように支持する。 なお、受水タンク及び高圧タンクの納水及び通気管を除く各種納管には、鋼製タンクにあてはまるベローズフレキシブルジョイントも、FRPタンクにあてはまる合成ゴム製フレキシブルジョイントを取り付ける。
排 水 ・ 通 気 配 管	(21) 排水・通気管等が合流する場合は、必ず45°以内の角度をもって水平に接続させる。 (22) 配管を曲げる場合は、円形を保たないように加工し、かつ、その曲げ部、継ぎ手を保護してはならない。 なお、配管は途中で切断してはならない。 (23) 次のもののからの排水は、間接排水とする。 (1) 食品処理槽等、貯溜用機器、炭酸発生機、医療用器械及び水栓具 (2) 冷蔵庫及び洗濯機並びに水洗便器としての水を使用する装置 (3) 空調機用機器 (4) 用水タンク、貯溜タンク、給油タンクその他これに類する機器 (5) 給湯及び沐浴各種バスタブ設置その他浴槽器具 (6) 洗面化粧台及びバスシンカー系装のシンケン (24) 間接排水管は、水受けその他のあふれ口よりその排水主管の2倍以上上空（飲料用の水栓等の場合は最小150mm以上）を保持して開口しなければならぬ。また、十分な空間が確保できない場合は、それに適合した取替方法とする。 (25) 排水立て管の最下段は、必要に応じて支持金を設け固定する。 (26) 5階以上にわたる汚水排水立管には、各階ごとに異径継ぎ手を取り付ける。 (27) 水中ポンプの吐出管は、ポンプに接続がかわらないように、かつ地盤面に対して十分安全距離に支持する。 なお、ポンプを地上上げられるように吐出管はフランジ接続とし、かつ、配管をばくばくなく立上り部分を除ける。 (28) 通気管は、排水枝管等より最低でも45°以内の角度で取り出し、水平に取り出してはならない。 (29) 各種の通気管を垂直立管に接続する場合は、その種の特殊のあふれ口より150mm以上の所で接続する。 なお、通気立て管を伸頂通気管に接続する場合もこれに準ずる。
給 湯 配 管	(30) 給湯配管要領は、鋼管配（施工85）による。 給湯配管は、次のようなほか、配管施工（8 給湯配管）の出発事項による。 (1) 配管は、管の種類を問わずにしようとし、均質に 配管を保ち、差、逆、空気滞留等避るを回避するおそれのある配管を避けてはならない。 (2) 建築材料と配管及び配管管の相違は、銅鋼又はステンレス製のフレキシブルチューブを使用してよい。
消 火 配 管	(31) 消火配管は、次のようなほか、配管施工（8 給湯配管）の出発事項による。 (1) 消火ポンプユニット廻りの配管要領は、鋼管配（施工68）による。 (2) 天井・いんべ配管の場合、スプリンクラーヘッド取付部の巻き出し配管は、地震時の震度を受容可能な強度のもの（規格が法に適合するものとする。）で主配管の材質に適合したものを使用し、ヘッドの直立を天井下地利に固定する。 直立を天井下地利に固定する。
一 般 事 項	(32) 管は、すべてその断面が変形しないよう管軸心に対して直交し、その開口は平滑には上げる。 (33) 塩化ビニル管、耐候性ポリプロピレン管及びポリブテン、鋼管外面被覆鋼管は、帯のごく短い有効形状自動溶接の二重縫で溶かし、ハイパッカーによる研削をする。また、切所後、直交の内面取りを施す。 (34) 配管配管の塩化ビニル管、耐候性ポリプロピレン管及び外部被覆鋼管のねじ加工及びねじ込み作業は、外部被覆材に適した専用工具を使用し、道正トルクで行う。チェック表参照。また、プラスチックテープ1回巻くこととする。 (35) ねじ加工工程は、自動測定器付きとする。また、ねじ加工に関しては、ねじゲージを使用し、JIS B 0203（管用テーパねじ）に規定するねじが適用加工されているかを確認する。 なお、管端の食害防止との関係は、互利なしとする。 (36) 管は、融合する前にその内部を点検し、肉厚のないところを確かめ、切り捨て、2割等を10分除去してから融合する。 (37) 配管の施工を一時的に停止する場合等は、その管内に異物が入らないように要する。 (38) 管継ぎ目付着剤の使用は禁止する。

	給水管	(a) 給水・排水管を共に配管の場合は、原則として呼び径80以下はなし、100はなし、125以上は、フランジ接合、ハングアップ管管継手による接合又は溶接接合、125以上はフランジ接合、ハングアップ管管継手による接合又は溶接接合とする。 (b) 排水・排水配管の場合は、なし接合とする。 (c) 断気配管、断気配管の場合は、フランジ接合又は溶接接合又は断気管継手可と継手(MDジョイント)とする。 ただし、呼び径80以下の低圧(0.1MPa (1kgf/cm²)未満)の断気配管、断気配管の場合は、なし接合としてもよい。 (d) 配管継手は、原則として溶接接合とする。 断気配管の場合は、原則として行わない。 断気配管の場合は、断気管継手又は1/4inch溶接接合とする。 特注(注)にけいけい管継手とし、断気管継手とする場合は、すべて水道事業者の定める接合方法とする。																																																																																																																																																																											
1	一般事項	(a) 橋脚渡りの配管は、地盤中埋込100以下の埋込深さ、橋脚の断面及び管径の断面等による力を加えるために次の規定による支持を行う。 (1) 市街地、公園等に埋設する呼び径100以上の配管は、床より埋込で固定する。 (2) 呼び径80以下の配管、圧力配管及びタンク埋込に埋設する配管は、形鋼埋込止の支持とする。 なお、施工要領は、標準図(施工8)による。 (b) ステンレス鋼管の支持及び埋込に鋼製の金具を使用する場合は、合成樹脂を被覆した支持及び固定金具を用いるが、ゴシント若しくは合成樹脂の絶縁テープ等を用いて取り付ける。 なお、合成樹脂が破損しないよう、締め付けること。 (c) 屋上配管の支持は、防水層に鋼製の金具を使用する場合は、鋼製の金具に鋼製の金具を用いるが、ゴシント若しくは合成樹脂の絶縁テープ等を用いて取り付ける。 なお、支持要領は、標準図(施工8)による。 配管の呼び径及び支持等は、標準図に記されている場合は標準図及び形鋼埋込止の支持、立て管にあっては形鋼埋込止の支持及び固定とし、表2及び表3により行うものとする。 なお、施工要領は、標準図(施工11)による。																																																																																																																																																																											
2	吊り及び支持	表2 橋脚渡り管の吊り及び埋込止の支持要領 <table> <tr> <th>分類</th><th>呼び径</th><th>15</th><th>20</th><th>25</th><th>32</th><th>40</th><th>50</th><th>65</th><th>80</th><th>100</th><th>125</th><th>150</th><th>200</th><th>250</th><th>300</th></tr> <tr> <td rowspan="5">橋脚渡り</td><td>鋼管及びステンレス鋼管</td><td colspan="10">2.0m以下</td><td colspan="4">3.0m以下</td></tr> <tr> <td>ビニル管及びポリエチレン管</td><td colspan="10">1.0m以下</td><td colspan="4">2.0m以下</td></tr> <tr> <td>鋼管</td><td colspan="10">1.0m以下</td><td colspan="4" rowspan="2">2.0m以下</td></tr> <tr> <td>鋼管</td><td colspan="14">標準図(施工4)による。</td></tr> <tr> <td>ボリブレン管</td><td>8kg以下</td><td>8.7m以下</td><td>1.0m以下</td><td>1.5m以下</td><td>1.5m以下</td><td>1.5m以下</td><td>1.5m以下</td><td>1.5m以下</td><td>1.5m以下</td><td>1.5m以下</td><td>1.5m以下</td><td>1.5m以下</td><td>1.5m以下</td><td>1.5m以下</td></tr> <tr> <td rowspan="4">形鋼埋込止の支持</td><td>鋼管、鋼管及びステンレス鋼管</td><td colspan="10">-</td><td colspan="4">8m以下</td></tr> <tr> <td>ビニル管及びポリエチレン管</td><td>-</td><td>6m以下</td><td>8m以下</td><td>8m以下</td><td>8m以下</td><td>8m以下</td><td>8m以下</td><td>8m以下</td><td>8m以下</td><td>8m以下</td><td>8m以下</td><td>8m以下</td><td>8m以下</td><td>8m以下</td></tr> <tr> <td>鋼管</td><td>-</td><td>6m以下</td><td>8m以下</td><td>8m以下</td><td>8m以下</td><td>8m以下</td><td>8m以下</td><td>8m以下</td><td>8m以下</td><td>8m以下</td><td>8m以下</td><td>8m以下</td><td>8m以下</td><td>8m以下</td></tr> <tr> <td>鋼管</td><td>-</td><td>6m以下</td><td>8m以下</td><td>8m以下</td><td>8m以下</td><td>8m以下</td><td>8m以下</td><td>8m以下</td><td>8m以下</td><td>8m以下</td><td>8m以下</td><td>8m以下</td><td>8m以下</td><td>8m以下</td></tr> </table> 注1. 鋼管及びステンレス鋼管の橋脚渡り管管継手の径は、配管呼び径100以下はM10又は呼び径9mm、125～200は呼び径M12又は呼び径12mm、250以上は呼び径M16又は呼び径16mmとする。ただし、吊り荷重が集中する箇所等は適宜のうえ、吊り荷重を適定する。 2. 埋込管の埋込深さ及び吊り荷重を有する箇所等を使用する場合は、表2のほかその直近で、自然及び地震震害は必要とし支持する。 表3 立て管の固定及び埋込止の箇所 <table> <tr> <th>固定</th><th>鋼管及びステンレス鋼管</th><th>最下層の床又は最上層の床</th></tr> <tr> <td>鋼管</td><td>最下層の床</td><td></td></tr> <tr> <td>鋼管及びステンレス鋼管</td><td>各層1箇所</td><td></td></tr> <tr> <td>形鋼埋込止の支持</td><td>鋼管</td><td>各層1箇所</td></tr> <tr> <td></td><td>ビニル管及びポリエチレン管</td><td>各層1箇所</td></tr> <tr> <td></td><td>鋼管</td><td>各層1箇所</td></tr> </table> 注1. 呼び径80以下の配管の固定は不要としてもよい。 2. 鋼管及びステンレス鋼管で、床裏面等より開口を防止されている場合は、形鋼埋込止の支持を3箇所に1箇所としてもよい。	分類	呼び径	15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	橋脚渡り	鋼管及びステンレス鋼管	2.0m以下										3.0m以下				ビニル管及びポリエチレン管	1.0m以下										2.0m以下				鋼管	1.0m以下										2.0m以下				鋼管	標準図(施工4)による。														ボリブレン管	8kg以下	8.7m以下	1.0m以下	1.5m以下	1.5m以下	1.5m以下	1.5m以下	1.5m以下	1.5m以下	1.5m以下	1.5m以下	1.5m以下	1.5m以下	1.5m以下	形鋼埋込止の支持	鋼管、鋼管及びステンレス鋼管	-										8m以下				ビニル管及びポリエチレン管	-	6m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	鋼管	-	6m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	鋼管	-	6m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	固定	鋼管及びステンレス鋼管	最下層の床又は最上層の床	鋼管	最下層の床		鋼管及びステンレス鋼管	各層1箇所		形鋼埋込止の支持	鋼管	各層1箇所		ビニル管及びポリエチレン管	各層1箇所		鋼管	各層1箇所
分類	呼び径	15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300																																																																																																																																																														
橋脚渡り	鋼管及びステンレス鋼管	2.0m以下										3.0m以下																																																																																																																																																																	
	ビニル管及びポリエチレン管	1.0m以下										2.0m以下																																																																																																																																																																	
	鋼管	1.0m以下										2.0m以下																																																																																																																																																																	
	鋼管	標準図(施工4)による。																																																																																																																																																																											
	ボリブレン管	8kg以下	8.7m以下	1.0m以下	1.5m以下	1.5m以下	1.5m以下	1.5m以下	1.5m以下	1.5m以下	1.5m以下	1.5m以下	1.5m以下	1.5m以下	1.5m以下																																																																																																																																																														
形鋼埋込止の支持	鋼管、鋼管及びステンレス鋼管	-										8m以下																																																																																																																																																																	
	ビニル管及びポリエチレン管	-	6m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下																																																																																																																																																														
	鋼管	-	6m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下																																																																																																																																																														
	鋼管	-	6m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下	8m以下																																																																																																																																																														
固定	鋼管及びステンレス鋼管	最下層の床又は最上層の床																																																																																																																																																																											
鋼管	最下層の床																																																																																																																																																																												
鋼管及びステンレス鋼管	各層1箇所																																																																																																																																																																												
形鋼埋込止の支持	鋼管	各層1箇所																																																																																																																																																																											
	ビニル管及びポリエチレン管	各層1箇所																																																																																																																																																																											
	鋼管	各層1箇所																																																																																																																																																																											
1	一般事項	(a) 給水管と排水管が平行して埋設される場合には、原則として、両配管の水平間隔を500mm以上とし、かつ、給水管は排水管の上部に埋設するものとする。また、両配管が交差する場合もこれに準ずる。 (b) 鋼管管束を埋設する場合は、管束をコンクリート内に配管する場合は、「共通仕様書」P70 2.7.3 (防火対策) による防火対策を行う。 (c) コンクリート管束以外の管束を中埋設とする場合は、管及び配管継手を保護するよう土留の鋼で管束の両端を覆った後、鋼製の長尺土留で覆う。 (d) 管束の埋設する場合は、地盤から150mm程度の深さに埋設表示用アルミ又はビニルテープを埋設する。ただし、排水管を除く。 (e) 横切り、湾曲の埋設は、「共通仕様書」P95 4.2.1 (一般事項) の設定点事項による。 管の中埋設の場合は、埋設箇所では管の上端より800mm以上、その以外では300mm以上とする。ただし、埋設場所は地盤面以上とする。																																																																																																																																																																											
	一般事項	建築基準法施行令第112条(第15項)で規定する耐火構造の防火区画等を不能材料の配管が貫通する場合は、その貫通部をモルタル又はロックウール充填材で埋める。																																																																																																																																																																											

分類		呼び径		15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	
		鋼管及び ステンレス鋼管	2.0m以下															8.0m以下
鋼管中心	ビール管及び ポリエチレン管	1.0m以下											2.0m以下					
	銅管	1.0m以下											2.0m以下					
	鋼鉄管	鋼管(施工14)による。																
	ポリブテン管	8.0m 以下	8.7m以下	1.0m 以下	1.3m 以下	1.6m 以下												
形鋼間 止め支持	鉛管	1.5m以下																
	鋼管、銅管及び ステンレス鋼管	-											8m以下			12m以下		
	ビール管及び ポリエチレン管	-	6m以下				8m以下				12m以下							
	銅管	-	6m以下				8m以下				12m以下							

注1. 胸管及びスプレントレス胸管の検定圧管理解り性の値は、配管呼吸圧100以下は M10又は呼吸圧9mm、125~200は呼吸 M12又は呼吸圧12mm、250以上は呼吸 M16又は呼吸圧16mmとなる。ただし、有り得るが集中する箇所等は連続のうえ、有り得るを適定する。

2. 電圧等他の電源地及びくとも有する有する部を使用する場合は、表2のほかその直近で吊る。他機及び分散配用は必要に応じて支持する。

固定	鋼管及びステンレス鋼管	最下階の床又は最上階の床
形鋼取付 止め支持	鋼管及びステンレス鋼管	最下階の床
	鋼管	各階1箇所
	鋼管	各階1箇所
	ビニル管及びポリエチレン管	各階1箇所
	鋼管	各階1箇所

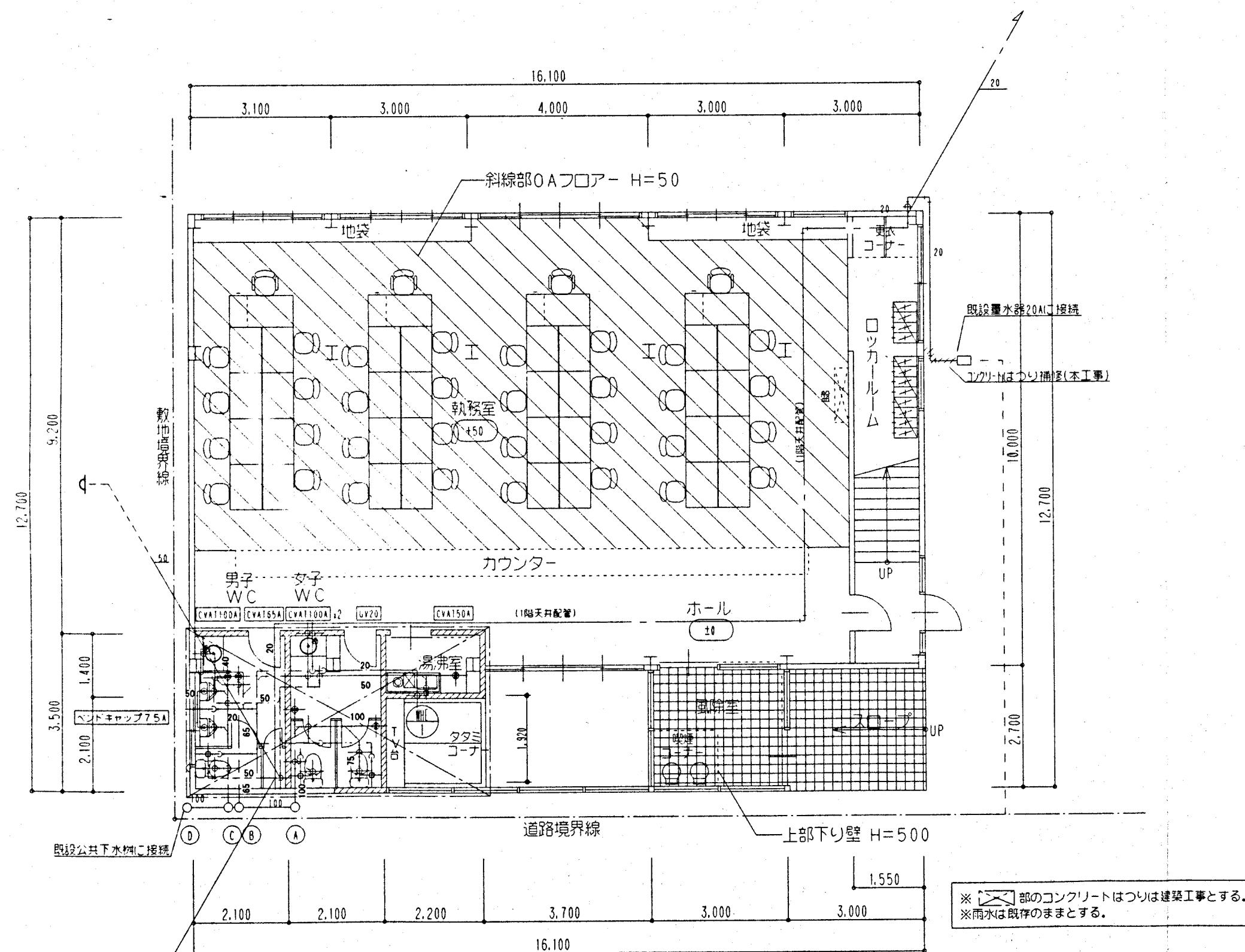
注1. 呼び径80以下の配管の固定は不要としてもよい。
2. 銅管及びステンレス銅管で、床面摩擦により腐蝕が防止されている場合は、形鋼固定止め支持を3箇所ごとに1箇所としてもよい。



衛生器具表

器具名	仕様	男子WC	女子WC	湯沸室	合計
大便器	CS20B, SH30BA, TCF6021 (AC100V, 413W)	1	2		3
小便器	U307C, TEA61ADX	2			2
カウンター式洗面器	L507AU, TEL70BX (AC100V, 0.6W), T7P19, TK507, TS127G (カウンター建築工事)	1	1		2
ミニキッチン	(流しトラップ共建築工事)			(1)	(1)
シングルレバー混合栓	TKJ30C3			1	1
電気温水器	12L, REWS12A1BNMA, 先止式 (AC100V, 1.1kW)			1	1

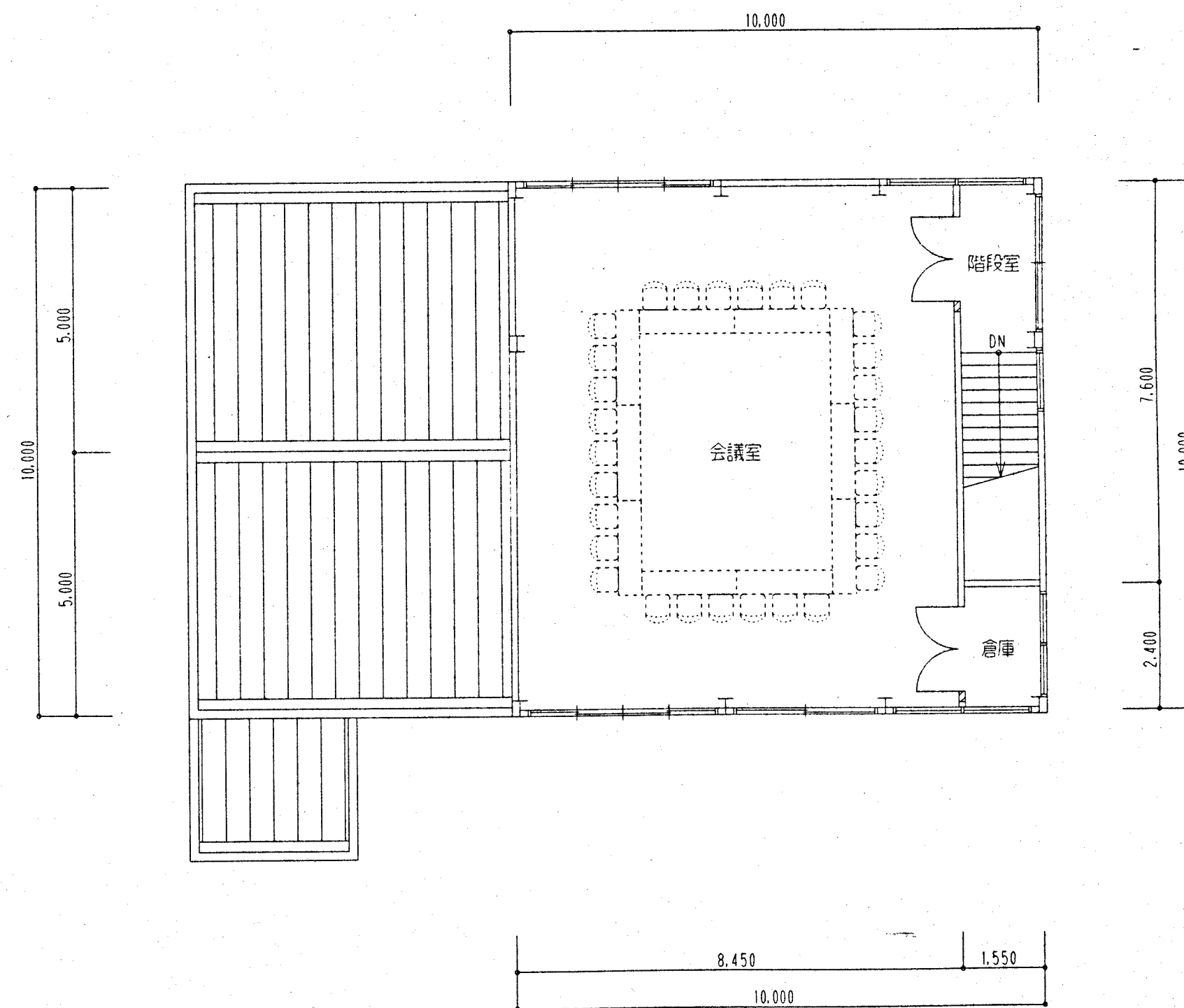
WH(-1)



改修1階平面図 1/100

樹リスト

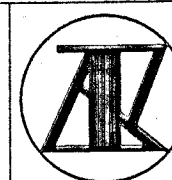
記号	名称	大きさ	管底	蓋	備考	数量
A	汚水樹	100-150-90L	590	塩ビ蓋	小口径樹	1
B	〃	100-150-90Y	620	〃	〃	1
C	〃	〃	650	〃	〃	1



改修2階平面図 1/100

面積表(既存)		
1階	196.37 m ²	(59.51坪)
2階	100.00 m ²	(30.30坪)
延べ面積	296.37 m ²	(89.81坪)

MEMO

JOB CORD
17-01-01

CONSTRUCTION	中央町支所改修工事	設計図	DATE	NO.
DRAWN	給排水衛生設備 改修平面図	SCALE	A2:1/100 A4:1/200	M:3/6
(株)木村建築設計事務所				

〒700-0971 岡山県岡山市中区1-8-20 (086) 244-2611
1級建築士事務所 1486号 監理建築士 1級 65709号 木村 旭

空調機器表

記号	機器名	仕様	電源	台数	備考
AC-1	パッケージエアコン (個別ダブルツイン)	形式 : 天井カセット(4方向)	3φ200V	1	設置場所
		冷房能力 : 20.0(7.5~22.4) kW			執務室
		暖房能力 : 22.4(8.3~28.0) kW			
		圧縮機 : 1.8+3.7 kW			
		室内FAN : 0.056x4 kW			
		室外FAN : 0.38 kW			
		液管/ガス管 : 6.4/15.9x4, 9.5/25.4φ			
AC-2	パッケージエアコン (同時トリプル)	形式 : 天井カセット(4方向)	3φ200V	1	設置場所
		冷房能力 : 20.0(9.0~22.4) kW			執務室
		暖房能力 : 22.4(8.3~28.0) kW			
		圧縮機 : 1.8+3.7 kW			
		室内FAN : 0.056x3 kW			
		室外FAN : 0.38 kW			
		液管/ガス管 : 9.5/15.9x3, 9.5/25.4φ			
AC-3	パッケージエアコン (同時ツイン)	形式 : 天井カセット(4方向)	3φ200V	1	設置場所
		冷房能力 : 20.0(9.0~22.4) kW			会議室
		暖房能力 : 22.4(8.3~28.0) kW			
		圧縮機 : 1.8+3.7 kW			
		室内FAN : 0.108 kW			
		室外FAN : 0.38 kW			
		液管/ガス管 : 9.5/15.9x2, 9.5/25.4φ			

※ 共通 コンクリート基礎 建築工事
 操作線・配線 本工事

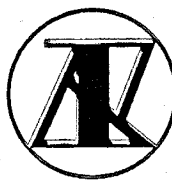
換気機器表

記号	機器名	仕様	電気容量	台数	備考
EF-1	天井扇	形式 : 低騒音インテリア格子タイプ	1φ100V	1	参考品番
		呼び径 : 100 φ	20W		VD-13Z6
		風量 : 80 CMH			
		静圧 : 10 Pa			
		付属品 : 丸型フード(SUS製・防虫網・ガラリ付)			
EF-2	天井扇	形式 : 低騒音タイプ	1φ100V	2	参考品番
		呼び径 : 150 φ	25W		VD-18ZC6
		風量 : 230 CMH			24H換気用スイッチ P-10SWL x1共
		静圧 : 30 Pa			※取付けは電気工事
		付属品 : 丸型フード(SUS製・防虫網・ガラリ付)			
EF-3	天井扇	形式 : 台所用	1φ100V	1	参考品番
		呼び径 : 100 φ	20W		VD-13ZY6
		風量 : 100 CMH			
		静圧 : 80 Pa			
		付属品 : 丸型フード(SUS製・ガラリ付, F0120°C)			
EF-4	天井扇	形式 : 低騒音インテリア格子タイプ	1φ100V	2	参考品番
		呼び径 : 150 φ	28.5W		VD-18ZX6-C
		風量 : 240 CMH			
		静圧 : 30 Pa			
		付属品 : 丸型フード(SUS製・防虫網・ガラリ付)			
EF-5	天井扇	形式 : 24時間換気機能付	1φ100V	2	参考品番
		呼び径 : 100 φ	15.5W		VD-15ZLC6-CS
		風量 : 140 CMH			24H換気用スイッチ P-04SWL5 x2共
		静圧 : 40 Pa			※取付けは電気工事
		付属品 : 丸型フード(SUS製・防虫網・ガラリ付)			

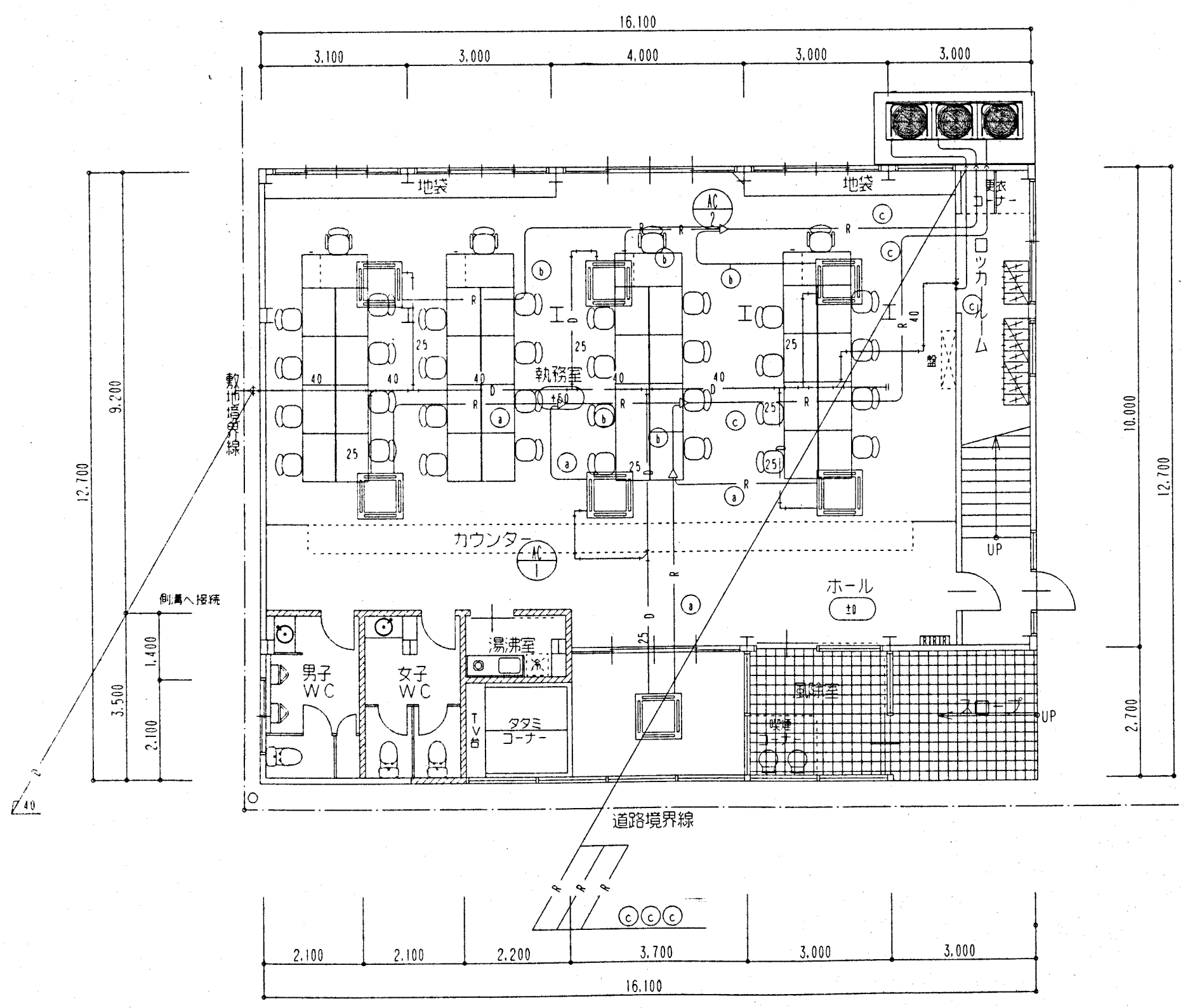
※F Dは図示とする。

MEMO

JOB CORD
17-01-01

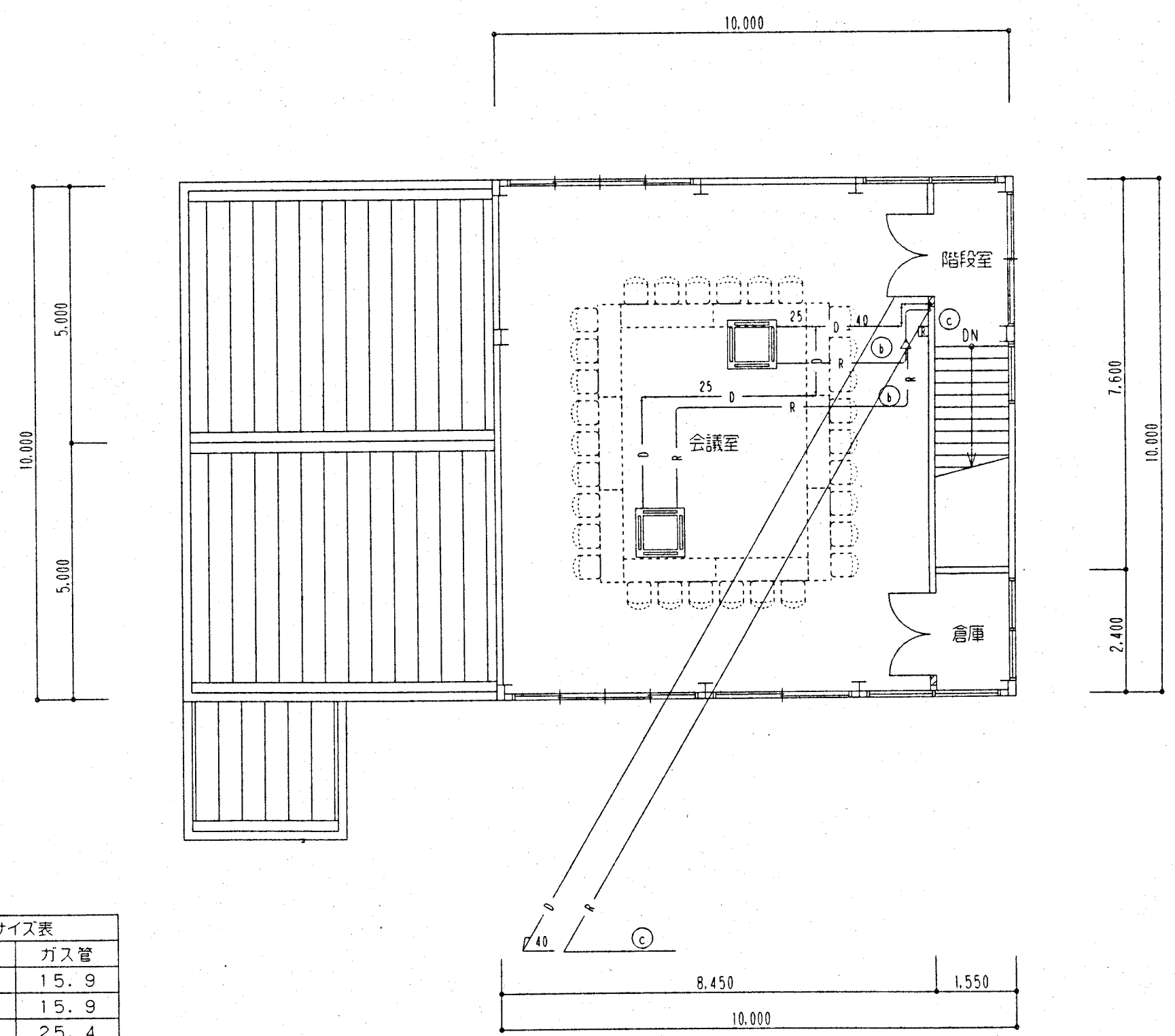


CONSTRUCTION 中央町支所改修工事		設計図	DATE	NO.
DRAWN 空調換気設備 機器表		SCALE	1/2	M-4/6
(株)木村建築設計事務所		〒700-0971 岡山県倉敷市10番20号(086)244-2611 10番20号148号 倉敷市10番20号 木村 昌		



改修1階平面図 1/100

冷媒配管サイズ表		
	液 管	ガス 管
(a)	6.4	15.9
(b)	9.5	15.9
(c)	9.5	25.4

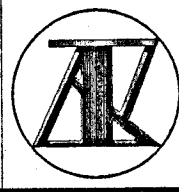


改修2階平面図 1/100

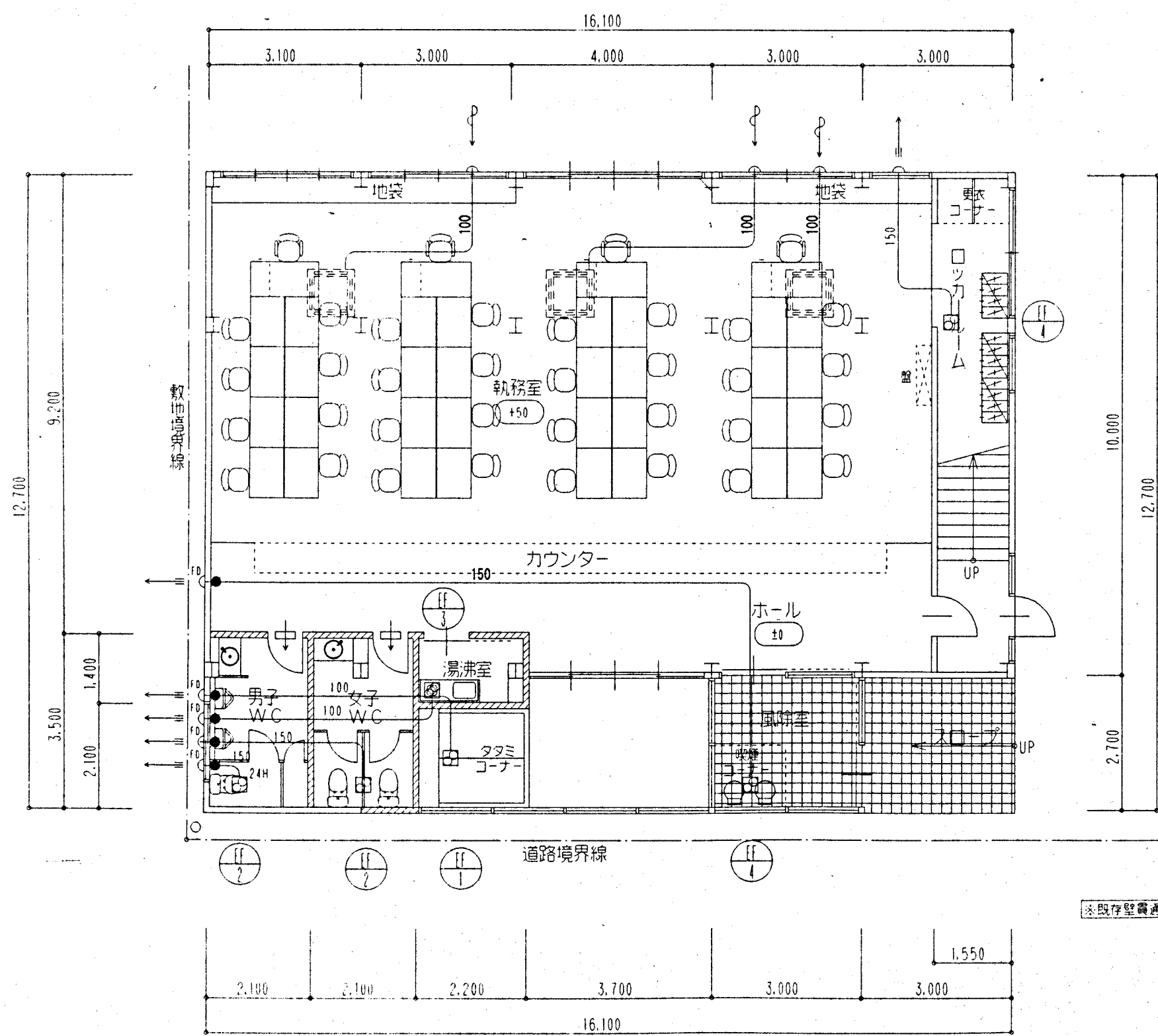
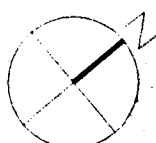
面積表 (既存)		
1階	196.37 m ²	(59.51坪)
2階	100.00 m ²	(30.30坪)
延べ面積	296.37 m ²	(89.81坪)

MEMO

JOB CORD
17-01-01

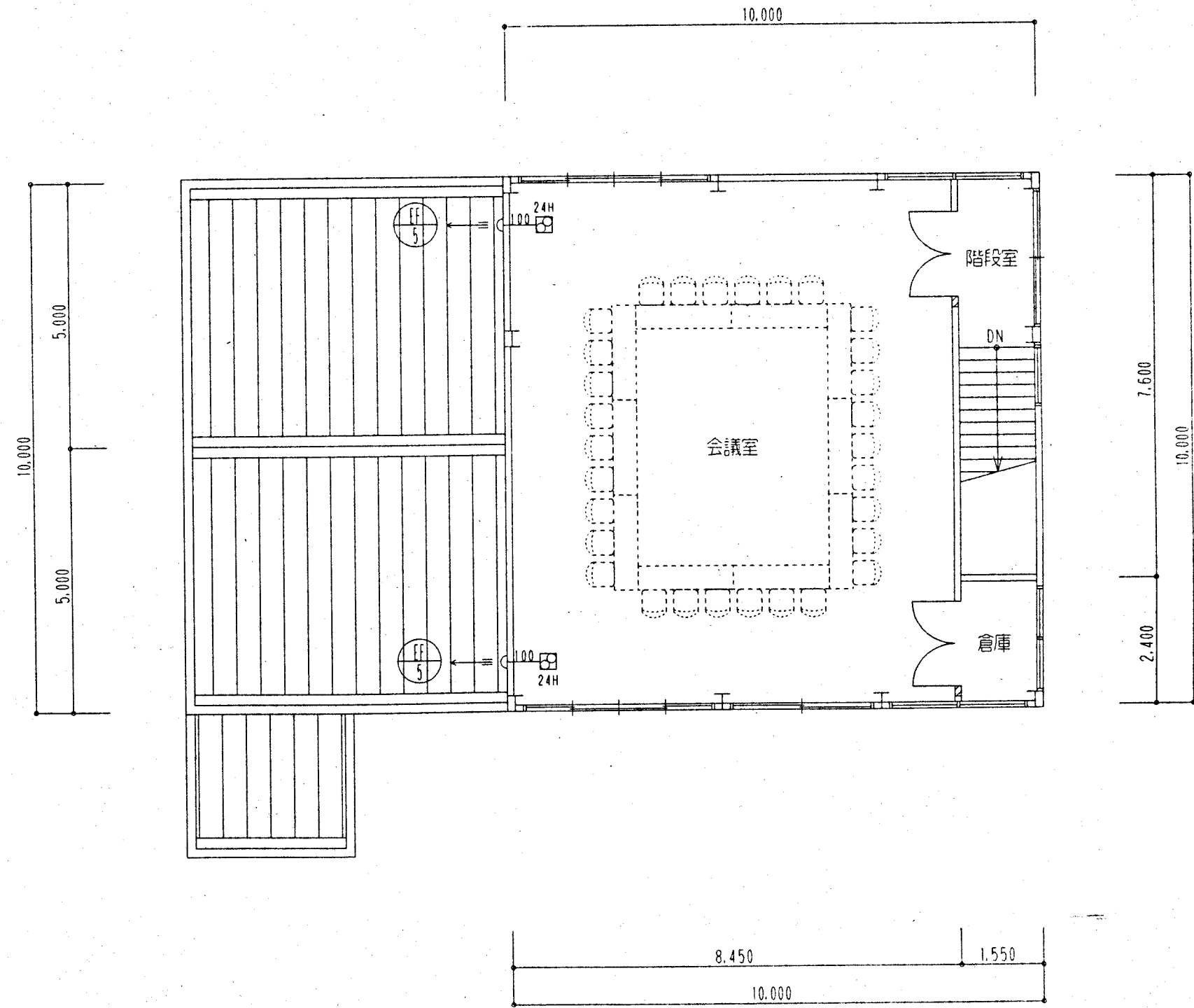


CONSTRUCTION
中央町支所改修工事
設計図
DATE
NO.
M 5/6
DRAWN
空調設備 改修平面図
SCALE
A2:1/100
A4:1/200
(株) 木村建築設計事務所
〒700-0971 岡山県岡山市中区1-8-20 岡山市ビルディング101号
1級建築士事務所 第1486号 建築士 第65703号 木村 浩



改修1階平面図 1/100

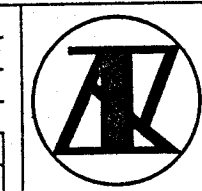
※既存壁貫通部はダイヤ六明とする。



改修2階平面図 1/100

面積表(既存)			
1階	196.37	m ²	(59.51坪)
2階	100.00	m ²	(30.30坪)
延べ面積	296.37	m ²	(89.81坪)

MEMO



CONSTRUCTION	中央町支所改修工事	設計図	DATE	NO.
DRAWN	換気設備 改修平面図	SCALE	A2:1/100 A4:1/200	M-6/6
(株)木村建築設計事務所		〒700-0971 岡山県岡山市東区3丁目18番20号(086)244-2011 1 代表取締役 木村 隆 2 代表取締役 木村 隆 3 代表取締役 木村 隆 4 代表取締役 木村 隆 5 代表取締役 木村 隆 6 代表取締役 木村 隆 7 代表取締役 木村 隆 8 代表取締役 木村 隆 9 代表取締役 木村 隆 10 代表取締役 木村 隆		